

令和4年度

# 事業報告書

---

収支決算書

2022

岡山商工会議所



# 目次

<b>総括的概要</b>	1
<b>事項別状況</b>	11
<b>I 定款及び規約等</b>	11
1. 定款	11
2. 規約（規則・規程）	12
<b>II 組織</b>	27
1. 会員	27
2. 特別会員	32
3. 特定商工業者	32
4. 役員	33
5. 議員	34
6. 委員長等	37
7. 青年部・女性会	40
8. 顧問・参与	41
<b>III 選挙及び選任</b>	42
<b>IV 事務局</b>	45
1. 事務局の機構	45
2. 事務局役職員	46
<b>V 庶務</b>	47
1. 表彰・受章	47
2. 慶弔・儀礼（主なもの）	48
<b>VI 会議</b>	50
1. 議員総会	51
2. 常議員会	53
3. 監事会	54
4. 部会・委員会	55
5. 小規模事業者経営改善資金審査会	62
6. フルーツパフェの街おかやま実行委員会	63
7. こだわりの逸品「おかやま果実」実行委員会	63
8. 西大寺五福通りレトロ・マルシェ実行委員会	63
9. 諸会議	64

<b>Ⅶ</b>	<b>事業活動</b> .....	67
	1. 令和4年度主要事業.....	67
	2. 各種事業活動.....	71
	3. 意見活動.....	77
	4. 調査研究.....	77
	5. 広報.....	78
	6. 証明・鑑定.....	82
	7. 各種行事.....	84
	8. 技術技能の普及検定.....	88
	9. 業者照会.....	91
	10. 経営改善普及事業.....	91
	11. 経営安定特別相談事業.....	93
	12. 伴走型小規模事業者支援推進事業.....	94
	13. 共済事業.....	94
	14. 労働保険事務組合事業.....	95
	15. 受託事業.....	95
	16. 補助金申請・採択状況.....	96
<b>Ⅷ</b>	<b>登録</b> .....	97
	1. 法定台帳.....	97
<b>Ⅸ</b>	<b>会館・事務所等</b> .....	98
	1. 岡山商工会議所ビルディング概要.....	98
	2. 各階床面積.....	98
	3. 岡山商工会議所ビル入居者.....	99
	4. 附帯駐車場の概要.....	99
<b>X</b>	<b>関係団体への加入及び連繋</b> .....	100
	1. 日本商工会議所.....	100
	2. 中国地方商工会議所連合会.....	100
	3. (一社)岡山県商工会議所連合会.....	100
	4. 出資先.....	100
<b>XI</b>	<b>外郭団体等</b> .....	101
<b>【資料編】</b>	<b>令和4年度に行った意見活動</b> .....	103
	<b>令和4年度収支決算書</b> .....	155

# 總括的概要

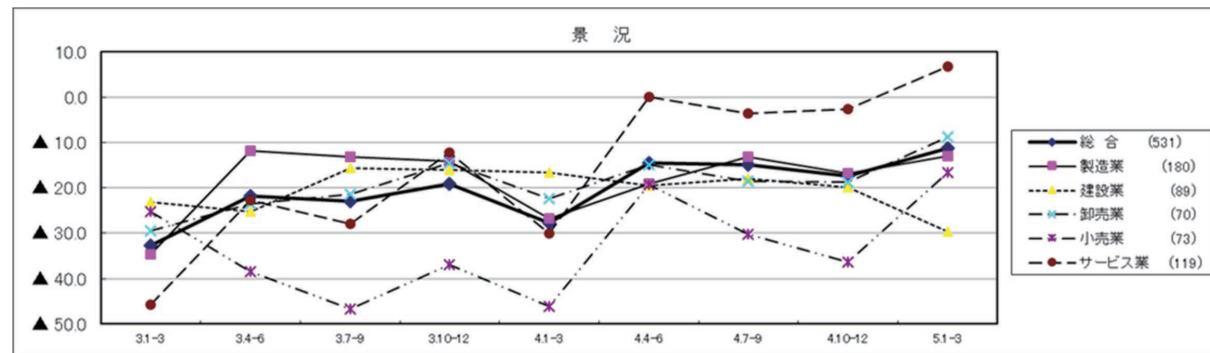


# 令和4年度事業報告書 総括的概要

## 【令和4年度の地域経済】

地域経済を大きく傷付けてきたコロナ禍は、令和4年度においてようやく沈静化に向かうようになり、徐々にではあるが、経済活動の再開を実感できる段階に入ってきた。

しかしながら、ウクライナ問題や円安等に起因して、エネルギー価格、原材料価格の高騰が顕著となり、（一社）岡山県商工会議所連合会が実施する景気観測調査においても、仕入価格の上昇は、5期連続で過去最悪を記録した。地域の中小・小規模事業者にとっては、価格転嫁の取り組み、長期化する人手不足への対応など、厳しい経営の舵取りを迫られる1年であった。



## 令和4年度事業報告書 総括的概要

---

他方で、杜の街グレースの開業、旧県庁通りの1車線化、岡山城のリニューアルオープンなど、目に見えて変わっていく風景や、徐々にまちなかで復活していくイベントの賑わいに、当地域が新たなステージに入っていくことを感じられる1年でもあった。



様々な課題を抱えながらもコロナ禍からの脱却に向かう地域経済を支えるため、当所では、中小・小規模事業者への支援、都市の魅力向上、組織体制の強化に取り組んできた。



## 令和4年度事業報告書 総括的概要

---

### 【中小・小規模事業者への支援①】

#### ◆新型コロナ対応・エネルギー価格高騰対策の支援

中小企業支援部内に「新型コロナウイルスに関する経営相談窓口」を開設、管内の中小・小規模事業者を対象に、資金繰り円滑化、雇用維持、販路開拓など、多岐にわたる分野でコロナ対応の経営相談を実施した。

国の中小企業向け補助金の申請を支援したほか、昨今のエネルギー価格高騰に対応し岡山市が実施した支援金・補助金の申請相談・受付・支給業務を行った。

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| ●小規模事業者持続化補助金<br>申請：299件 採択：157件 | ●岡山市エネルギー価格高騰緊急対策支援金<br>支給：2,932件 8億370万5千円 |
| ●事業再構築補助金<br>申請：30件 採択：11件       | ●岡山市省エネ機器導入補助金<br>支給：814件 1億1,065万円         |

# 令和4年度事業報告書 総括的概要

## 【中小・小規模事業者への支援②】

### ◆資金繰り支援

多くの企業が新型コロナに対応したいわゆる“ゼロゼロ融資”を利用していること等から、従来のマル経資金（小規模事業者経営改善資金）の利用は減少しており、推薦件数は84件（前年89件）、推薦金額は5億4,249万円（前年5億9,530万円）にとどまった。

また、各種融資制度や経営安定等の個別相談を行う「融資・経営安定」特別相談会を毎月2回開催し、延べ200件の相談に対応した。



### ◆事業承継・引継ぎ支援

中小・小規模事業者85社を対象に事業承継簡易診断を実施、内22社に対して承継コーディネーターや会計士・弁護士等の専門家を派遣した。親族内承継、従業員承継、M&Aなど、企業の置かれた状況に応じた支援に努めた。

# 令和4年度事業報告書 総括的概要

## 【都市の魅力向上・地域振興の取り組み①】

### ◆「岡山城下山陽道物語」を開催

10月29日・30日、岡山の歴史・文化を知ってもらう機会とするため昨年度に引き続き開催。城下町の成り立ちを紹介するパネル展示や大道芸などステージショー、地元大学との共同企画によるスタンプラリーなどを展開し、昨年度より賑わいづくりに繋がる内容となった。



### ◆地域ブランドの魅力向上

「フルーツパフェの街おかやま」「こだわりの逸品おかやま果実」の両事業を展開し、岡山県産果物の魅力を発信したほか、「晴れの国おかやま検定」を実施した。



## 令和4年度事業報告書 総括的概要

### 【都市の魅力向上・地域振興の取り組み②】

#### ◆西大寺地域の活性化を推進

(一社)西大寺活性化協議会と連携した観光推進、産業振興事業などを実施。「瀬戸内国際芸術祭2022」などの大規模イベントにあわせた西大寺地域への誘客を目指して、宝伝港と結ぶデマンド型交通運行事業を4月から11月まで実施した。西大寺会陽は、宝木争奪戦の実施は見送ったものの、3年ぶりに観客を入れ、地押しを開催した。



#### ◆アリーナ建設実現に向けた活動を推進

北長瀬みずほ住座跡地におけるアリーナ建設の実現に向け、地元プロスポーツチームの意見集約、他都市のアリーナについての研究などに取り組み、企業版ふるさと納税の活用などを明記した「新アリーナの公設民営に向けた提言」としてまとめ、12月に岡山市長及び、岡山市議会議長へ提出した。

## 令和4年度事業報告書 総括的概要

---

### 【交流と連携】

#### ◆日本商工会議所 移動常議員会・議員総会を岡山で開催

6月15日・16日、全国の商工会議所会頭・専務理事ら約200名が一堂に会して開催。岡山市で同会議が開催されるのは34年ぶり。地域資源を活用したまちおこしや観光振興、経済活性化策についても意見交換を行った。こうした大規模な会議開催も、時代がアフターコロナに向かっていることを実感させるものであった。

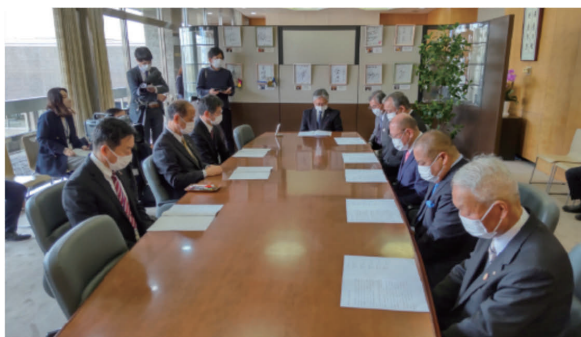


また、この会議に合わせて、デザイナーの原研哉氏と建築家の隈研吾氏を迎え「人々が本当に集まる場所を」をテーマに特別講演を開催。岡山のまちづくりのための貴重な示唆を得る機会ともなった。

# 令和4年度事業報告書 総括的概要

## 【要望活動の実施】

コロナ禍・価格高騰に苦しむ中  
小・小規模事業者への支援や、地  
域活性化のため、様々な要望活動  
を実施した。



要望日	件名	要望先
令和4年5月23日	「新型コロナウイルス感染症及び原油・原材料価格高騰の影響に関する支援強化」の要望	岡山県
令和4年5月24日	「新型コロナウイルス感染症及び原油・原材料価格高騰の影響に関する支援強化」の要望	岡山市
令和4年8月9日	JR西日本のローカル路線の維持・存続に関する要望	岡山県
令和4年8月24日	コロナ禍における資源・エネルギー価格高騰などへの影響に対する支援強化に関する要望	岡山市
令和4年10月31日	小規模事業者経営改善資金（マル経資金）への利子補給継続に関する要望	岡山市
令和4年11月15日	令和5年度岡山県予算編成に関する要望	自由民主党岡山県支部連合会 自由民主党岡山県議団
令和4年11月16日	令和5年度税制改正に関する重点要望	地元選出与党議員
令和4年12月1日	新アリーナの公設民営に向けた提言	岡山市他
令和4年12月9日	令和5年度税制改正（防衛費に係る財源問題）に関する要望	地元選出与党議員
令和5年2月6日	「新型コロナウイルス感染症及びエネルギー価格・物価高騰の影響に関する支援強化」の要望	岡山市

# 令和4年度事業報告書 総括的概要

---

## 【組織体制の強化①】

### ◆岡山商工会議所会館整備方針の決定

建替えか耐震補強による継続保有か、特別委員会において議論を積み上げてきた当所の会館整備問題は、建築資材高騰による総投資額の増大などの状況を勘案し、継続保有（耐震）案を選定、10月の議員総会において承認された。



### ◆会員増強を実現

コロナ禍にある企業への積極的な支援に加え、商工会議所会員であることで新型コロナ関連の支援金申請がスムーズになること等から会員数が昨年度に引き続き増加、年度末時点として、岡山商工会議所創立以来最高の7,728社となった。

## 令和4年度事業報告書 総括的概要

### 【組織体制の強化②】

#### ◆ 議員選挙の実施と新体制の発足

議員の任期が満了になることに伴い、8月～10月にかけて選挙選任を行い、次期議員を決めた。

選挙制度の改革により、議員定数の変更については110名（1号議員56名、2号議員38名、3号議員16名）から、125名（1号議員64名、2号議員43名、3号議員18名）に増員するとともに、常議員の数も41人に増員した。



「日本一住みたい『ウェルビーイングな都市（まち）』おかやま」を実現する商工会議所となるため、組織体制の強化に向けた大きな改革となった。





# 事項別状況





# I 定款及び規約等

## 1 定 款

令和4年6月23日開催の第120回通常議員総会において以下のとおり定款の一部変更を決めた。

### (1) 理 由

- ① 地域振興の強化や中小企業の一層の振興に向けた組織基盤の強化を図る上で、会員基盤の拡充に加えて議員組織の拡充と活動の強化が必要なため。
- ② 岡山商工会議所の部会構成は、昭和29年の組織発足当時の内容を踏襲したものであり、時代とともに変化した産業の構造に合わせた部会編成が必要なため。

### (2) 変更箇所

旧 条 文	新 条 文
(役 員) 第31条 本商工会議所に、次の役員を置く。 (1)～(3) (略) (4) 常議員 <u>36人</u> (5) (略) 2 (略)	(役 員) 第31条 本商工会議所に、次の役員を置く。 (1)～(3) (略) (4) 常議員 <u>41人</u> (5) (略) 2 (略)
(議員総会及び議員) 第35条 本商工会議所に、議員総会を置く。 2 議員総会は、次に掲げる者をもって組織する。 (1) 会員及び会員以外の特定商工業者が、投票によって会員のうちから選挙した議員（この定款において「1号議員」という。） <u>56人</u> (2) 部会が部会員のうちから選任した議員（この定款において「2号議員」という。） <u>38人</u> (3) 前2号の議員のほか、 <u>1号議員及び2号議員が選任した選考委員によって会員のうちから選任された議員</u> （この定款において「3号議員」という。） <u>16人</u> 3～7 (略)	(議員総会及び議員) 第35条 (同) 2 (同) (1) (同) <u>64人</u> (2) (同) <u>43人</u> (3) 前2号の議員のほか、 <u>会頭が常議員会の同意を得て、会員のうちから選任した議員</u> (同) <u>18人</u> 3～7 (略)
(部 会) 第47条 本商工会議所に、会員が営んでいる主要な事業の種類ごとに、それぞれの事業の適切な改善発達を図るために、次の部会を置く。 (1) 繊維 (2) 機械金属	(部 会) 第47条 (同) (1) 建設 (2) ものづくり

旧 条 文	新 条 文
(3) 食料品 (4) 大型店・雑貨 (5) 化学・エネルギー (6) 金融・不動産 (7) 運輸通信 (8) 観光 (9) 文化関連産業 (10) 建設 (11) 諸業  2～6 (略)	(3) 情報・文化 (4) 運輸・通信 (5) 卸売 (6) 小売 (7) 金融・不動産 (8) 観光 (9) 専門サービス (10) 生活関連サービス  2～6 (略)
	<u>(実施の時期)</u> <u>1 第31条(役員)、第35条(議員総会及び議員)、第47条(部会)の改正規定は、令和4年6月23日から実施する。</u>

## 2 規約(規則・規程)

### 1 岡山商工会議所会頭候補者選考に関する規約の制定

令和4年6月23日開催の第120回通常議員総会において、以下のとおり決めた。

(目 的)

第1条 本規約は、岡山商工会議所の会頭候補者を選考するにあたり必要な事項を定める。

(選考の方法)

第2条 会頭候補者を選考するため、選考委員会を設置する。

2 選考委員会で選考された会頭候補者は、定款第33条第1項の規定に従い議員総会の決議を経て会頭に就任する。

(選考委員会)

第3条 選考委員会は、議員総会の承認を得て設置し、目的終了後に解散する。

2 選考委員は、議員の中から号数及び期数を勘案し25名以内とし、議員総会の議決を経て会頭が委嘱する。

3 選考委員会の委員長は、委員の互選により選任する。

4 選考委員会の決定は、出席委員の過半数の同意を必要とする。

5 選考委員会は、原則として1名の会頭候補者を選考する。

6 選考委員会は、必要に応じて小委員会を設置できる。

(3号議員の人選)

第4条 会頭候補者に選考された者が現職と異なる場合は、3号議員の選任案について希望を述べることができる。

2 会頭候補者選考委員会において候補者の選考が不調に終わった場合は、3号議員の指名はその時点での会頭が行う。

## 附 則

この規約は、令和4年6月23日から施行する。

### ② 岡山商工会議所議員の選挙及び選任に関する規約の制定

令和4年6月23日開催の第120回通常議員総会において、以下のとおり決めた。

#### 第1章 総 則

(趣 旨)

第1条 この規約は、岡山商工会議所定款（以下「定款」という。）第35条第3項に基づき、議員の選挙および選任に関する必要な事項を定めるものとする。

(選挙および選任事務の処理)

第2条 議員の選挙および選任に関する庶務は、本商工会議所事務局において処理する。

(告 示)

第3条 議員の選挙および選任に関する告示は、本商工会議所の掲示場に掲示して行う。

#### 第2章 選挙委員会

第4条 議員の選挙および選任に関する事務を取扱うため、選挙委員会を設ける。

2 選挙委員会は、選挙長および委員4人をもって組織する。

3 選挙長は、専務理事がこれに当たり、選挙委員会を代表する。

4 選挙長に事故があるときは、あらかじめ選挙長が指名した者がこれを代行する。

5 委員は、選挙人名簿に登録された会員で、議員の候補者でない者のうちから選挙長が委嘱する。

6 選挙委員会の会議は、選挙長が招集し、かつ、その議長となる。

7 選挙委員会の会議は、選挙長のほか委員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

#### 第3章 選挙権および被選挙権

第5条 会員および会員以外の特定商工業者（以下「特定商工業者」という。）で、選挙人名簿縦覧期間最終日までに会費または負担金を納めない者は、議員を選挙し、または議員に選任される権利を有しない。

2 新たに加入した会員および新たに該当した特定商工業者は、選挙人名簿に登録されなければ議員を選挙し、または議員に選任される権利を有しない。

#### 第4章 1号議員選挙

##### 第1節 選挙の施行

(通常選挙)

第6条 通常選挙は、議員の任期満了日の前20日以内に行う。

2 選挙の期日、投票の場所および時間ならびに選挙する議員の数は、選挙の期日の30日前までに告示する。

3 天災事変その他の理由により、選挙を行うことができないときは、さらに選挙の期日を定め、当該期日の5日前までに前項に規定する事項とともに告示する。

(補欠選挙)

第7条 議員の定数の5分の1以上が欠員となったときは、補欠選挙を行うことができる。

- 2 補欠選挙の期日、投票の場所および時間ならびに選挙する議員の数は、常議員会の議決を経て選挙の期日の25日前までに告示する。
- 3 前条第3項の規定は、補欠選挙について準用する。

(選挙立会人)

第8条 投票が実施されるときは、選挙長は3名の選挙立会人を選挙権を有する者のうちから本人の承諾を得て委嘱する。

## 第2節 選挙人名簿

(選挙人名簿の作成)

第9条 本商工会議所は、選挙を行う年の7月31日現在において会員および特定商工業者の選挙資格を調査し、選挙人名簿を作成する。

- 2 選挙人名簿に登録する会員の選挙権数の範囲は、前項に規定する期日現在の会費の口数による。
- 3 1会員の選挙権の個数は、50個を超えることができない。

(選挙人名簿の記載事項)

第10条 選挙人名簿には、会員および特定商工業者に係る次の事項を記載する。ただし、特定商工業者の選挙人名簿には、次の事項の(3)から(5)を記載しない。

- (1) 氏名または名称
- (2) 住所または所在地
- (3) 営業の種類
- (4) 所属部会名
- (5) 選挙権数

(選挙人名簿の縦覧)

第11条 選挙人名簿は、5日以内の期間を定めて、本商工会議所において会員および特定商工業者の縦覧に供する。

- 2 前項の期間は、縦覧の開始の期日の少なくとも3日前までに告示する。

(異議の申出)

第12条 会員および特定商工業者は、選挙人名簿に関して異議があるときは、縦覧期間内に選挙委員会にその旨を文書をもって申し出ることができる。

- 2 選挙長は、異議の申出があったときは、直ちに選挙委員会を開き、その措置を決定し、異議を申し出た者に通知する。

(選挙人名簿の確定)

第13条 選挙人名簿は、第11条第1項に規定する縦覧期間の満了後3日を経て確定する。

## 第3節 投票

(選挙の方法)

第14条 選挙は、投票により行う。

(選挙人)

第15条 投票は、選挙人名簿の確定した日現在において、当該選挙人名簿に登録された会員および特定商工業者(以下「選挙人」という。)をもって行う。

(投票用紙)

第16条 投票用紙は、選挙の当日、投票場において、選挙人に入場証と引き替えに交付する。

2 投票用紙の様式は、別に定める。

(投票の記載事項および投函)

第17条 選挙人は、投票場において、投票用紙に自ら議員の候補者1人の氏名を記載して、投票箱に入れなければならない。

(代理投票)

第18条 選挙人は、やむを得ない理由があるときは、代理人をもって投票させることができる。

2 前項の代理人は、入場証によりその資格を証明する。

(投票場の秩序維持)

第19条 選挙人、その代理人、投票場の事務に従事する者、投票場を監視する職権を有する者および選挙長が投票場に入ることを許可した者でなければ、投票場に入ることができない。

2 選挙長は、投票場において演説討論をし、又は投票に関して協議、若しくは勧誘をし、その他投票場の秩序をみだす者があるときは、これを制止し、命に従わないときは、投票場の外に退出させることができる。

3 前項の規定により退出させられた者は、最後になって投票することができる。

#### 第4節 開 票

(開票日)

第20条 開票は、投票の当日またはその翌日に本商工会議所において行う。

2 選挙長は、天災事変その他の理由により開票ができないときは、開票の日時および開票場を変更のうえ、直ちにその旨を告示する。

(開 票)

第21条 選挙長は、選挙立会人の立会のうえ、投票箱を開き、投票の総数、行使した選挙の権利の個数および各候補者の得票数を計算する。

(投票の効力)

第22条 投票の効力は、選挙立会人の意見を聴き、選挙長が決定する。

(投票の無効)

第23条 次の投票はこれを無効とする。

- (1) 正規の投票用紙を用いないもの
- (2) 1号議員の候補者でない者の氏名または名称を記載したもの
- (3) 1投票中に2人以上の議員の候補者の氏名または名称を記載したもの
- (4) 議員の候補者の氏名または名称のほか、他事を記載したもの。ただし、職業、身分、住所または敬称の類を記載したものは、この限りでない。
- (5) 議員の候補者の何人を記載したかを確認し難いもの
- (6) 議員の候補者の氏名または名称を自署しないもの

(開票の参観)

第24条 選挙人またはその代理人は、開票場における開票の参観を求めることができる。

(開票場の秩序維持)

第25条 第19条の規定は、開票場の取締りについて準用する。

### 第5節 議員候補者および当選人

(立候補の届け出)

第26条 議員の候補者となろうとする者は、選挙の期日の告示があった日から選挙の期日の28日前までに、選挙長にその旨の届け出をしなければならない。

2 選挙人名簿に登録された者が、他人を議員の候補者としようとするときは、本人の承諾を得て、前項の期間内に、その推薦の届け出をすることができる。

3 立候補の届け出および議員の候補者の推薦の届け出に当たっては、次の文書を添付するものとする。

(1) 議員の候補者が法人の場合

法人登記の抄本および役員名簿各1通

(2) 議員の候補者が法人でない団体の場合

団体を証する文書および役員名簿各1通

(3) 議員の候補者が個人の場合

市町村長の発行する身分証明書および履歴書各1通

4 1号議員の候補者が立候補を辞退しようとするときは、選挙の期日の25日前までに、文書で選挙長に届け出なければならない。

5 選挙長は、第1項、第2項および前項の届け出があったとき、または議員の候補者が次に掲げる理由によって議員となることができなくなったときは、直ちにその旨を告示しなければならない。

(1) 会員たる資格の喪失

(2) 死亡または解散

(3) 除名

(4) 会員権の停止

6 第1項、第2項および第4項の届け出に要する文書の様式は、別に定める。

(供託金)

第27条 本商工会議所は、常議員会の承認を得て、1号議員の候補者に対し供託金の納入を求めることができる。

(当選人)

第28条 有効投票の多数を得た者から順次当選人とする。ただし、当選人の得票は、当選する議員の定数をもって有効投票の総数を除して得た数の5分の1以上の得票でなければならない。

2 当選人を定めるに当たり、得票数が同じであるときは、選挙委員会において選挙長がくじで定める。

3 選挙長は、当選人が選挙後に次の各号のいずれかに該当したときは、直ちに選挙委員会を開き、第1項ただし書の得票のあった者で当選人とならなかった者のうちから得票の順位により当選人を定めなければならない。

(1) 当選を辞退したとき

(2) 第26条第5項各号の理由により議員となることができなくなったとき

(無投票当選)

第29条 第26条第1項および第2項の規定による届け出があった議員の候補者がその選挙における議員の定数を超えないとき、または同条第4項および第5項により超えなくなったときは、投票を行わない。

2 前項の場合において、選挙長は、直ちに選挙委員会を開き、議員の候補者をもって当選人と定めなければならない。



(選挙録の作成および保管)

第30条 選挙長は、選挙に関する選挙録を作成し、選挙委員会の経過を記録のうえ、選挙委員ならびに投票実施時には立会人とともに署名する。

2 選挙長は、選挙録とともに、当選人の氏名または名称および住所または所在地を本商工会議所において保存しなければならない。

3 選挙録は、選挙人名簿とともに、議員の任期間、本商工会議所において保存しなければならない。

(当選人決定の通知および告示)

第31条 本商工会議所は、前条第2項の報告を受けたときは、直ちに当選人に当選の旨を通知し、かつ、当選人の氏名または名称および住所または所在地を告示しなければならない。

(当選の効力の発生)

第32条 当選人の当選の効力は、前条の規定による当選人の告示があった日から生ずるものとする。

(当選の辞退)

第33条 当選人は当選の通知を受けた日から3日以内に文書により、当選を辞退することができる。

(当選の無効)

第34条 当選人がその選挙に関してこの規約に違反したとき、または不正の行為があったときは、選挙委員会の議を経て、その当選を無効とする。

(再選挙)

第35条 実施した選挙が次の各号のいずれかに該当するときは、選挙の期日から60日以内にさらに選挙を行う。ただし、当選人が議員の定数の5分の4を超えるときは、再選挙は行わない。

- (1) 当選人がないとき、または当選人がその選挙における議員定数に達しないとき
- (2) 当選人が当選を辞退したとき、または死亡者であったとき
- (3) 前条の規定により当選が無効となったとき

2 第6条第2項および第3項の規定は、再選挙について準用する。

(議員代表者の届け出)

第36条 法人その他の団体が議員に当選したときは、当選の確定の日から5日以内にその代表者として議員の職務を行う者1人の氏名、住所および団体における地位を本商工会議所に届け出なければならない。ただし、その者は、定款第33条第9項のいずれかに該当する者であってはならない。

## 第5章 2号議員の選挙

(選任の時期)

第37条 2号議員(定款第35条第2項第2号に規定する議員をいう。)の選任は、第6条第2項による1号議員の選挙の告示日の前までに、各部会において行わなければならない。

(部会の決定)

第38条 2号議員の選任に係る部会員は、選挙を行う年の選挙人名簿確定日現在における部会員とする。

- 2 部会員の2号議員の選任権および被選任権については、定款第12条の規定および第5条第1項の規定を準用する。
- 3 2以上の部会に所属する会員は、定款第47条第4項の規定により、いずれか1つの部会を定め、あらかじめその旨を本商工会議所に届け出なければならない。

(部会に対する2号議員の割当)

第39条 各部会に対する2号議員の割当数は、部会員数およびその部会員が負担する会費口数、部会の意向等を勘案し会頭が常議員会の同意を得て決める。

2 会頭は、前項の各部会に対する2号議員の割当数を文書をもって各部長に通知しなければならない。

(選任手続)

第40条 前条の通知を受けた部長は、部会を招集し、割り当てられた数の2号議員を選任しなければならない。

2 2号議員の選任の手続きは、部会の会議において定める。

3 部会の議を経て2号議員を選任したときは、部長は直ちにその旨を選挙長に届け出なければならない。

(部会員の同意)

第41条 前条3項で届け出を受けた選挙長は、選任された2号議員について、部会員の同意を1号議員の立候補受付締切日までに取得しなければならない。

2 部会員のうち選任された2号議員の全部または一部に対して、過半数が不同意の意思を示したときは、部長は部会を招集のうえ2号議員選任のやり直しを行い、部会員の同意を取得しなければならない。

3 部会員の同意の取得が得られたときは、選挙長は直ちに2号議員に選任された者にその旨を通知しなければならない。

(2号議員の確定および告示)

第42条 2号議員に選任された者は、第41条第3項の通知を受けた日から5日以内に選挙長に選任承諾書を提出しなければならない。

2 2号議員の選任は、選任された者の文書による承諾をもって確定する。

3 選挙長は2号議員が確定したときは、直ちにその旨ならびに議員の名称または氏名および所在地または住所を告示しなければならない。

(補欠選挙)

第43条 2号議員に欠員を生じたときは、当該部会において第40条第2項に定める基準によって選任するものとする。

2 補欠選任については、第40条第2項および第3項、前条の規定を準用する。

(準用規定)

第44条 第38条の規定は、2号議員の選任について準用する。

## 第6章 3号議員の選任

(選任の時期)

第45条 3号議員の選任は、2号議員の選任前までに行う。

(議員の選任)

第46条 3号議員の選任は、定款第35条第2項第3号の規定により、会頭が常議員会の同意を得て選挙人名簿確定日の日現在において、それに登録された会員の中から選任する。

(選任の通知および就任の承諾)

第47条 3号議員が選任されたときは、選挙長は直ちに選任された者にその旨を通知しなければならない。

2 3号議員に選任された者は、その通知を受けた日から5日以内に別に定める様式により就任を承諾する旨を選挙長に届け出なければならない。

3 3号議員の選任は、選任された者の文書による承諾をもって確定する。

(3号議員の告示)

第48条 選挙長は、前条の通知を受けたときは、直ちにその旨ならびに議員の名称または氏名および所在地または住所を告示しなければならない。

(補欠選任)

第49条 3号議員に欠員を生じて会頭が必要と認めるときは、会頭は常議員会の同意を得て会員の中から選任する。

2 補欠選任については、前2条の規定を準用する。

(準用規定)

第50条 第36条の規定は、3号議員の選任について準用する。

## 第7章 雑 則

第51条 この規約に規定するもののほか、議員の選挙または選任について必要な事項は、常議員会が別に定める。

### 附 則

この規約は、令和4年6月23日から施行する。

### 附 則

第39条の改正規約は令和4年8月19日から施行する。

## ③ 岡山商工会議所議員選挙特別委員会の設置に関する規約の制定

令和4年6月23日開催の第120回通常議員総会において、以下のとおり決めた。

(目 的)

第1条 岡山商工会議所議員の選挙及び選任に関し、円滑に実施するために議員選挙特別委員会を設置する。

(設 置)

第2条 特別委員会は3年毎に実施される議員選挙に際し、常議員会の議決を経て設置する。

(審議内容)

第3条 特別委員会は次に掲げる事項について審議する。

- (1) 3号議員選任に関すること（会頭専決事項）
- (2) 2号議員選任に関すること
- (3) 1号議員選挙に関すること
- (4) その他議員選挙・選任に関すること

2 特別委員会は、審議の必要により小委員会を設置することができる。小委員会の座長は特別委員会の委員長が指名する。

(委員長、副委員長、委員)

第4条 特別委員会の委員は、定款第55条第2項の規定に基づき、会頭が常議員会の承認を得て議員の中から委嘱する。

2 委員は30名以内とし、期数・号数等を勘案のうえ選出する。

- 3 委員長は会務を総括し、会議を招集し議長となる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行し、委員長欠員の時はその職務を行う。

(委員会の議事)

第5条 委員会の議事は出席した委員の過半数によって決する。可否同数のときは、議長の決するところによる。

## 附 則

この規約は、令和4年6月23日から施行する。

### ④ 岡山商工会議所会費規約の制定

令和4年6月23日開催の第120回通常議員総会において、以下のとおり決めた。

(趣 旨)

第1条 この規約は、岡山商工会議所定款第17条第2項、第22条第2項の規定に基づき、会員の会費、議員の会費、特別会員の会費に関する事項を定めるものとする。

(会費1口の金額)

第2条 会員の会費1口の金額は、年額6千円とする。ただし、新たに加入する者のその年度の会費は次のとおりとする。

- (1) 4月1日から9月末日までに加入する者の会費は、年額の全額
- (2) 10月1日から3月末日までに加入する者の会費は、年額の2分の1

(会費負担口数)

第3条 会員の負担する会費の口数は、法人の場合は3口以上、個人の場合は2口以上とし、会員の資本金額や従業員数その他諸事情を勘案して定める。

(議員通常会費口数)

第4条 議員は、次の会費を納入しなければならない。

- (1) 1号・2号議員 40口以上とする。
  - (2) 常議員・監事 50口以上とする。
  - (3) 3号議員 100口以上とする。
- 2 会頭・副会頭は相応の会費を負担しなければならない。

(議員特別会費)

第5条 議員は議員通常会費とは別に議員特別会費を納付しなければならない。

- (1) 1号議員・2号議員 30口
- (2) 3号議員 100口

(会費の減免)

第6条 天災地変その他特別の理由があるときは、会員の申請により常議員会の議を経て、会費を減額し、または免除することができる。

(会費の納期)

第7条 会員の会費の納期は、毎年4月とする。ただし、新たに加入する者のその年度の会費については、加入の日とする。

(会費の納入方法)

第8条 会員の会費は、その年額を一括納入するものとする。ただし、会費口数が20口以上の場合は、本商工会議所の承認を得て、4月および10月の2期に分納することができる。

(特別会員の会費)

第9条 特別会員の会費については、第3条の規定を準用する。

## 附 則

この規約は、令和4年6月23日から施行する。

### ⑤ 岡山商工会議所部会規約の制定

令和4年6月23日開催の第120回通常議員総会において、以下のとおり決めた。

(趣 旨)

第1条 この規約は、岡山商工会議所定款（以下「定款」という。）第53条の規定に基づき、岡山商工会議所（以下「商工会議所」という。）の部会に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置する部会)

第2条 商工会議所は以下の部会を置く。

- (1) 建設部会
- (2) ものづくり部会
- (3) 情報・文化部会
- (4) 運輸・通信部会
- (5) 卸売部会
- (6) 小売部会
- (7) 金融・不動産部会
- (8) 観光部会
- (9) 専門サービス部会
- (10) 生活関連サービス部会

(部会役員)

第3条 部会には、部会長1名、副部会長4名以内を置くほか、必要に応じ幹事若干名を置くことができる。

2 部会長は議員の中から部会員が選任し、副部会長は部会において互選する。幹事は、その関係業種および地域の代表的な地位にある者を部会長が部会員の中から選任する。

(部会長等の任期)

第4条 部会長および副部会長の任期については、定款第52条第2項の定めるところによる。幹事の任期についても、また同様とする。

(部会長等の職務)

第5条 部会長および副部会長の職務は、定款第49条の定めるところによる。

2 幹事は、部会長、副部会長および議員に協力して、部会員との連絡を図り、率先して部会活動の成果が上がるように努めるとともに、会議所の事業活動の周知徹底を図るものとする。

(事務担当者)

第6条 部会の事務を処理するため、部会に事務担当者を置く。

2 事務担当者は、商工会議所の事務局関係職員の中から専務理事が委嘱する。

(会 議)

第7条 部会の会議は、総会および役員会とする。

2 総会は、部会員で構成する。

3 役員会は、部会長、副部会長および幹事で構成する。

(総会の招集)

第8条 総会は、部会長が必要と認めたときに招集する。

2 前項の規定にかかわらず、部会員の総数の5分の1以上の者から招集の請求があったときは、部会長は、総会を招集しなければならない。

(議 事)

第9条 総会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、部会長の決するところによる。

2 前項の場合において、部会長は、会員として議決に加わることはできない。

(議決事項の処理)

第10条 総会または次条の合同部会において議決した事項は、常議員会の承認を得て、商工会議所の議決とすることができる。

2 役員会において議決した事項は、部会総会の議決とすることができる。

(合同部会)

第11条 2以上の部会に関係する事項については、関係部会長と合議のうえ、合同部会を開くことができる。

2 合同部会の招集は、関係部会長の連名で行う。

3 合同部会の議長は、関係部会長のうちから互選する。

(分科会)

第12条 部会は、必要に応じて分科会を設けることができる。

2 分科会長及び副分科会長は部会長が選任し、任期は部会長に従う。

(事 業)

第13条 部会は、部会員の行う事業の適切な改善発達のために、講習会、見学会、懇親会その他必要な事業を行う。

(経 費)

第14条 部会の運営に要する経費は、商工会議所の経費をもって充当する。

2 部会および分科会における事業実施に係る経費は、部会員から経費を徴収する。

(委 任)

第15条 この規約に定めるもののほか、部会に関し必要な事項は、部会長が別に定める。

## 付 則

1. この規約は、令和4年6月23日から施行する。

2. 令和4年10月31日までの部会長は、会頭が常議員会の了承を得て部会員の中から選任する。

#### ⑥ 岡山商工会議所議員の選挙及び選任に関する規約の一部改正

令和4年8月19日開催の第374回常議員会において、以下のとおり決めた。

旧 条 文	新 条 文
<p>(部会に対する2号議員の割当)</p> <p>第39条 各部会に対する2号議員の割当数は、部会員数およびその部会員が負担する会費口数を勘案して常議員会の議決を経て決める。</p> <p>2 (略)</p>	<p>(部会に対する2号議員の割当)</p> <p>第39条 各部会に対する2号議員の割当数は、部会員数およびその部会員が負担する会費口数、<u>部会の意向等を勘案し会頭が常議員会の同意を得て決める。</u></p> <p>2 (略)</p>
	<p>(附 則)</p> <p><u>2. 第39条の改正規約は令和4年8月19日から施行する。</u></p>

#### ⑦ 岡山商工会議所委員会規約の一部改正

令和4年11月1日開催の第225回議員総会において、以下のとおり決めた。

旧 条 文	新 条 文
<p>(委員会)</p> <p>第2条 本商工会議所は定款第54条の規定に基づき、次のとおり委員会を置く。</p> <p><u>運営委員会</u> <u>中小企業振興委員会</u> <u>まちづくり委員会</u> <u>都市交通委員会</u> <u>文化観光委員会</u> <u>岡山ブランド委員会</u> <u>防災・BCP推進委員会</u> <u>SDGs・環境委員会</u> <u>地方創生推進委員会</u> <u>ビジネス交流委員会</u> <u>人材育成委員会</u> <u>国際委員会</u> <u>スポーツ支援委員会</u> <u>西大寺地域活性化委員会</u></p> <p>2 前項の委員会に必要があるときは小委員会を置くことができる。 <u>運営委員会 会員増強と財政基盤の拡充小委員会</u></p>	<p>(委員会)</p> <p>第2条 (略)</p> <p><u>運営委員会</u> <u>中小企業振興委員会</u> <u>スマート・ベニュー構想実現委員会</u> <u>まちづくり・都市交通委員会</u> <u>文化観光委員会</u> <u>岡山ブランド委員会</u> <u>食料・エネルギー委員会</u> <u>おかやま魅力向上委員会</u> <u>人材育成委員会</u> <u>国際委員会</u> <u>スポーツ支援委員会</u> <u>西大寺地域活性化委員会</u></p> <p>2 (略) <u>運営委員会 会員増強小委員会</u> <u>運営委員会 選挙制度改革小委員会</u></p>

旧 条 文	新 条 文
<p>第3条 特別の事情によって緊急に委員会を置く必要がある場合は、定款第39条11号（ハ）の規定に基づき、常議員会の議決を経て、臨時委員会を置くことができる。</p> <p style="text-align: center;"><u>岡山商工会議所新会館建設特別委員会</u> <u>会議所議員選挙特別委員会</u></p> <p>2 (略)</p>	<p>第3条 (略)</p> <p style="text-align: center;"><u>商工会議所会館リニューアル特別委員会</u></p> <p>2 (略)</p>
	<p>(付 記)</p> <p>(24) <u>令和4年11月1日改正</u> 第2条・第3条委員会再編</p>

## ⑧ 職員就業規則の一部改正

令和5年3月14日に開催された第377回常議員会において、以下のとおり決めた。

旧 条 文	新 条 文												
<p>第2条（職員の定義） 職員とは、第2章に定めるところにより商工会議所に採用された次の各号の者をいう。</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) 略</p> <p>(3) 嘱託職員…本規則第60条により60歳定年時に継続して再雇用された者および定年を過ぎてから採用された者、または商工会議所が必要と認めた者で、業務の範囲・役割・責任の度合いなどが職員と異なる者</p> <p>第60条（定年） 職員（60歳より前に無期契約職員となった者を含む）の定年は満60歳とし、定年に達した日以後における最初の3月31日をもって退職とする。</p>	<p>第2条（職員の定義） 職員とは、第2章に定めるところにより商工会議所に採用された次の各号の者をいう。</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) 略</p> <p>(3) 嘱託職員…本規則第60条により定年時に継続して再雇用された者および定年を過ぎて採用された者、または商工会議所が必要と認めた者で、業務の範囲・役割・責任の度合いなどが職員と異なる者</p> <p>第60条（定年） 職員（60歳より前に無期契約職員となった者を含む）の定年は満65歳とし、定年に達した日以後における最初の3月31日をもって退職とする。</p>												
	<p>附 則 この規則は、令和5年4月1日から施行する。</p> <p>2 <u>第60条中に「65歳」とあるものは、以下の期間の区分に応じ、それぞれの欄に記載された年令と読み替えるものとする。</u></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td>現行</td> <td>60歳</td> </tr> <tr> <td>令和5年度～6年度</td> <td>61歳</td> </tr> <tr> <td>令和7年度～8年度</td> <td>62歳</td> </tr> <tr> <td>令和9年度～10年度</td> <td>63歳</td> </tr> <tr> <td>令和11年度～12年度</td> <td>64歳</td> </tr> <tr> <td>令和13年度～</td> <td>65歳</td> </tr> </tbody> </table>	現行	60歳	令和5年度～6年度	61歳	令和7年度～8年度	62歳	令和9年度～10年度	63歳	令和11年度～12年度	64歳	令和13年度～	65歳
現行	60歳												
令和5年度～6年度	61歳												
令和7年度～8年度	62歳												
令和9年度～10年度	63歳												
令和11年度～12年度	64歳												
令和13年度～	65歳												



## ⑨ 嘱託職員就業規則の一部改正

令和5年3月14日に開催された第377回常議員会において、以下のとおり決めた。

旧 条 文	新 条 文
<p>第2条（嘱託職員の定義）</p> <p>この規則において「嘱託職員」とは、次に掲げる者をいう。</p> <p>(1) 「職員就業規則」第60条により60歳定年時に継続して再雇用された者、および定年退職後60歳を過ぎてから採用された者（以下「再雇用者」という。）</p> <p>(2) その他商工会議所が必要と認めた者</p> <p>第6条（再雇用）</p> <p>商工会議所は、定年退職予定者のうち「職員就業規則」第61条（解雇）の基準に該当しない者であって、再雇用を希望する者を、1年更新で、65歳に達する日以後、最初に到来する3月31日まで再雇用する。</p> <p>2 略</p> <p>3 本条第1項の規定にかかわらず、65歳以上の者について商工会議所が特に必要と認めた場合は、契約を更新することがある。</p>	<p>第2条（嘱託職員の定義）</p> <p>この規則において「嘱託職員」とは、次に掲げる者をいう。</p> <p>(1) 「職員就業規則」第60条により定年時に継続して再雇用された者、および60歳を過ぎて採用された者（以下「再雇用者」という。）</p> <p>(2) 略</p> <p>第6条（再雇用）</p> <p>商工会議所は、定年退職予定者のうち「職員就業規則」第61条（解雇）の基準に該当しない者であって、再雇用を希望する者を、1年更新で、65歳に達する日以後、最初に到来する3月31日まで再雇用する。</p> <p>2 略</p> <p>3 本条第1項の規定にかかわらず、65歳以上の者について商工会議所が特に必要と認めた場合は、<u>満70歳まで</u>契約を更新することがある。</p> <p><u>附 則</u> この規則は、令和5年4月1日から施行する。</p>

## ⑩ 給与規程の一部改正

令和5年3月14日に開催された第377回常議員会において、以下のとおり決めた。

旧 条 文	新 条 文
<p>第10条 扶養親族のある職員に対し、扶養手当を支給する。</p> <p>2 前項の扶養親族とは次に掲げる者で、他に生計の途がなく、主としてその職員の扶養を受けている者をいい、所得税法でいう非課税限度額以下でなければならない。</p> <p>(1) 配偶者</p> <p>(2) 満22才に達する日以後最初の3月31日までの間にある子及び孫</p> <p>(3) 60才以上の父母及び祖父母</p> <p>(4) 満22才に達する日以後最初の3月31日までの間にある弟妹</p> <p>(5) 重度心身障害者</p> <p>3 前項の(1)～(5)号に掲げる者以外であっても職員と生計を一にする場合は扶養手当を支給することができる。</p>	<p>第10条 扶養親族のある職員に対し、扶養手当を支給する。</p> <p>2 前項の扶養親族とは次に掲げる者で、他に生計の途がなく、主としてその職員の扶養を受けている者をいい、所得税法でいう非課税限度額以下でなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) (略)</p> <p>(4) (略)</p> <p>(5) (略)</p> <p><u>3 削除</u></p>

旧 条 文	新 条 文
4 前項の扶養手当の額は別表のとおりとする。	<u>3</u> (略)
<p>第17条 休日出勤または時間外勤務を命ぜられた者に対しては、次の算式により計算した超過勤務手当を支給する。</p> <p>(1) 法定休日に勤務を命ぜられたもの  <math>(給料+調整手当) \div (月平均所定労働時間 \times 1.35 \times \text{超過勤務時間数})</math></p> <p>(2) 法定休日以外の休日又は時間外勤務を命ぜられたもの  <math>(給料+調整手当) \div (月平均所定労働時間 \times 1.25 \times \text{超過勤務時間数})</math></p> <p>2 深夜業の手当は前項第1号の場合1.6、同項第2号の場合1.5とする。</p> <p>3 第16条の規定により管理職手当を支給される職員には超過勤務手当を支給しない。</p>	<p>第17条 休日出勤または時間外勤務を命ぜられた者に対しては、次の算式により計算した超過勤務手当を支給する。</p> <p>(1) 法定休日に勤務を命ぜられたもの  <math>(給料+調整手当) \div (月平均所定労働時間 \times 1.35 \times \text{超過勤務時間数})</math></p> <p>(2) 法定休日以外の休日又は時間外勤務を命ぜられたもの  <u><math>(法定外労働時間が1か月60時間以下の部分)</math></u>  <math>(給料+調整手当) \div (月平均所定労働時間 \times 1.25 \times \text{超過勤務時間数})</math></p> <p>(3) <u>法定外労働時間が1か月60時間を超える部分</u>  <math>(給料+調整手当) \div (月平均所定労働時間 \times 1.5 \times \text{超過勤務時間数})</math></p> <p>2 深夜業の手当は前項第1号の場合1.6、同項第2号の場合1.5、<u>同項第3号の場合1.75</u>とする。</p> <p>3 第16条の規定により管理職手当を支給される職員には超過勤務手当を支給しない。</p> <p><u>附 則 第10条及び第17条の改正規程は、令和5年4月1日から施行する。</u></p>

## ⑪ 基金規約の一部改正

令和5年3月14日に開催された第377回常議員会において、以下のとおり決めた。

旧 条 文	新 条 文
<p>名称 岡山商工会議所新会館建設基金規約</p> <p>第1条 岡山商工会議所新会館の建設や付帯施設の整備等に必要な資金を積立てるため、岡山商工会議所新会館建設基金（以下「基金」という。）を設置する。</p> <p>第2条 (略)</p> <p>第3条 (略)</p> <p>第4条 (略)</p> <p>第5条 基金は、次の各号のいずれかに該当する場合に限り、全部または一部を処分することができる。</p> <p>1 岡山商工会議所新会館の建設や付帯施設の整備等に充当するとき。</p>	<p>名称 岡山商工会議所会館整備基金規約</p> <p>第1条 岡山商工会議所会館及び付帯施設の整備や新会館の建設に必要な資金を積立てるため、岡山商工会議所会館整備基金（以下「基金」という。）を設置する。</p> <p>第2条 (略)</p> <p>第3条 (略)</p> <p>第4条 (略)</p> <p>第5条 基金は、次の各号のいずれかに該当する場合に限り、全部または一部を処分することができる。</p> <p>1 岡山商工会議所会館及び付帯施設の整備や新会館の建設に充当するとき。</p> <p><u>付 則 この改正規約は、令和5年3月14日から実施する。</u></p>

## Ⅱ 組 織

### 1 会 員

① 会員数 (令和5年3月31日現在)

区 分	令和3年度末 現在会員数	新規加入者数	脱退者数	令和4年度末 現在会員数
個人	1,879	618	276	2,221
法人	5,372	268	156	5,484
団体	25	0	2	23
合計	7,276	886	434	7,728

会費負担口数別 (金額別) 会員数

持口数	会員数	会費 (年間)	持口数	会員数	会費 (年間)
1	2,329	13,974,000	50	5	1,500,000
2	2,189	26,268,000	70	72	30,240,000
3	2,730	49,140,000	80	26	12,480,000
4	18	432,000	90	1	540,000
5	192	5,760,000	100	10	6,000,000
6	14	504,000	150	1	900,000
7	2	84,000	200	16	19,200,000
8	2	96,000	305	1	1,830,000
9	1	54,000	330	2	3,960,000
10	60	3,600,000	口数合計		30,760口
12	1	72,000	平均口数		3.98口
15	8	720,000	年間会費総額		184,560,000円
20	30	3,600,000			
30	10	1,800,000			
33	2	396,000			
35	1	210,000			
40	5	1,200,000			

## ② 部 会

部会の名称、所属業種、所属部会員数

部 会 名	所 属 業 種	所属部会員数
(1) 建 設	《総合工事》土木、舗装、建築、建築・リフォーム 《職別工事》大工、とび・土工・コンクリート工事、鉄骨・鉄筋、石工・れんが・ タイル・ブロック工事、左官、板金、塗装、インテリア 《設備工事》電気、電気通信、管工事	1,154
(2) ものづくり	《製造業》食料品、飲料、繊維製品、木材・木製品、家具・装備品、紙・紙加工品、 化学製品、医薬品、石油・石炭製品、プラスチック製品、ゴム製品、なめし皮・ 同製品、窯業・土石製品、鉄鋼、非鉄金属、金属製品、機械器具、電子部品、 情報通信機器、輸送用機械器具、その他の製造	567
(3) 情 報・文 化	通信業、放送業、情報サービス業、インターネット関連、映像・音声文字情 報制作、新聞、出版、広告制作・代理店、印刷、製本、デザイン、ディスプ レイ、屋外広告、著述・芸術家	482
(4) 運 輸・通 信	鉄道、道路旅客運送、道路貨物運送、水運業、航空運輸、倉庫、自動車販売・ 整備、レンタカー、運転代行	428
(5) 卸 売	各種商品、繊維製品、飲食料品、建築材料・鉱物・金属、化学製品、機械器具（自 動車を除く）、家具・建具・じゅう器、医薬品・化粧品、紙・紙製品、その他 製品	516
(6) 小 売	百貨店、スーパー、繊維製品、靴・履物、飲食料品、機械器具（自動車を除く）、 家具・建具・じゅう器、医薬品・化粧品、燃料、書籍・文房具、スポーツ用品・ がん具、時計・貴金属、無店舗販売、その他製品	767
(7) 金融・不動産	銀行、協同組織金融、貸金業、金融商品取引、保険業、不動産取引・賃貸・管理、 駐車場、物品賃貸業（自動車を除く）	512
(8) 観 光	旅館・ホテル、旅行代理店、食堂・レストラン、喫茶店、酒場・スナック、 テイクアウト、デリバリー	599
(9) 専門サービス	弁護士、司法書士、弁理士、土地家屋調査士、行政書士、公認会計士、税理士、 社会保険労務士、経営コンサルタント、純粋持ち株会社、獣医、写真、機械設計、 非破壊検査、土木建築設計、大学・専門学校・教育関連機関、修理・メンテ ナンス、職業紹介、労働者派遣、建物サービス、警備業、各種団体	899
(10) 生活関連サービス	洗濯、理・美容、浴場、家事サービス、宗教、冠婚葬祭、映画館、遊技場、スポー ツ施設、その他の娯楽業、電気・都市ガス供給、病院・診療所、歯科医院、 療術業、保健衛生、社会保険・社会福祉・介護事業、児童・老人・障害者福祉、 学習塾、教養・技能教授、イベント企画、廃棄物処理	761

### ③ 委員会

(～令和4年10月31日)

【常設委員会】

委員会名	委員数	主な審議（調査・研究）事項
運 営 委 員 会	22	商工会議所運営上、重要な事項。国・自治体等に対する政策提言。事務局員の資質向上。財政基盤の拡充。 <小委員会> ①会員増強と財政基盤の拡充 ②商工会議所ビル機能向上の検討（新ビル建設・耐震改修・改築・機能向上方策等） ③会議所議員選挙制度等の改革検討
中 小 企 業 振 興 委 員 会	26	中小・小規模事業者の経営支援。経営革新、創業支援、働き方改革、事業承継、生産性の向上、中小企業のICT導入支援、IT経営力大賞の支援、人手不足対策、企業の海外進出支援、マル経融資の利用促進。岡山働き方改革推進支援センター運営支援。
ま ち づ くり 委 員 会	36	中心市街地活性化と都市機能の見直し、まちの魅力づくりの検討、コンベンション機能の充実、まちの賑わいづくりの検討。「2030年に向けたまちづくり提言」の具体化検討。
都 市 交 通 委 員 会	22	中心市街地の回遊性向上のための公共交通の利用促進と整備検討。超小型モビリティや自転車（コミュニティサイクル）自動運転車など移動手段の多様性の検討。Ma a Sの研究。ドローン活用研究。国道2号の渋滞緩和とJR桃太郎線のLRT化の推進。
文 化 観 光 委 員 会	34	観光資源の魅力向上。インバウンド観光の推進。宇喜多家・池田家の顕彰。歴史・文化を生かした都市連携の推進。岡山食文化研究会の運営。MICEの推進。岡山ブランド委員会と連携した「おかやま食文化」の情報発信。
岡 山 ブ ラ ン ド 委 員 会	18	農林水産業との連携による岡山ならではの岡山ブランドの構築。フルーツパフェの街おかやま、こだわりの逸品「おかやま果実」の展開。地産地消の推進。地元中小企業の農林水産業との連携推進。農業協同組合との協働による商品開発と販路開拓検討。
防 災 ・ B C P 推 進 委 員 会	18	企業のBCP策定推進と災害が発生した地域の復旧・復興支援の検討。南海トラフ地震や津波対応の情報提供。岡山商工会議所のBCPの見直し。
S D G s ・ 環 境 委 員 会	21	SDGsの普及。瀬戸内海海洋汚染、海洋プラスチックごみ対策の推進。プラスチック・スマートの推進。CO <sub>2</sub> 排出量削減、水資源の涵養推進。「旭川かわまちづくり計画」の推進。CLT・バイオマス発電活用研究。AI活用など新技術の導入による環境負荷対策の検討。
地 方 創 生 推 進 委 員 会	19	移住・定住の推進。岡山地域発展協議体等と連携した地域活性化の推進。アルベルゴ・ディフーズの推進支援。地方創生インバウンド推進協議会、グリーンツーリズムの推進。医療ツーリズムの推進。
ビ ジ ネ ス 交 流 委 員 会	11	会員相互の交流（ビジネス・親睦）、当所青年部、女性会との事業連携の推進。会議所部会活動の活性化推進。岡山武蔵倶楽部活動支援。

委員会名	委員数	主な審議（調査・研究）事項
人材育成委員会	11	若手経済人の育成支援。次世代を担う若者へのキャリア教育の推進。「生きる力、学びのその先へ」をテーマとした新学習指導要領（文部科学省）に基づく地域社会に開かれた教育活動への協力・支援。企業の人材確保に向けたマッチングの推進。大学コンソーシアム等との連携強化。生涯教育の推進。ももたろう・スタートアップカフェ運営支援。IT人材の確保と育成。「岡山県企業と大学との共同研究センター」運営協力。
国際委員会	12	姉妹都市・姉妹会議所との交流推進（サンノゼ市、富川市）。南オーストラリア州・アデレード市、ミャンマーとの継続的交流。JETRO、JICAとの連携による会員企業の海外展開やAMDAとの連携による海外支援活動の協力。留学生の就職・生活支援の検討。岡山空港国際路線開拓支援（東南アジア等）。
スポーツ支援委員会	15	ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ等岡山县内スポーツクラブの支援。アリーナ、サッカー専用スタジアム等スポーツ施設の整備検討。岡山县内プロスポーツの育成支援とSPOC研究会との連携。スマート・ベニューを生かしたまちづくりの研究。
西大寺地域活性化委員会	13	西大寺地域の観光資源の活用と歴史的建造物の保存と活用支援。西大寺会陽、西大寺マラソンなどイベント開催支援。映画等ロケ地誘致（フィルムコミッション活動）の支援。アルベルゴ・ディフーズの導入による五福通り活性化検討。犬島での芸術と文化を生かした「島づくり」検討。

### 【特別委員会】

委員会名	委員数	主な審議（調査・研究）事項
岡山商工会議所 新会館建設特別委員会	12	岡山商工会議所会館建替えに向けた検討を行う。新会館の基本構想・基本計画の立案。設計、施工業者への発注方法等の検討。建設協力金、補助金、借入金等の検討。
岡山商工会議所 議員選挙特別委員会	26	岡山商工会議所の組織強化に向け、商工会議所議員の選挙・選任の改革に向けて調査検討を行う。新たな議員選挙の実施方法が確定し、次の任期に向けた議員の改選に際しては、1号・2号・3号議員の調整を行い、議員改選の円滑な実施を遂行する。

### 委員会組織改編

11月の議員任期の開始に伴い、第225回議員総会（11月1日）、第226回議員総会・第376回常議員会（12月2日）で13委員会の設置及び正副委員長の選任と委員の委嘱を決めた。

(令和4年12月2日～)

【常設委員会】

委員会名	委員数	主な審議（調査・研究）事項
運 営 委 員 会	20	商工会議所の運営上、重要な事項 国、自治体に対する政策提言、事務局員の資質向上、財政基盤の拡充による職員待遇の向上 <小委員会> ①会員増強 ②選挙制度改革（次期選挙に向けた検証）
中 小 企 業 振 興 委 員 会	29	D X（デジタル田園都市構想）、G X（グリーン成長戦略） コンプライアンス（業界法規制、労務管理、税務会計） 経営改善・事業継続（マル経融資、健康経営、生産性向上、働き方改革、BCP策定推進） スタートアップ（期中5社目標、事業計画策定・資金繰り支援等） 企業誘致促進（地域未来投資促進法）
ス マ ー ト ・ ベ ニ ュ ー 構 想 実 現 委 員 会	19	スマート・ベニュー構想実現 D Xアリーナ・スタジアム
ま ち づ く り ・ 都 市 交 通 委 員 会	31	中心市街地活性化、交通システム、空路利用促進、路線維持対策（鉄道・バス・タクシー・海運・宇野港連携）
文 化 観 光 委 員 会	43	後楽園、岡山城、岡山地域歴史・文化探訪の推進 岡山市内の美術館連携推進 岡山芸術創造劇場、岡山シンフォニーホールなど文化施設連携と文化芸術団体支援（岡山ジュニアオーケストラ、岡山フィルハーモニーなど） 瀬戸内国際芸術祭、岡山芸術交流、県民文化祭、岡山国際音楽祭など文化イベントの連携支援 晴れの国おかやま検定
岡 山 ブ ラ ン ド 委 員 会	28	「フルーツパフェの街おかやま」「こだわりの逸品『おかやま果実』」、日本酒（県産酒）県産ワイン、ばら寿司（6月1日市民の日を中心に展開）などに絞り込んだ展開
食 料 ・ エ ネ ル ギ ー 委 員 会	23	経済安全保障、持続可能な企業活動、SDGs、GX 6次産業化推進（儲かる持続可能な農業、移住支援） 農商工連携
お か や ま 魅 力 向 上 委 員 会	11	女性会、青年部、「岡山市民の日」の認知度向上、ビジネス交流、武蔵倶楽部、県内商工会議所交流、東中国四国南北軸交流
人 材 育 成 委 員 会	32	「稼ごう、守ろう、続けよう」ができる中小企業経営者育成 若手経済人育成、ビジョン経営の実践（企業が向かうべき理想の姿に進むために、描く方向性、将来像を示すこと。経営者自身が経営理念をしっかりと持つこと） おかやま活性化ビジネスプラン大賞 リベラルアーツの浸透推進、ICT人材の育成支援

委員会名	委員数	主な審議（調査・研究）事項
国際委員会	18	サンノゼとの交流とデジタル田園都市研究 タイ交流（岡山シーガルズ・JETROタイアップ） 南オーストラリア州アデレード交流（カーボンニュートラル・アンモニア） 岡山県・南オーストラリア州友好提携25周年事業への参加 韓国・富川商工会議所との交流
スポーツ支援委員会	23	スポーツ振興、トップチーム（ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ、 トライフープ岡山、岡山リベッツ、BMX）支援
西大寺地域 活性化委員会	13	一般社団法人西大寺活性化協議会活動支援、特別目的会社設立準備支援 西大寺でのアルベルゴ・ディフーズの検討

### 【特別委員会】

委員会名	委員数	主な審議（調査・研究）事項
商工会議所会館 リニューアル 特別委員会	15	商工会議所会館耐震補強、会館整備の推進 ①コンセプト実現に向けた検討とコスト削減の検討 ②建設協力金、補助金、借入金等の検討

## 2 特別会員

区分	令和4年度末現在会員数
個人	209
法人	833
団体	1
合計	1,043

## 3 特定商工業者（令和4年4月1日現在）

	総数	内訳	
		会員数	非会員数
特定商工業者数	7,023	2,738	4,285 (1,516)

※（ ）内は非会員のうち負担金納入済業者数

（付記）

地区外転出、廃業等の特定商工業者数

基準日現在の 特定商工業者数	地区外転出数	廃業等数	本社引揚数	令和4年度末 特定商工業者数
7,023	33	132	2	6,856



## 4 役員

### ① 令和5年3月31日現在の各役員の定数及び実数

区 分	定 数	実 数
会 頭	1人	1人
副 会 頭	4	4
副会頭に準ずる者	1	1
専務理事	1	1
常 議 員	41	41
監 事	3	3
常務理事	(2人以内)	0
理 事	3人以内	1

### ② 令和5年3月31日現在の氏名、企業の名称及び企業上の地位

(役職名)	(氏 名)	(企業の名称及び企業上の地位)
会 頭	松 田 久	両備ホールディングス株式会社取締役副会長
副 会 頭	高 谷 昌 宏	株式会社サンヨープレジャー代表取締役社長
〃	勝 矢 雅 一	カーツ株式会社代表取締役社長
〃	森 健太郎	学校法人森教育学園副理事長
〃	岡 本 典 久	ライト電業株式会社代表取締役社長
〃	安 原 宗一郎	大紀産業株式会社代表取締役
専務理事	高 橋 邦 彰	
常 議 員	逢 澤 寛 人	アイサワ工業株式会社代表取締役社長
〃	荒 木 雷 太	株式会社荒木組代表取締役
〃	石 井 清 裕	ネットヨタ岡山株式会社取締役社長
〃	江 尻 博 子	株式会社岡山スポーツ会館代表取締役
〃	遠 藤 俊 夫	岡山県貨物運送株式会社代表取締役会長
〃	大 塚 祥 文	ライフオス株式会社代表取締役社長
〃	大 森 實	昭和被服総業株式会社代表取締役会長
〃	岡 崎 達 也	岡山ガス株式会社代表取締役社長
〃	小 川 健	株式会社キョードー代表取締役社長
〃	梶 谷 俊 介	岡山トヨタ自動車株式会社代表取締役社長
〃	梶 原 康 彦	梶原乳業株式会社代表取締役
〃	桑 田 真 治	おかやま信用金庫理事長
〃	越 磨 潔	中国電力株式会社岡山支社執行役員岡山支社長
〃	小 林 仁	株式会社ベネッセホールディングス代表取締役社長CEO
〃	近 藤 弦之介	弁護士法人太陽綜合法律事務所代表弁護士
〃	里 見 俊 樹	R S K山陽放送株式会社代表取締役社長
〃	末 長 範 彦	岡山土地倉庫株式会社取締役会長
〃	高 木 晶 悟	株式会社トマト銀行取締役社長
〃	武 田 浩 一	株式会社廣榮堂代表取締役
〃	千 原 行 喜	株式会社成通代表取締役
〃	寺 坂 幸 治	株式会社中国銀行専務取締役
〃	土 井 雅 人	テレビせとうち株式会社代表取締役社長
〃	中 静 敬一郎	岡山放送株式会社代表取締役社長

常 議 員	中 島 基 善	ナカシマホールディングス株式会社代表取締役社長
〃	永 山 久 人	下津井電鉄株式会社代表取締役
〃	西 尾 源治郎	西尾総合印刷株式会社代表取締役社長
〃	西 川 智 洋	西日本電信電話株式会社岡山支店支店長
〃	根 木 克 己	株式会社システムタイズ代表取締役
〃	野 田 好 信	株式会社デンショク取締役会長
〃	延 原 正 浩	株式会社マルシン物流代表取締役
〃	福 武 義 修	福武観光株式会社代表取締役社長
〃	藤 原 恵 子	株式会社フジワラテクノアート代表取締役社長
〃	古 市 大 藏	株式会社トミヤコーポレーション代表取締役会長
〃	前 坂 匡 紀	協同組合岡山情報文化研究所代表理事
〃	梶 本 健太郎	丸正製粉株式会社代表取締役
〃	松 岡 徹	旭ホールディングス株式会社代表取締役社長
〃	松 田 正 己	株式会社山陽新聞社代表取締役社長
〃	三 宅 啓 一	株式会社大本組代表取締役社長
〃	宮 里 隆 志	株式会社商工組合中央金庫岡山支店支店長
〃	若 林 昭 吾	株式会社三好野本店代表取締役会長
〃	渡 邊 育 正	日進ゴム株式会社代表取締役
監 事	岡 崎 正 裕	岡崎運送株式会社代表取締役社長
〃	野 口 裕 年	株式会社野口商店代表取締役会長
〃	米 田 光 雄	株式会社ウッディヨネダ代表取締役
理 事	鶴 岡 良 孝	

## 5 議 員

### ① 令和5年3月31日現在の定数及び実数

区 分	定 数	実 数
1 号 議 員	64人	64人
2 号 議 員	43	43
3 号 議 員	18	18
合 計	125	125

### ② 令和5年3月31日現在の各号議員の氏名、企業の名称及び企業上の地位

#### 1号議員

(氏 名)	(企業の名称及び企業上の地位)
安 藤 喬	日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社顧問
生 本 尚 久	みのる産業株式会社代表取締役社長
石 川 康 晴	イシカワホールディングス株式会社代表取締役社長
岩 坪 誠次郎	日宝総合製本株式会社代表取締役社長
大久保 泰 造	シーアール物流株式会社代表取締役
大 坂 哲 也	株式会社両備リソラ取締役
大 塚 祥 文	ライフォス株式会社代表取締役社長
大 橋 節 子	学校法人創志学園環太平洋大学副理事長・学長

岡崎世作	双葉電機株式会社代表取締役社長
岡崎登	株式会社レイ取締役
岡本典久	ライト電業株式会社代表取締役社長
小川健	株式会社キョードー代表取締役社長
奥田宏	オージー技研株式会社代表取締役社長
尾崎茂	菅公学生服株式会社代表取締役
小野田吉孝	株式会社両備システムズ代表取締役副社長
加計孝太郎	学校法人加計学園理事長
勝矢雅一	カーツ株式会社代表取締役社長
上條智子	株式会社岡山高島屋代表取締役社長
川本洋	税理士法人パートナーズ代表社員
窪田健太郎	ライフデザイン・カバヤ株式会社取締役社長
黒瀬仁志	山陽ヤナセ株式会社代表取締役
黒田季之	株式会社ブックス代表取締役
幸野源	株式会社岡山マツダ代表取締役会長
小林裕彦	小林裕彦法律事務所代表弁護士
清水富江	備前化成株式会社代表取締役社長
曾田宏昭	株式会社ドコモCS中国岡山支店支店長
高尾宏和	株式会社アルファ代表取締役社長
高山眞司	高山産業株式会社代表取締役社長
津川孝太郎	株式会社岡山製紙代表取締役社長
坪井隆志	岡山ヤクルト販売株式会社代表取締役
徳山靖彦	株式会社徳山電機製作所代表取締役
富山明寿	小倉産業株式会社代表取締役
中俊介	ナカウン株式会社代表取締役
長尾聡一郎	ナガオ株式会社代表取締役
中島範久	株式会社中島商会代表取締役副会長
中島義雄	帝人ナカシマメディカル株式会社代表取締役会長
中瀬実	株式会社中電工岡山統括支社執行役員支社長
難波圭太郎	オーエム産業株式会社代表取締役社長
延原寛紀	新光運輸株式会社代表取締役
橋本明三	株式会社トスコ代表取締役
服部俊也	服部興業株式会社代表取締役社長
平野敬典	山下産業株式会社常務取締役
平林実	平林金属株式会社代表取締役社長
藤原竜也	株式会社トンボ代表取締役社長
瀨上司朗	富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社岡山支社支社長
本郷旬	セリオ株式会社代表取締役社長
前坂匡紀	協同組合岡山情報文化研究所代表理事
榎本健太郎	丸正製粉株式会社代表取締役
松尾浩紀	ダイヤ工業株式会社代表取締役
松尾慶信	吉備システム株式会社専務取締役
松岡徹	旭ホールディングス株式会社代表取締役社長
水口彰	株式会社城西設計代表取締役
三宅一郎	株式会社システムエンタープライズ代表取締役
向井常明	ユニック中四国販売株式会社代表取締役
室賀康史	室賀ネジ機工株式会社代表取締役
安田猛	安田産業株式会社代表取締役社長

安場直樹	株式会社林原代表取締役
安原宗一郎	大紀産業株式会社代表取締役
山口哲史	社会福祉法人ちとせ交友会理事長
山崎博文	株式会社ジャパン・ネットワークシステムズ代表取締役
山田和範	サンワサプライ株式会社代表取締役社長
山本修司	株式会社岡山コンベンションセンター代表取締役社長
米田光雄	株式会社ウッディヨネダ代表取締役
和田俊博	オカネツ工業株式会社代表取締役

## 2号議員

浅野哲志	浅野産業株式会社代表取締役
荒木雷太	株式会社荒木組代表取締役
井尻昭夫	学校法人吉備学園理事長
伊藤大介	アクサ生命保険株式会社岡山支社支社長
江國成基	株式会社天満屋取締役
江尻博子	株式会社岡山スポーツ会館代表取締役
大森 實	昭和被服総業株式会社代表取締役会長
岡崎正裕	岡崎運送株式会社代表取締役社長
小野大輔	イオンモール株式会社イオンモール岡山ゼネラルマネージャー
貝畑拓哉	株式会社カイトックホールディングス取締役
梶谷周平	株式会社岡山木村屋代表取締役
梶谷俊介	岡山トヨタ自動車株式会社代表取締役社長
梶原康彦	梶原乳業株式会社代表取締役
瓦谷祐司	新生電機株式会社代表取締役社長
桑田真治	おかやま信用金庫理事長
近藤弦之介	弁護士法人太陽綜合法律事務所代表弁護士
榊原 敬	社会医療法人社団十全会心臓病センター榊原病院理事長・院長
高田聖次	株式会社木村設計代表取締役
高谷昌宏	株式会社サンヨープレジャー代表取締役社長
武田浩一	株式会社廣榮堂代表取締役
田中一宏	税理士法人田中会計代表社員
田中 信行	さんもく工業株式会社代表取締役
田辺健二	東京海上日動火災保険株式会社岡山支店支店長
千原行喜	株式会社成通代表取締役
同前裕一郎	岡山中央魚市株式会社代表取締役社長
永山久夫	岡山プラザホテル株式会社代表取締役会長
永山久人	下津井電鉄株式会社代表取締役
西尾源治郎	西尾総合印刷株式会社代表取締役社長
根木克己	株式会社システムタイズ代表取締役
野口裕年	株式会社野口商店代表取締役会長
野田好信	株式会社デンシヨク取締役会長
延原正浩	株式会社マルシン物流代表取締役
蜂谷泰祐	蜂谷工業株式会社代表取締役社長
福武義修	福武観光株式会社代表取締役社長
藤原恵子	株式会社フジワラテクノアート代表取締役社長
古市大藏	株式会社トミヤコーポレーション代表取締役会長
本井 誠	株式会社ホテルグランヴィア岡山代表取締役社長

森 健太郎	学校法人森教育学園副理事長
吉田大助	株式会社ビザビ代表取締役
吉永教幸	三輝建設株式会社代表取締役
吉村武大	備前自動車岡山教習所代表
若林昭吾	株式会社三好野本店代表取締役会長
渡邊育正	日進ゴム株式会社代表取締役

### 3号議員

逢澤寛人	アイサワ工業株式会社代表取締役社長
石井清裕	ネットトヨタ岡山株式会社取締役社長
遠藤俊夫	岡山県貨物運送株式会社代表取締役会長
岡崎達也	岡山ガス株式会社代表取締役社長
越磨潔	中国電力株式会社岡山支社執行役員岡山支社長
小林仁	株式会社ベネッセホールディングス代表取締役社長CEO
里見俊樹	R S K山陽放送株式会社代表取締役社長
末長範彦	岡山土地倉庫株式会社取締役会長
高木晶悟	株式会社トマト銀行取締役社長
寺坂幸治	株式会社中国銀行専務取締役
土井雅人	テレビせとうち株式会社代表取締役社長
中静敬一郎	岡山放送株式会社代表取締役社長
中島基善	ナカシマホールディングス株式会社代表取締役社長
西川智洋	西日本電信電話株式会社岡山支店支店長
松田久	両備ホールディングス株式会社取締役副会長
松田正己	株式会社山陽新聞社代表取締役社長
三宅啓一	株式会社大本組代表取締役社長
宮里隆志	株式会社商工組合中央金庫岡山支店支店長

## 6 委員長等

(～令和4年10月31日)

### ○運営委員会

委員長	中島基善 (ナカシマホールディングス株式会社代表取締役社長)
副委員長	若林昭吾 (株式会社三好野本店代表取締役会長)

会員増強と財政基盤の拡充小委員会

委員長	高木晶悟 (株式会社トマト銀行取締役社長)
-----	-----------------------

### ○中小企業振興委員会

委員長	根木克己 (株式会社システムタイズ代表取締役)
副委員長	小川健 (株式会社キョードー代表取締役社長)
副委員長	西尾源治郎 (西尾総合印刷株式会社代表取締役社長)
担当副会頭	勝矢雅一 (カーツ株式会社代表取締役社長)

### ○まちづくり委員会

委員長	梶原康彦 (梶原乳業株式会社代表取締役)
副委員長	梶谷周平 (株式会社岡山木村屋代表取締役)
副委員長	高田聖次 (株式会社木村建築設計事務所代表取締役)
担当副会頭	高谷昌宏 (株式会社サンヨープレジャー代表取締役社長)

○都市交通委員会

委員長 黒瀬 仁志 (山陽ヤナセ株式会社代表取締役)  
副委員長 永山 久人 (下津井電鉄株式会社代表取締役)  
副委員長 三宅 健夫 (株式会社両備システムズ代表取締役副社長)  
担当副会頭 高谷 昌宏 (株式会社サンヨープレジャー代表取締役社長)

○文化観光委員会

委員長 安原 宗一郎 (大紀産業株式会社代表取締役)  
副委員長 大塚 祥文 (ライフオス株式会社代表取締役社長)  
副委員長 大森 實 (昭和被服総業株式会社代表取締役会長)  
担当副会頭 石井 清裕 (ネッツトヨタ岡山株式会社取締役社長)

○岡山ブランド委員会

委員長 千原 行喜 (株式会社成通代表取締役)  
副委員長 同前 裕一朗 (岡山中央魚市株式会社代表取締役社長)  
担当副会頭 石井 清裕 (ネッツトヨタ岡山株式会社取締役社長)

○防災・BCP推進委員会

委員長 室賀 康史 (室賀ネジ機工株式会社代表取締役)  
副委員長 服部 俊也 (服部興業株式会社代表取締役社長)  
担当副会頭 勝矢 雅一 (カーツ株式会社代表取締役社長)

○SDGs・環境委員会

委員長 逢澤 寛人 (アイサワ工業株式会社代表取締役社長)  
副委員長 土井 雅人 (テレビせとうち株式会社代表取締役社長)  
副委員長 中静 敬一郎 (岡山放送株式会社代表取締役社長)  
担当副会頭 岡本 典久 (ライト電業株式会社代表取締役社長)

○地方創生推進委員会

委員長 吉田 大助 (株式会社ビザビ代表取締役)  
副委員長 小林 裕彦 (小林裕彦法律事務所代表弁護士)  
担当副会頭 石井 清裕 (ネッツトヨタ岡山株式会社取締役社長)

○ビジネス交流委員会

委員長 向井 常明 (ユニック中四国販売株式会社代表取締役)  
副委員長 川本 洋 (税理士法人パートナーズ代表社員)  
担当副会頭 高谷 昌宏 (株式会社サンヨープレジャー代表取締役社長)

○人材育成委員会

委員長 黒田 季之 (株式会社ブックス代表取締役)  
副委員長 安場 直樹 (株式会社林原代表取締役)  
担当副会頭 岡本 典久 (ライト電業株式会社代表取締役社長)

○国際委員会

委員長 吉村 武大 (備前自動車岡山教習所代表)  
担当副会頭 森 健太郎 (学校法人森教育学園副理事長)  
担当副会頭 岡本 典久 (ライト電業株式会社代表取締役社長)

○スポーツ支援委員会

委員長 延原 正浩 (株式会社マルシン物流代表取締役)  
副委員長 江尻 博子 (株式会社岡山スポーツ会館代表取締役)  
担当副会頭 高谷 昌宏 (株式会社サンヨープレジャー代表取締役社長)  
担当副会頭 岡本 典久 (ライト電業株式会社代表取締役社長)

○西大寺地域活性化委員会

委員長 米田 光雄 (株式会社ウッディヨネダ代表取締役)  
副委員長 徳山 靖彦 (株式会社徳山電機製作所代表取締役)  
副委員長 野口 裕年 (株式会社野口商店代表取締役会長)  
副委員長 延原 寛紀 (新光運輸株式会社代表取締役)  
特別顧問 大森 實 (昭和被服総業株式会社代表取締役会長)  
担当副会頭 森 健太郎 (学校法人森教育学園副理事長)

○岡山商工会議所新会館建設特別委員会

委員長 桑田 真治 (おかやま信用金庫理事長)  
副委員長 武田 浩一 (株式会社廣榮堂代表取締役)

○岡山商工会議所議員選挙特別委員会

委員長 西尾 源治郎 (西尾総合印刷株式会社代表取締役社長)  
副委員長 岡崎 正裕 (岡崎運送株式会社代表取締役社長)  
副委員長 黒瀬 仁志 (山陽ヤナセ株式会社代表取締役)

(令和4年12月2日～)

○運営委員会

委員長 石井 清裕 (ネットトヨタ岡山株式会社取締役社長)  
副委員長 若林 昭吾 (株式会社三好野本店代表取締役会長)

会員増強小委員会

委員長 高木 晶悟 (株式会社トマト銀行取締役社長)

選挙制度改革(次期選挙に向けた検証)小委員会

委員長 西尾 源治郎 (西尾総合印刷株式会社代表取締役社長)

○中小企業振興委員会

委員長 榎本 健太郎 (丸正製粉株式会社代表取締役)  
副委員長 根木 克己 (株式会社システムタイズ代表取締役)  
副委員長 生本 尚久 (みのる産業株式会社代表取締役社長)  
副委員長 本郷 旬 (セリオ株式会社代表取締役社長)  
担当副会頭 勝矢 雅一 (カーツ株式会社代表取締役社長)

○スマート・ベニュー構想実現委員会

委員長 延原 正浩 (株式会社マルシン物流代表取締役)  
副委員長 高田 聖次 (株式会社木村建築設計事務所代表取締役)  
担当副会頭 高谷 昌宏 (株式会社サンヨープレジャー代表取締役社長)

○まちづくり・都市交通委員会

委員長 若林 昭吾 (株式会社三好野本店代表取締役会長)  
副委員長 里見 俊樹 (RSK山陽放送株式会社代表取締役社長)  
担当副会頭 高谷 昌宏 (株式会社サンヨープレジャー代表取締役社長)

○文化観光委員会

委員長 室賀 康史 (室賀ネジ機工株式会社代表取締役)  
副委員長 大塚 祥文 (ライフオス株式会社代表取締役社長)  
副委員長 大森 實 (昭和被服総業株式会社代表取締役会長)  
担当副会頭 安原 宗一郎 (大紀産業株式会社代表取締役)  
会頭特別補佐 石井 清裕 (ネットトヨタ岡山株式会社取締役社長)

○岡山ブランド委員会

委員長 千原行喜 (株式会社成通代表取締役)  
副委員長 梶谷周平 (株式会社岡山木村屋代表取締役)  
副委員長 同前裕一郎 (岡山中央魚市株式会社代表取締役社長)  
担当副会頭 岡本典久 (ライト電業株式会社代表取締役社長)

○食料・エネルギー委員会

委員長 逢澤寛人 (アイサワ工業株式会社代表取締役社長)  
副委員長 岡崎達也 (岡山ガス株式会社代表取締役社長)  
副委員長 越磨潔 (中国電力株式会社岡山支社執行役員岡山支社長)  
担当副会頭 勝矢雅一 (カーツ株式会社代表取締役社長)

○おかやま魅力向上委員会

委員長 黒田季之 (株式会社ブックス代表取締役)  
副委員長 向井常明 (ユニック中四国販売株式会社代表取締役)  
副委員長 水口彰 (株式会社城西設計代表取締役)  
担当副会頭 森健太郎 (学校法人森教育学園副理事長)

○人材育成委員会

委員長 岡崎正裕 (岡崎運送株式会社代表取締役社長)  
副委員長 田辺健二 (東京海上日動火災保険株式会社岡山支店支店長)  
担当副会頭 岡本典久 (ライト電業株式会社代表取締役社長)

○国際委員会

委員長 吉村武大 (備前自動車岡山教習所代表)  
副委員長 藤原恵子 (株式会社フジワラテクノアート代表取締役社長)  
担当副会頭 森健太郎 (学校法人森教育学園副理事長)

○スポーツ支援委員会

委員長 黒瀬仁志 (山陽ヤナセ株式会社代表取締役)  
副委員長 服部俊也 (服部興業株式会社代表取締役社長)  
担当副会頭 高谷昌宏 (株式会社サンヨープレジャー代表取締役社長)

○西大寺地域活性化委員会

委員長 米田光雄 (株式会社ウッディヨネダ代表取締役)  
副委員長 徳山靖彦 (株式会社徳山電機製作所代表取締役)  
担当副会頭 森健太郎 (学校法人森教育学園副理事長)

○商工会議所会館リニューアル特別委員会

委員長 吉田大助 (株式会社ビザビ代表取締役)  
副委員長 武田浩一 (株式会社廣榮堂代表取締役)

## 7 青年部・女性会 (令和5年3月31日現在)

○岡山商工会議所青年部

会長 和氣伸吉 (株式会社メゾネット代表取締役)  
副会長 砂子祐佳里 (プルーリオン代表)  
〃 上野雅史 (備商株式会社代表取締役社長)  
〃 大西肇 (株式会社二鶴堂代表取締役)  
〃 古市聖一郎 (株式会社トミヤコーポレーション代表取締役)



副会長 福森英樹 (NEWTRAL DESIGN 一級建築士事務所代表)  
〃 南 洋 介 (有限会社トソシエ代表取締役)

○岡山商工会議所女性会

会長 高田美紀子 (株式会社MASAYA顧問)  
副会長 干田 恵 (株式会社武田製玉部取締役)  
〃 木下育子 (新日本サービス有限会社取締役社長)  
〃 井下由美 (マスタートーマス有限会社取締役)

## 8 顧問・参与 (令和5年3月31日現在)

○顧問

岡山県知事	伊原木 隆太
岡山市市長	大森 雅夫
岡山県議会議長	加藤 浩久
岡山市議会議長	和氣 健
国立大学法人岡山大学学長	榎野 博史
日本銀行岡山支店長	川本 卓司
岡山県経済団体連絡協議会座長	中島 基善
一般社団法人岡山県銀行協会会長	加藤 貞則
岡山県中小企業団体中央会会長	晝田 眞三
岡山県商工会連合会会長	田村 正敏
岡山県農業協同組合中央会会長	青江 伯夫
株式会社日本デザインセンター代表取締役社長	原 研哉
	高谷 茂男
	徳山 武士
	服部 弘平
	木谷 忠義

○参与

岡山県産業労働部長	三浦 智美
岡山市産業観光局長	小川 祥子
国立大学法人岡山大学理事	高橋 香代
独立行政法人日本貿易振興機構岡山貿易情報センター所長	湊田 裕介
岡山市商店会連合会顧問	長谷川 誠
岡山市農業協同組合常務理事	山本 到
西日本旅客鉄道株式会社岡山支社理事岡山支社長	藤原 乗将

## Ⅲ 選挙及び選任

令和4年10月31日をもって議員の任期が満了になることに伴い、議員の選挙及び選任に関する規約に基づき、次のとおり選挙委員会を組織し、令和4年8月～10月にかけて以下により選挙選任を行い、次期議員125名を決めた。

### <議員選挙委員会>

選挙長	高橋邦彰
選挙長代理	歳森宏 (㈱あんしんネット岡山代表取締役)
委員	釜口竜雄 (ユニ車輛㈱代表取締役)
委員	河野広幸 (㈱おかやま観光コンベンション協会専務理事)
委員	高田美紀子 (㈱MASAYA顧問)

### ① 1号議員 (定数64名)

1号議員選挙は、9月26日の立候補届出の期間が終了した時点において、立候補者が定数を超えなかったため、岡山商工会議所議員の選挙及び選任に関する規約第29条第1項の規定に基づき、9月28日に第2回選挙委員会を開催し、立候補者をもって1号議員当選人とした。当選した64名は次のとおり。

旭ホールディングス㈱、㈱アルファ、イシカワホールディングス㈱、㈱ウッディヨネダ、オーエム産業㈱、オージー技研㈱、オカネット工業㈱、㈱岡山コンベンションセンター、協岡山情報文化研究所、㈱岡山製紙、㈱岡山高島屋、㈱岡山マツダ、岡山ヤクルト販売㈱、小倉産業㈱、カーツ㈱、(学)加計学園、菅公学生服㈱、吉備システム㈱、㈱キョードー、小林裕彦法律事務所、山陽ヤナセ㈱、サンワサプライ㈱、シーアール物流㈱、㈱システムエンタープライズ、㈱ジャパン・ネットワークシステムズ、㈱城西設計、新光運輸㈱、セリオ㈱、(学)創志学園 環太平洋大学、大紀産業㈱、ダイヤ工業㈱、高山産業㈱、(福)ちとせ交友会、㈱中電工岡山統括支社、帝人ナカシマメディカル㈱、㈱徳山電機製作所、㈱ドコモCS中国岡山支店、㈱トスコ、㈱トンボ、ナカウン㈱、ナガオ㈱、㈱中島商会、日宝総合製本㈱、日本カバヤ・オハヨーホールディングス㈱、(税)パートナーズ、服部興業㈱、㈱林原、備前化成㈱、平林金属㈱、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン㈱岡山支社、双葉電機㈱、㈱ブックス、丸正製粉㈱、みのる産業㈱、室賀ネジ機工㈱、安田産業㈱、山下産業㈱、ユニック中四国販売㈱、ライト電業㈱、ライフオス㈱、ライフデザイン・カバヤ㈱、㈱両備システムズ、㈱両備リソラ、㈱レイ

### ② 2号議員 (定数43名)

令和4年8月19日開催の第374回常議員会において、会頭が部会長を選任。議員の選挙及び選任に関する規約第40条及び第41条に基づき、各部会長は、次のとおり部会を開催し、2号議員を選任した。

各部会において選任された2号議員について部会員の同意を得て、9月26日に決定した。

部会名	部会期日	定数	部会長	選任された2号議員
建設	9月6日	3	荒木 雷太	(株)荒木組、三輝建設(株)、蜂谷工業(株)
ものづくり	9月6日	8	渡邊 育正	(株)岡山木村屋、(株)カイトックホールディングス、梶原乳業(株)、(株)廣榮堂、さんもく工業(株)、昭和被服総業(株)、日進ゴム(株)、(株)フジワラテクノアート
情報・文化	9月5日	4	根木 克己	(株)システムタイズ、(株)デンシヨク、西尾総合印刷(株)、(株)ビザビ
運輸・通信	9月6日	4	梶谷 俊介	岡崎運送(株)、岡山トヨタ自動車(株)、下津井電鉄(株)、(株)マルシン物流
卸売	9月6日	3	同前裕一郎	岡山中央魚市(株)、新生電機(株)、(株)野口商店
小売	9月7日	4	江國 成基	浅野産業(株)、(株)サンヨープレジャー、(株)天満屋、(株)トミヤコーポレーション
金融・不動産	9月7日	4	桑田 真治	アクサ生命保険(株)岡山支社、イオンモール(株)イオンモール岡山、おかやま信用金庫、東京海上日動火災保険(株)岡山支店
観光	9月7日	3	若林 昭吾	岡山プラザホテル(株)、(株)ホテルグランヴィア岡山、(株)三好野本店
専門サービス	9月7日	5	近藤弦之介	(学)吉備学園、(株)木村設計、(弁)太陽綜合法律事務所、(税)田中会計、(学)森教育学園
生活関連サービス	9月7日	5	福武 義修	(株)岡山スポーツ会館、(医)社団十全会心臓病センター榊原病院、(株)成通、備前自動車岡山教習所、福武観光(株)

### ③ 3号議員（定数18名）

令和4年8月19日に第374回常議員会、10月3日に第375回常議員会を開催し、議員の選挙及び選任に関する規約第46条に基づいて、会頭が常議員会の同意を得て、R S K山陽放送(株)、アイサワ工業(株)、(株)大本組、岡山ガス(株)、岡山県貨物運送(株)、岡山土地倉庫(株)、岡山放送(株)、(株)山陽新聞社、(株)商工組合中央金庫岡山支店、(株)中国銀行、中国電力(株)岡山支社、テレビせとうち(株)、(株)トマト銀行、ナカシマホールディングス(株)、西日本電信電話(株)岡山支店、ネットヨタ岡山(株)、(株)ベネッセホールディングス、両備ホールディングス(株)の18社を選任した。

### ④ 岡山商工会議所議員選挙委員会

#### 第1回選挙委員会

日 時 令和4年8月1日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 5名

議 題

1. 岡山商工会議所の議員選挙・選任について
2. 選挙委員会の規約について
3. 選挙委員会の役割について

## 第2回選挙委員会

日 時 令和4年9月28日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 4名

議 題

1. 「3号議員の選任」について
2. 「2号議員の選任」について
3. 「1号議員立候補企業」について

# IV 事務局

## 1 事務局の機構

各部課の名称及び所掌事務の概要

部 課 名		所 掌 事 務 の 概 要
総務部	総務課	文書の收受、発送、整理、保管に関する事項並びに各課の連絡調整と議員、役員、顧問、参与及び職員に関する事項並びに会議所に所属する土地、建物及び施設の維持管理、営繕並びに貸室、貸会議室等の運用に関する事項を主要業務とする。
	経理課	現金、預金及び有価証券の出納、保管に関する事項並びに会計帳簿の整理、保管を主要業務とする。
事業推進部	企画推進課	地域産業経済、企業経営に関する調査研究及び各種の統計調査並びに新規事業の企画立案に関する事項並びに会議所会報の編集、刊行並びに図書資料の収集、保管及び情報の提供サービスに関する事項並びに都市問題、都市交通、各種検定試験及びその他技能向上のための競技会に関する事項を主要業務とする。
	会員サービス課	会員の募集、会員組織の強化並びに会費の調整、徴収並びに特定商工業者の法定台帳の作成・管理、会員事業所従業員の表彰・親睦、共済制度の普及促進に関する事項を主要業務とする。
	地域振興課	産業技術、産業教育の振興、国際経済交流、講習会等の開催、貿易証明他各種証明に関する事項並びに観光物産、まつりの振興、環境問題に関する事項を主要業務とする。
中小企業支援部	経営支援課	中小企業者特に小規模事業者に対する相談指導を行うため、税務経理に関する事項並びに商工経営の改善合理化に関する事項、労働福祉対策の普及指導に関する事項、労働保険の普及と事務組合の運営に関する事項、社会保険の相談指導に関する事項を主要業務とする。
	金融支援課	制度融資に関する事項、小企業等経営改善資金の融資の審査及び推せんに関する事項、創業・事業承継に関する事項を主要業務とする。
	専門指導センター	専門分野別・業種別問題等にかかる専門的相談指導、経営革新・販路拡大に関する事項、産学官連携に関する事項を主要業務とする。
西大寺支所	総務企画課	西大寺地区の会員サービス、地域振興に関する事項並びに支所の土地、建物及び施設の維持管理、貸室、貸会議室の運用に関する事項を主要業務とする。
	中小企業振興課	西大寺地区の経営改善普及事業全般に関する事項を主要業務とする。

## 2 事務局役職員

### A 主な役員等の役職、氏名（令和5年3月31日現在）

専務理事	高橋 邦彰
理事、事務局長、事業推進部長	鶴岡 良孝
総務部長	小山 恵子
中小企業支援部長	藤原 裕久
事務局参与	堤 修治
事務局参与	香山 雅彦
事務局参与	吉田 陽一
事業推進部次長	黒崎 良子
事業推進部次長、企画推進課長	山形 章弘
中小企業支援部次長	枝 純一郎
西大寺支所長、西大寺支所総務企画課長	内田 薫
総務部総務課長	岡崎 知博
総務部経理課長	楨原 朋子
事業推進部会員サービス課長	高木 久志
事業推進部地域振興課長	難波 武典
中小企業支援部経営支援課長	古矢 博嗣
中小企業支援部金融支援課長	松岡 幸司
中小企業支援部専門指導センター課長	川口 公平
西大寺支所中小企業振興課長	高矢 久史
総務部総務課長補佐	三好 仁美
総務部経理課長補佐	父尾 伊公子
事業推進部企画推進課長補佐	合田 有希
中小企業支援部金融支援課長補佐	石岡 拓朗
西大寺支所中小企業振興課長補佐	板野 三枝子
西大寺支所中小企業振興課長補佐	妹尾 悟

### B 職員数（令和5年3月31日現在）

区分	専任職員	経営指導員	補助員	専門経営指導員	記帳専任職員	広域サポーター	計
男	3人	13人	2人	1人	0人	4人	23人
女	16	4	4	1	1	0	26
計	19	17	6	2	1	4	49

# V 庶務

## 1 表彰・受章

### A. 表彰

令和4年6月23日開催の第120回通常議員総会において次のとおり当所表彰規則に基づく該当者の表彰を行った。  
(敬称略)

(1) 規則第2条該当者（在職10年以上議員関係）

○35年以上

福 武 総一郎

○30年以上

野 田 好 信

若 林 昭 吾

○25年以上

小 川 健

○20年以上

石 井 清 裕

大 塚 祥 文

瓦 谷 敏 彦

桑 田 真 治

坪 井 隆 志

中 島 基 善

松 尾 雅 卿

松 岡 徹

○15年以上

武 田 浩 一

大 森 實

(2) 規則第5条該当者（勤続10年以上職員関係）

○25年以上

板 野 三枝子

○20年以上

父 尾 伊公子

山 形 章 弘

○15年以上

高 木 久 志

### B. 受章

令和4年度中の役員、議員の叙勲、勲章、国家褒章の受章者は次のとおり。(敬称略)

旭日小綬章

石 井 清 裕

## 2 慶弔・儀礼（主なもの）

- 令和4年 4月14日 瀬戸内国際芸術祭開会式&オープニングツアーに高橋専務理事出席  
4月26日 2021年度「おかやましんきん地域活性化支援制度エリアサポート」二次審査及び助成金贈呈式に須々木理事出席  
4月27日 A M D Aへのウクライナ支援金贈呈式に松田会頭並びに高橋専務理事出席  
5月3日 ゴールデンフェスタ岡山2022に松田会頭並びに須々木理事出席  
5月5日 岡山市×富川市国際友好交流都市締結20周年日韓文化交流フェスティバルに松田会頭、高橋専務理事、鶴岡理事出席  
5月15日 ドルフィン・グレイズこども園・ランチこども園合同落成式に松田会頭並びに高橋専務理事出席  
5月23日 全国労働保険事務組合連合会岡山支部令和4年度労働保険事務担当者表彰式に高橋専務理事出席  
5月27日 「(一社)北前船交流拡大機構 結成6周年記念・(一社)地域連携研究所 自治体会員制度発足記念」祝賀会に松田会頭並びに高谷副会頭出席  
6月1日 岡山商工会議所青年部「岡山市民の日10周年記念事業」に森副会頭出席  
6月6日 T K C 中国会創立50周年記念事業「記念式典、記念講演」に勝矢副会頭出席  
6月24日 岡山広告協会令和3年度岡山広告賞贈呈式に高橋専務理事並びに鶴岡理事出席  
7月13日 第74回岡山県文化賞表彰式に松田会頭出席  
7月22日 桃太郎電鉄ラッピング路面電車出発式に松田会頭出席  
9月10日 「ピーチファーマーズビレッジ」オープニングセレモニーに松田会頭並びに勝矢副会頭出席  
9月19日 2022年西日本地区日中国交正常化50周年慶祝大会に松田会頭出席  
9月22日 2022-23シーズン 岡山シーガルズ激励会に松田会頭並びに高橋専務理事出席  
9月26日 トライフープ岡山B3リーグ2022-23シーズンティップオフパーティーに松田会頭出席  
9月30日 岡山芸術交流2022オープニングセレモニーに松田会頭出席  
9月30日 おかやま健康づくりアワード2022に高橋専務理事出席  
10月1日 新倉敷商工会館竣工記念式典・祝賀会に石井副会頭出席  
10月1日 西大寺ライオンズクラブ認証65周年記念式典に松田会頭出席  
10月2日 山陽学園大学地域マネジメントコンテストに高橋専務理事出席  
10月3日 駐神戸大韓民国総領事館「国慶日慶祝レセプション」に松田会頭出席  
10月9日 積善会100周年記念事業に高橋専務理事出席  
10月25日 地方創生経営者フォーラム・岡山に松田会頭並びに高橋専務理事出席  
10月26日 岡山城下山陽道物語安全祈願に松田会頭並びに高橋専務理事出席  
10月31日 岡山城内覧会に高橋専務理事出席  
11月3日 岡山城リニューアルオープニングセレモニーに松田会頭出席  
11月10日 カーツ(株)創業100周年イベントに松田会頭、高橋専務理事、鶴岡理事出席  
11月15日 S D G s フェア@ままかりフォーラムに高橋専務理事出席  
11月16日 令和4年度おかやま菊花大会表彰式に松田会頭出席  
11月23日 岡山コンベンションセンター開設20周年記念に高橋専務理事出席  
11月24日 第60回「岡山県民の警察官」表彰式に高橋専務理事出席



- 11月27日 (一社)地域デザイン学会 瀬戸内フォーラム2022に松田会頭出席
- 12月 1日 MOMOTAROH FANTASY 2022点灯式典に松田会頭出席
- 12月 6日 ウエストジャパン興業(株)創業60周年記念式典に松田会頭出席
- 12月13日 日本政策金融公庫との事業承継支援に関する覚書締結式に松田会頭並びに高橋専務理事出席
- 12月22日 令和4年度「NHK歳末たすけあい」配分交付式に高橋専務理事出席
- 令和5年 1月12日 第81回(令和5年)山陽新聞賞贈呈式に松田会頭出席
- 1月14日 2023年韓国民団新年会に松田会頭出席
- 1月16日 (一社)西大寺青年会議所2023年度 新年祝賀会に松田会頭出席
- 1月26日 岡山大学共育共創コモンズ完成披露式典に松田会頭出席
- 1月28日 楯築ルネッサンス フォーラム2023に松田会頭出席
- 2月 2日 (一社)地域連携研究所企業会員制度発足式、第32回北前船寄港地フォーラム in 沖縄に松田会頭、高谷副会頭、森副会頭、岡本副会頭、高橋専務理事、鶴岡理事出席
- ～ 4日
- 2月 5日 岡山学芸館高等学校サッカー部×ウエストランド祝! W優勝パレードに松田会頭出席
- 2月 5日 西大寺会陽 節分祭に松田会頭出席
- 2月12日 岡山市連合町内会創立60周年記念大会に松田会頭出席
- 2月16日 晝田眞三氏旭日小綬章・山陽新聞賞受章祝賀会に松田会頭出席
- 2月25日 岡山商工会議所青年部創立30周年記念式典に松田会頭、高谷副会頭、勝矢副会頭、森副会頭、岡本副会頭、安原副会頭、高橋専務理事、鶴岡理事出席
- 2月28日 全国高校サッカー選手権岡山学芸館高等学校優勝祝賀会に鶴岡理事出席
- 3月 1日 第61回岡山学芸館高等学校卒業証書授与式、第8回岡山学芸館清秀中学校・高等部卒業証書授与式に松田会頭出席
- 3月 6日 「ジョージアから学ぶウクライナ戦争」緊急フォーラムに高橋専務理事出席
- 3月11日 岡山空港35周年記念式典に松田会頭並びに高橋専務理事出席
- 3月21日 (一社)全日本フリースタイルBMX連盟 活動報告及び懇親パーティーに松田会頭並びに高橋専務理事出席

# VI 会議

第225回議員総会後の就任記者会見



再任された松田会頭と新任1名となった副会頭5名による新体制がスタート

第120回通常議員総会



令和3年度事業報告並びに収支決算、議員選挙制度改革の変更(案)等について全会一致で承認

第1回スマート・ベニュー構想実現委員会



今期新設された当委員会ではスタジアム・アリーナを核としたまちづくりの検討を進めていく

第376回常議員会・第226回議員総会合同会議



「おかやま果実」ブランド認定式が会議の冒頭行われた

岡山市幹部と当所正副会頭との懇談会



松田会頭ほか4名の副会頭と岡山市長をはじめとする市幹部が、ウィズコロナ支援やまちづくりなどについて意見交換をした

# 1 議員総会

## A. 通常議員総会 第120回通常議員総会

令和4年6月23日

会 場 ANAクラウンプラザホテル岡山

出席者 98名

議 題

<議 案>

1. 「議員の職務を行う者」の変更について

(株)ドコモCS中国岡山支店、(株)商工組合中央金庫岡山支店から「議員の職務を行う者」を変更する届出があった旨の説明を行い、曾田宏昭氏、宮里隆志氏の「議員の職務を行う者」への就任を全会一致で承認した。

2. 令和3年度事業報告並びに収支決算の承認について

提出原案のとおり全会一致で承認した。

3. 議員選挙制度改革と定款の一部変更（案）について

提出原案のとおり全会一致で承認した。

4. 岡山商工会議所選挙委員会委員（案）について

提出原案のとおり全会一致で承認した。

5. 岡山商工会議所会館整備について

提出原案のとおり全会一致で承認した。

<報告事項>

1. 令和4年度岡山城下山陽道物語事業概要について

2. 日本商工会議所 移動常議員会・議員総会について

## 第121回通常議員総会

令和5年3月28日

会 場 岡山プラザホテル

出席者 114名

議 題

<議 案>

1. 「議員の職務を行う者」の変更について

(株)太陽綜合法律事務所、東京海上日動火災保険(株)岡山支店、イオンモール(株)イオンモール岡山から「議員の職務を行う者」を変更する届出があった旨の説明を行い、谷口怜司氏、石崎真哉氏、藤本康久氏の「議員の職務を行う者」への就任を全会一致で承認した。

2. 令和5年度事業計画（案）について

提出原案のとおり全会一致で承認した。

3. 令和5年度収支予算（案）について

提出原案のとおり全会一致で承認した。

4. 岡山商工会議所会館リニューアルについて

提出原案のとおり全会一致で承認した。

<報告事項>

1. 岡山商工会議所職員・嘱託職員就業規則の改正について

2. 第9回晴れの国おかやま検定の結果について

3. 令和5年度おかやま桃太郎まつり烏城夏まつりについて

4. 令和4年度岡山市からの委託事業について（実績報告）

**B. 臨時議員総会**

**第224回議員総会（第375回常議員会と合同開催）**

令和4年10月3日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 94名

議 題

<議 案>

1. 3号議員の追加選任について  
提出原案のとおり全会一致で承認した。
2. 商工会議所会館整備について  
提出原案のとおり全会一致で承認した。
3. 新規会員の入会について  
提出原案のとおり全会一致で承認した。
4. 令和4年度優良従業員表彰における被表彰該当者（案）の承認について  
提出原案のとおり全会一致で承認した。

<報告事項>

1. 岡山商工会議所議員の改選結果について

<委員会活動報告>

次の6委員会についてそれぞれ活動報告が行われた。

- |                 |     |         |
|-----------------|-----|---------|
| (1) 中小企業振興委員会   | 委員長 | 根木 克己 氏 |
| (2) 都市交通委員会     | 委員長 | 黒瀬 仁志 氏 |
| (3) 岡山ブランド委員会   | 委員長 | 千原 行喜 氏 |
| (4) 防災・BCP推進委員会 | 委員長 | 室賀 康史 氏 |
| (5) SDGs・環境委員会  | 委員長 | 逢澤 寛人 氏 |
| (6) 西大寺地域活性化委員会 | 委員長 | 米田 光雄 氏 |

**第225回議員総会**

令和4年11月1日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 119名

議 題

<議 案>

1. 会頭の選任について  
松田久氏の会頭への就任を全会一致で承認した。
2. 副会頭の選任について  
高谷昌宏氏、勝矢雅一氏、森健太郎氏、岡本典久氏の副会頭への就任を全会一致で承認し、安原宗一郎氏の副会頭に準ずる者への就任を全会一致で承認した。
3. 専務理事の選任について  
高橋邦彰氏の専務理事への就任を全会一致で承認した。
4. 常議員及び監事の選任について  
常議員及び監事を提出原案のとおり全会一致で承認した。

5. 理事の選任について  
鶴岡良孝氏の理事への就任を全会一致で承認した。
6. 顧問及び参与の委嘱について  
顧問及び参与の委嘱について提出原案のとおり全会一致で承認した。  
また、伊原木一衛氏、岡崎彬氏の名誉会頭への就任を全会一致で承認した。
7. 岡山商工会議所委員会の改編（案）について  
提出原案のとおり全会一致で承認した。
8. 岡山商工会議所委員会規約の一部改正（案）について  
提出原案のとおり全会一致で承認した。

## 第226回議員総会（第376回常議員会と合同開催）

令和4年12月2日

会 場 ホテルグランヴィア岡山

出席者 112名

議 題

<認定式>令和4年度こだわりの逸品「おかやま果実」ブランド認定式

<議 案>

1. 委員長・副委員長及び委員の委嘱（案）について  
提出原案のとおり全会一致で承認した。
2. 育児・介護休業等規程の一部改正（案）について  
提出原案のとおり全会一致で承認した。

<報告事項>

1. 岡山商工会議所会館リニューアルについて
2. 新アリーナの公設民営に向けた提言について
3. 海外視察報告（パリ・北前船寄港地フォーラム、ロンドン・まちづくり）について
4. 「岡山商工会議所会報 glocal」令和5年度広告依頼について
5. 令和5年度税制改正に関する要望について
6. 岡山市民の日 愛LOVE川柳について
7. ファジアーノ岡山からの報告について

## 2 常議員会

### 第373回常議員会

令和4年6月13日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 39名

議 題

<議 案>

1. 「議員の職務を行う者」の変更について
2. 岡山商工会議所表彰規則に基づく被表彰該当者（案）について
3. 令和3年度事業報告並びに収支決算の承認について
4. 議員選挙制度改革と定款・規約の改定について
5. 岡山商工会議所会館整備について

6. 新規会員の入会について

<報告事項>

1. 令和4年度岡山城下山陽道物語事業概要について

### 第374回常議員会

令和4年8月19日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 36名

議 題

<議 案>

1. 「議員の職務を行う者」の変更について
2. 岡山商工会議所議員の改選について
  - (1) 規約の一部改正について
  - (2) 3号議員の選任について
  - (3) 2号議員の選任のための部会について
3. 岡山商工会議所会館整備について

### 第375回常議員会（第224回議員総会と合同開催）

### 第376回常議員会（第226回議員総会と合同開催）

### 第377回常議員会

令和5年3月14日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 41名

議 題

<議 案>

1. 岡山商工会議所職員・嘱託職員就業規則の改正（案）について
2. 岡山商工会議所給与規程の改正（案）について
3. 岡山商工会議所基金規約の改正（案）について
4. 令和5年度事業計画（案）について
5. 令和5年度収支予算（案）について
6. 岡山商工会議所会館リニューアルについて
7. 新規会員の入会について

<報告事項>

1. 第9回晴れの国おかやま検定の結果について
2. 令和5年度おかやま桃太郎まつり鳥城夏まつりについて
3. 令和4年度岡山市からの委託事業について（実績報告）

## 3 監事会

### 第70回監事会

令和4年5月30日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 7名

議 題

1. 令和3年度決算関係書類の監査について

## 4 部会・委員会

(～令和4年10月31日)

### 【常設委員会】

#### <運営委員会>

##### 第8回運営委員会

令和4年6月6日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 24名

議 題

1. 令和3年度事業報告並びに収支決算の承認について
2. 議員選挙制度改革に伴う定款・規約の改訂について
3. 岡山商工会議所会館整備について

#### <中小企業振興委員会>

##### 第7回中小企業振興委員会

令和4年8月10日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 21名

議 題

1. おかやまIT経営力大賞について

ゲスト：(一社)システムエンジニアリング岡山 事務局長 楠戸 國正 氏  
IT相談員 大森 丈治 氏

2. DXを取り巻くアカデミアからのチャレンジについて

ゲスト：岡山大学 情報セキュリティ工学研究室 教授 野上 保之 氏

#### <文化観光委員会>

##### 第9回文化観光委員会

令和4年4月19日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 29名

議 題

1. 岡山城の特長とリニューアルについて

ゲスト：岡山市 産業観光局観光部観光振興課 課長代理 小野田 伸 氏

2. 視察研修会について

##### 第10回文化観光委員会

令和4年8月30日

会 場 岡山市立オリエント美術館

出席者 25名

議 題

1. 岡山市立オリエント美術館の館内見学
2. 岡山芸術交流2022について

ゲスト：岡山市 市民生活局スポーツ文化部 部長 岩田 修 氏  
同 文化振興課 課長補佐 新居田 克 則 氏

### <岡山ブランド委員会>

第4回岡山ブランド委員会及び第6回岡山ブランド委員会ワーキンググループ合同会議

令和4年9月26日

会 場 ホテルグランヴィア岡山

出席者 31名

議 題

#### 【第6回岡山ブランド委員会ワーキンググループ】

1. 岡山ブランド創出に向けて～岡山の「米」について～

ゲスト：全国農業協同組合連合会岡山県本部  
農産・園芸部次長（農産・営農振興担当） 小 原 久 典 氏

#### 【第4回岡山ブランド委員会】

2. 岡山ブランド委員会ワーキンググループ報告について
3. 岡山ブランド委員会のまとめについて

### <防災・BCP推進委員会>

第7回防災・BCP推進委員会

令和4年4月21日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 20名

議 題

1. ニューヨークテロでの危機管理・事業継続について

ゲスト：元(株)中国銀行 ニューヨーク支店長 久保津 敦 雄 氏

2. 「国の事業継続力強化計画」の認定について

ゲスト：(独)中小企業基盤整備機構中国本部 企業支援課 課長代理 山 元 貴 雄 氏

第8回防災・BCP推進委員会

令和4年7月13日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 18名

議 題

1. 西日本豪雨災害時の対応とその後のBCPへの取り組みについて

ゲスト：(株)テオリ 取締役会長 中 山 正 明 氏

### <SDGs・環境委員会>

第8回SDGs・環境委員会

令和4年8月23日



会 場 岡山商工会議所本所

出席者 25名

議 題

1. おかやまグリーンバイオ・プロジェクトについて

ゲスト：岡山県 産業労働部産業振興課イノベーション推進班 副参事 小林 恭代氏  
同 主幹 三原和也氏

2. 岡山放送(株)のSDGsの取り組みについて

ゲスト：岡山放送(株) アナウンス室課長 篠田 吉央氏

3. 委員会の活動報告について

### <スポーツ支援委員会>

#### 第3回スポーツ支援委員会

令和4年8月5日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 15名

議 題

1. 「フラット八戸（アリーナ）の運営手法」について

ゲスト：REI SUPER MANAGERS(株) 代表 土橋 太一氏

### 【特別委員会】

#### <岡山商工会議所新会館建設特別委員会>

##### 第1回岡山商工会議所新会館建設特別委員会

令和4年6月7日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 25名

議 題

1. 商工会議所会館建設の検討状況について

##### 第2回岡山商工会議所新会館建設特別委員会

令和4年6月17日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 17名

議 題

1. 商工会議所会館建設の検討状況について

##### 第3回岡山商工会議所新会館建設特別委員会

令和4年7月11日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 15名

議 題

1. 商工会議所会館建設の検討状況について

##### 第4回岡山商工会議所新会館建設特別委員会

令和4年8月12日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 17名

議 題

1. 商工会議所会館整備の検討について

第5回岡山商工会議所新会館建設特別委員会

令和4年10月27日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 19名

議 題

1. 今後の進め方について

<岡山商工会議所議員選挙特別委員会>

第2回岡山商工会議所議員選挙特別委員会

令和4年4月21日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 25名

議 題

1. 会議所議員選挙制度改革案の検討について

第3回岡山商工会議所議員選挙特別委員会

令和4年5月30日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 27名

議 題

1. 岡山商工会議所議員選挙制度の改革について

第4回岡山商工会議所議員選挙特別委員会

令和4年7月26日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 27名

議 題

1. 岡山商工会議所議員の調整について

第5回岡山商工会議所議員選挙特別委員会

令和4年8月19日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 28名

議 題

1. 岡山商工会議所議員の調整について

第6回岡山商工会議所議員選挙特別委員会

令和4年9月8日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 29名

議 題

1. 今後の議員選挙スケジュール
2. 3号議員の選任結果について
3. 2号議員の選任結果について
4. 1号議員の候補者について

(令和4年12月2日～)

### 【常設委員会】

#### <運営委員会>

##### 第1回運営委員会

令和5年3月8日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 28名

議 題

1. 岡山商工会議所職員・嘱託職員就業規則の改正（案）について
2. 岡山商工会議所給与規程の改正（案）について
3. 岡山商工会議所基金規約の改正（案）について
4. 令和5年度事業計画（案）について
5. 令和5年度収支予算（案）について
6. 岡山商工会議所会館リニューアルについて

#### <中小企業振興委員会>

##### 第1回中小企業振興委員会（第1回食料・エネルギー委員会との合同委員会）

令和5年1月31日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 33名

議 題

1. 国のエネルギー政策の現状と先行き  
ゲスト：経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部政策課長 河野 太志 氏
2. 電気料金の見直しについて  
説明者：中国電力(株)岡山支社 執行役員岡山支社長 越 磨 潔 氏

#### <スマート・ベニュー構想実現委員会>

##### 第1回スマート・ベニュー構想実現委員会

令和5年2月21日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 22名

議 題

1. 「スタジアム・アリーナを核としたまちづくりについて」～スマート・ベニューの視点から～  
ゲスト：(株)日本政策投資銀行 岡山事務所長 森 脇 大 輔 氏
2. アリーナ構想について
3. 今後の委員会活動について

## <まちづくり・都市交通委員会>

### 第1回まちづくり・都市交通委員会

令和5年1月30日

会場 岡山商工会議所本所

出席者 27名

議題

#### 1. 岡山市の都市交通政策について

ゲスト：岡山市 都市整備局都市・交通部交通政策課 課長 是友修二氏

### 第2回まちづくり・都市交通委員会

令和5年2月28日

会場 岡山商工会議所本所

出席者 45名

議題

#### 1. 岡山理科大学イノベーション・ラボによる研究発表

ゲスト：岡山理科大学 経営学部経営学科 教授 宮脇靖典氏

同 教授 渡邊圭史氏

同 准教授 横山ひとみ氏

## <文化観光委員会>

### 第1回文化観光委員会

令和5年3月2日

会場 岡山城不明門

出席者 29名

議題

#### 1. 今期の委員会活動について

#### 2. 委員会顧問について

#### 3. 視察研修会について

#### 4. 今後の委員会スケジュールについて

#### 5. 新・岡山城の見どころについて

ゲスト：岡山市 産業観光局観光部観光振興課 課長代理 小野田 伸氏

## <食料・エネルギー委員会>

### 第1回食料・エネルギー委員会（第1回中小企業振興委員会との合同委員会）

令和5年1月31日

会場 岡山商工会議所本所

出席者 33名

議題

#### 1. 国のエネルギー政策の現状と先行きについて

ゲスト：経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部政策課長 河野太志氏

#### 2. 電気料金の見直しについて

説明者：中国電力(株)岡山支社 執行役員岡山支社長 越磨 潔氏

## <おかやま魅力向上委員会>

### 第1回おかやま魅力向上委員会

令和5年2月9日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 15名

議 題

#### 1. 「岡山市民の日」事業について

ゲスト：岡山商工会議所青年部 岡山市民の日委員会 副委員長 勝 部 教 道 氏  
同 副委員長 山 本 幸 治 氏

#### 2. 今後の委員会活動について

## <国際委員会>

### 第1回国際委員会

令和5年3月22日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 18名

議 題

#### 1. 岡山県の国際交流の取り組みについて

ゲスト：岡山県 県民生活部国際課 課長 藤 村 直 貴 氏  
同 総括参事 戸 川 真由美 氏

#### 2. 今後の委員会活動について

## <スポーツ支援委員会>

### 第1回スポーツ支援委員会

令和5年2月24日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 33名

議 題

#### 1. 「プロスポーツチームの状況」について

ゲスト：(株)ファジアーノ岡山	代表取締役社長	北 川 真 也 氏
岡山シーガルズ(株)	副社長	藤 井 守 雄 氏
同	取締役	高 田 さゆり 氏
(株)TRYHOOP (トライフープ岡山)	代表取締役	中 島 聡 氏
岡山リベッツ	監督	白 神 宏 佑 氏

#### 2. 今後の委員会活動について

#### 3. 「部活動の地域移行」について

ゲスト：岡山市 スポーツ振興課、教育委員会保健体育課、教育委員会指導課

## <西大寺地域活性化委員会>

### 第1回西大寺地域活性化委員会

令和5年3月27日

会 場 岡山商工会議所西大寺支所

出席者 15名

議 題

1. 西大寺地域活性化委員会の新体制について
2. (一社)西大寺活性化協議会の活動内容について
3. 今後の委員会活動について

### 【特別委員会】

#### <商工会議所会館リニューアル特別委員会>

##### 第1回商工会議所会館リニューアル特別委員会

令和5年1月23日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 20名

議 題

1. これまでの検討の経緯について
2. 今後の進め方について
  - ・商工会議所内でのさらなる検討
  - ・設計及び施工の流れ

##### 第2回商工会議所会館リニューアル特別委員会

令和5年2月27日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 18名

議 題

1. 設計の進め方について
  - ・所内での検討内容について
  - ・設計事務所の選定について

## 5 小規模事業者経営改善資金審査会

審査会開催回数 35回

小規模事業者経営改善資金

審査件数 84件

推薦件数 84件

推薦金額 54,249万円

貸付件数 83件

貸付金額 53,949万円

業種別推薦状況

①製造業	2件	1,400万円
②建設業	30件	22,850万円
③卸売業	1件	330万円
④小売業	21件	14,910万円
⑤サービス業	29件	14,079万円
⑥その他	1件	680万円

## 6 フルーツパフェの街おかやま実行委員会

### 第1回実行委員会

令和4年6月13日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 12名

議 題

1. 令和3年度事業報告及び収支決算について
2. 令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

## 7 こだわりの逸品「おかやま果実」実行委員会

### 第1回実行委員会

令和4年6月13日

会 場 岡山商工会議所本所

出席者 17名

議 題

1. 令和3年度事業報告及び収支決算について
2. 令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
3. 新製品の募集について

## 8 西大寺五福通りレトロ・マルシェ実行委員会

### 第1回実行委員会

令和4年9月9日

会 場 岡山商工会議所西大寺支所

出席者 19名

議 題

1. 第12回西大寺五福通りレトロ・マルシェの開催について

### 第2回実行委員会

令和5年1月12日

会 場 岡山商工会議所西大寺支所

出席者 19名

議 題

1. 第12回西大寺五福通りレトロ・マルシェの報告について
2. 令和4年度決算報告について
3. 次回開催日・会場について
4. 次回開催予算について
5. 会則・実行委員名簿の一部改定について

## 第3回実行委員会

令和5年3月22日

会 場 岡山商工会議所西大寺支所

出席者 16名

議 題

1. 第13回西大寺五福通りレトロ・マルシェの開催について
2. 会則の一部改定について
3. 実行委員会名簿の一部改定について

## 9 諸会議

### (1) 正・副会頭

正・副会頭会議 13回

### (2) 行政機関等との懇談会

岡山県幹部との懇談会 5回  
岡山市幹部との懇談会 5回  
岡山市連合町内会幹部との懇談会 1回  
岡山市連合婦人会幹部との懇談会 1回

### (3) 岡山商工会議所青年部

総 会 3回  
役員会 13回  
例 会 10回  
研修会・親睦会 4回

岡山県商工会議所青年部連合会

総 会 1回  
臨時総会 1回  
役員会 5回  
総務委員会 4回  
企画委員会 5回  
研鑽交流委員会 8回

### (4) 岡山商工会議所女性会

総 会 1回  
役員会 12回  
例 会 10回

岡山県商工会議所女性会連合会

総 会 1回  
正・副会長会議 3回  
会員講演会 1回



(5) 外郭団体諸会議

岡山県警察友の会	
総会	1回
理事会	1回
岡山総友会・岡山経友会	
総会	1回
合同当番幹事会	4回
合同例会	11回
岡山経済調査協議会	
例会	12回
視察研修会	1回
岡山県日韓親善協会	
総会	1回
理事会（書面審議）	1回
岡山珠算振興会	
総会	1回
日本珠算連盟岡山県連合会	
総会	1回
会長・副会長会議	2回
理事会	2回
部会	7回
岡山武蔵倶楽部	
総会	1回
役員会	2回
例会	2回
(一社)アルベルゴ・ディフーズ・ジャパン	
総会	1回
理事会	4回（内、書面審議1回）
(一社)西大寺活性化協議会	
総会	1回
会長・正副理事長会議	3回
理事会	4回
空家まち並み利活用推進委員会	
委員会	2回
観光推進委員会	
ご当地・料理土産物開発グループ	8回
ロケ地跡整備フィルムコミッショングループ	1回
犬島観光グループ	2回
観光推進グループ	7回
イベント推進委員会	
委員会	2回
情報発信推進委員会	
委員会	4回

伝統的建造物群景観調査委員会	
委員会	1回
岡山市民の日実行委員会	9回
<b>(6) 関係団体諸会議</b>	
旭川かわまちづくり計画検討・推進会議	1回
おかやま桃太郎まつり鳥城夏まつり実行委員会	
役員会	2回
西大寺青色申告会	
総会	1回
役員会	1回
西大寺青色申告会連合会	
総会	1回
合同役員会	1回
西大寺会陽奉賛会	
役員会	2回
正副会長会議	3回
関係者会議	7回
西大寺間税会	
総会	1回
研修会等	2回
西大寺小売酒販組合	
総会	1回
役員会	1回
研修会	5回
西大寺酒販協同組合	
総会	1回
役員会	1回
西大寺商店会連合会	
総会	1回
役員会	1回
(一社)西大寺青年会議所	
役員会	12回
例会	12回
研修会・親睦会	6回
(公社)西大寺法人会	
総会	1回
役員会	3回
委員会等	8回
夏まつり西大寺実行委員会	
役員会	2回

# Ⅶ 事業活動

## 1 令和4年度主要事業

### (1) 新型コロナウイルス感染症・エネルギー価格高騰に対する支援を実施

#### ○新型コロナウイルス感染症対応の経営支援を実施

当所では、中小企業支援部内に「新型コロナウイルスに関する経営相談窓口」を開設、管内の中小・小規模事業者を対象に、資金繰り円滑化、雇用維持、販路開拓など、多岐にわたる分野でコロナ対応の経営相談を実施した。

相談に当たっては、岡山県の特別相談員事業等を活用し、中小企業診断士、社会保険労務士等の専門家とともに経営指導員が個別対応を実施し、新型コロナウイルス対策マル経融資（マル新）等制度融資を活用した資金繰り支援、小規模事業者持続化補助金並びに事業再構築補助金活用による販路開拓支援等を実施した。各相談実績は以下のとおり。

小規模事業者持続化補助金	申請：299件	採択：157件
事業再構築補助金	申請：30件	採択：11件
マル経（マル新含む）	推薦84件	5億4,249万円
日本生活金融公庫一般貸付（新型コロナウイルス感染症特別貸付含む）	斡旋50件	5億157万円

#### ○エネルギー価格高騰対応の経営支援を実施

当所から岡山市への要望により実現したエネルギー価格高騰緊急対策支援金、省エネ機器導入補助金の申請相談・受付・支給業務を通じて、事業継続、エネルギー価格高騰対策の支援を実施した。各実績は以下のとおり。

エネルギー価格高騰緊急対策支援金	支給	2,932件	8億370万5千円
省エネ機器導入補助金	支給	814件	1億1,065万円

### (2) 日本商工会議所 移動常議員会・議員総会を岡山で開催

日本商工会議所は、6月15日・16日、移動常議員会・議員総会をホテルグランヴィア岡山で開催した。岡山市で同会議が開催されるのは34年ぶりで、三村明夫会頭をはじめ全国の商工会議所会頭・専務理事ら約200名が出席した。

同会議では、三菱商事(株)取締役相談役の小林健氏を日商特別顧問に委嘱したほか、2050年カーボンニュートラル実現に向けたクリーンエネルギー戦略に対する意見についての追認を行った。

併せて開催した日本商工会議所と中国ブロック商工会議所との懇談会では、中国5県の各県から1会議所ずつ地域資源を活用したまちおこしや観光振興、経済活性化策について取り組み事例が発表され、意見交換が行われた。

また、特別講演では、ゲストにデザイナーで当所顧問の原研哉氏と建築家の隈研吾氏を迎え「人々が本当に集まる場所を」をテーマに話を聞いた。

コロナ禍ではあったが、3年ぶりに盛大な懇親会が開催され、リアルな交流が行われた。



日本商工会議所 移動常議員会での特別講演

### (3) フランス・パリ北前船寄港地フォーラム、イギリス・ロンドンまちづくり視察を実施

10月15日～22日、松田会頭を団長とし、フランス・パリ、イギリス・ロンドンへの海外視察を実施した。

フランス・パリでは「北前船寄港地フォーラム」へ参加。北前船寄港地フォーラムは江戸、明治期に日本海や瀬戸内海を往来し、日本の経済圏を支えた北前船の寄港地等の交流、活性化を目指すために2007年から日本全国で開催さ

れている。

パリ大会は「日本の食と文化を世界へ」をテーマに開催。セーナ川のクルーズ船上において開会式が執り行われ、秋田の竿灯やなまはげなど日本文化のPRも行われた。フォーラムはルーブル美術館の講堂において開催され、日仏の自治体や経済関係者約250名が参加。欧州でも広がりを見せている和食の昆布の出汁文化について講演が行われた。

イギリス・ロンドンでは、ロンドン南部の郊外ウォーリントンにある「BedZED」を訪問し、脱炭素、カーボンニュートラルに取り組むまちづくりを視察。高気密高断熱の構造や風力を活かした熱交換システムの利用、建築資材の近距離での調達など環境に配慮した取り組みが行われていた。

また、ロンドン北部をホームタウンに構え、プレミアリーグに加盟するプロサッカークラブ「トッテナム・ホットスパー」のスタジアム視察も行った。2019年4月にオープンしたスタジアムは、スポーツのほかライブなど多目的開催が可能であり、電子決済システムのほか照明や音響、映像など最新の設備が完備されていた。市民や観光客にも開かれたスタジアムとなっており、スポーツを核とした地域活性化の取り組みについて見識を深めた。



北前船寄港地フォーラム会場にて

#### 参加者名簿（順不同、敬称略）

団長	松田 久	当所会頭	両備ホールディングス(株)取締役副会長
	松田 節子	令夫人	
	高谷 昌宏	当所副会頭	(株)サンヨープレジャー取締役社長
	藤原 恵子	当所常議員	(株)フジワラテクノアート取締役社長
	吉村 武大	当所議員	備前自動車岡山教習所代表
	松井 規代	全日本空輸(株)岡山支店支店長	
	高橋 邦彰	当所専務理事	
	黒崎 良子	当所事業推進部次長	

#### (4) 韓国・富川商工会議所との交流事業を再開

11月9日～12日、韓国の富川市民友好親善訪問団23名(団長:富川市・趙甬翼市長)の一員として、当所と友好交流協定を締結している韓国・富川商工会議所の金鐘欽会長を始めとする12名が来岡。コロナ等で途絶えていた相互訪問が4年ぶりに再開した。

11月10日には、当所主催の経済交流懇談会を開催し、両市の最新の経済概況や商工会議所の事業活動について意見交換を行った。また、11日には、24名が参加した後楽ゴルフクラブにて親善ゴルフ大会を開催した。

その他、岡山・富川両市の友好交流協定締結20周年の記念式典や岡山城天守閣での歓迎レセプション等も行われ、様々な交流事業を通して、岡山・富川商工会議所ともに徐々に親交を深めた。



富川商工会議所との経済交流懇談会

#### (5) 岡山市民の日実行委員会を設立

「岡山市民の日」は、平成23年の当所青年部からの提言を受け、岡山市が、平成24年3月に、市政施行日である6月1日を、「市民の日」として制定したもの。その後、当所青年部が中心となって、郷土・岡山への理解と関心を深め、愛着と誇りを育み、魅力あるまちづくりを進めていくきっかけとなるよう市民を対象としたシンポジウム開催等事業を実施して



きた。

令和4年度に節目の制定10周年を迎えたことから、更なる認知度の向上や定着を目指すため、当所、同青年部、岡山市の三者で岡山市民の日実行委員会を4月19日に設立した。

今年度は、「第6回愛ラブおかやま川柳」事業及びインスタグラム開設による認知度向上事業を実施し、川柳については、市民から過去最多の13,570件もの応募があった。また、インスタグラムについても約2,300名のフォロワーを獲得し、観光・イベント情報の発信を通して「市民の日」の普及活動に努めた。

## (6) 西大寺地域の活性化を(一社)西大寺活性化協議会と共に推進

当所は、昨年8月に法人設立した(一社)西大寺活性化協議会(会長：松田会頭、理事長：森副会頭)と共に空き家空き店舗の活用、まち並み整備、観光・産業振興などの地域活性化に資する事業を推進し、夢と活気に溢れる西大寺を実現するため活発な活動を行った。

東区の犬島も会場となった「瀬戸内国際芸術祭2022」が4月に始まったのを皮切りに、「岡山デスティネーションキャンペーン」「岡山芸術交流2022」等の大規模イベントが開催されることを受け、こうした来場者を西大寺地域への観光客として取り込むべく、4月14日から11月30日まで岡山市の補助を受けて行った「西大寺駅(西大寺バスセンター)・宝伝港間に係るデマンド型交通運行」及び「歓迎おもてなし」の事業を実施した。初日の4月14日にはJR西大寺駅前において運行開始を祝うセレモニーを行い、森理事長らがテープカットをした。



デマンド型交通運行事業出発式

五福通りでは、当所が主催する「おかやま活性化ビジネス大賞」で大賞を受賞した(株)KKM川崎が、複合施設「五福工房」のカフェ・バー部門を昨年度先行オープン、今年6月にはクラフトビール製造部門をオープンさせた。

加えて、4月から毎月第3土曜日に旧松田邸をサテライトスタジオとして「高校生とつくるこちらラジオ西大寺」を開始した。西大寺の歴史、話題、観光、イベントに様々な角度からスポットを当てホットな情報を届ける生ラジオ番組で、まちづくり関係者や地域の方をゲストに迎え放送。企画運営は当所をはじめ活性化協議会並びにまちづくり関係者と地元の高校生が行った。

## (7) アリーナ建設実現に向けた活動を実施

北長瀬みずほ住居跡地におけるアリーナ建設の実現に向け、地元プロスポーツチーム(岡山シーガルズ、岡山リベッツ、トライフープ岡山、ファジアーノ岡山)を中心とした「新アリーナ整備検討チーム(事務局：岡山商工会議所)」を組成した。

この検討チームは、令和3年12月27日に岡山市へ提出した「アリーナ建設に向けた提言書」の推進に向け、新アリーナ整備に関する各種検討や地元プロスポーツチームの意見を集約することを目的に組成した。今年度は計7回開催し、各チームがアリーナに求める設備等の協議のほか、企業版ふるさと納税や岡山市のアリーナに関する基礎調査、他都市のアリーナについて情報共有、研究をした。

その後、検討チームにて出た意見を集約した内容を盛り込んだ「新アリーナの公設民営に向けた提言」としてまとめ、令和4年12月1日、大森雅夫岡山市長及び和氣健岡山市議会議長へ提出した。提言書では、6つのコンセプトや、公設民営による稼ぐアリーナの考え方、想定される収入、必要な設備のほか、建設にあたり必要となる寄附金や企業版ふるさと納税を活用した経済団体の協力についても明記した。

## (8) 特設サイト「無料DAY歩こうでいMAP」を開設

当所では、公共交通の利用促進と会員事業者の店舗の集客支援に向けて、特設サイト「無料DAY歩こうでいMAP」を8月18日から12月25日までの期間限定で開設した。岡山市が実施する「岡山市路線バス・路面電車 運賃無料DAY」に連動して、無料DAYにあわせて来店特典の提供を実施する店



歩こうでいMAP

舗や街なかで開催されるイベントなどを紹介するもの。

期間中、生ビール一杯サービス、コーヒー豆10%増量、お会計5%オフなどの特典を提供する会員店舗14店、街なかイベント21件を、運賃無料DAY開催日ごとのマップに一元表示させて、当日の街歩きに利用できるようにした。

### (9) 「新商品・新サービス合同プレス発表会」を初開催

特色ある新商品・新サービスを持ちながら、知名度や資金力が十分でないために販売促進に苦慮している当所会員事業者を支援するため、新聞・テレビ・雑誌等のマスコミ関係を招いた「新商品・新サービス合同プレス発表会」を初めて開催した。

第1回を5月26日に開催、当所会員事業者6社が、マスコミ6社に対して、自社ならではの強みや開発の想い、社会課題への貢献などを、各社5分間の持ち時間でプレゼンテーションした。その後、会場内で自由にマスコミ関係者と交流し、新商品・新サービスの魅力をマスコミに直接アピールした。第2回を8月25日、第3回を11月25日にそれぞれ開催し、参加事業者の新商品・新サービスの多くが新聞・テレビなどの媒体で紹介され、知名度の向上につながった。



新商品・新サービス合同プレス発表会

### (10) 首都圏テストマーケティング事業を実施

食品加工販売を行う小規模事業者を対象に、首都圏への販路開拓に必要な商品改良を支援する目的で、岡山県産食材を用いた商品のテスト販売を初めて行った。今回は、秋葉原「日本百貨店しょくひんかん」にて1月17日から23日までの7日間、新橋「とっとり・おかやま新橋館」にて2月11日、12日の2日間実施し、5事業者の商品を出店。事業者と当所職員で来店者延べ244名に試食販売・アンケート調査を行った。参加事業者からは、「商品改良のヒントが得られた」「既にパッケージ改良に着手した」などの声があり、販路開拓に向けての貴重な機会となった。



秋葉原「日本百貨店」での出店

### (11) 第3回「おかやま活性化ビジネスプラン大賞」事業を実施

市内の農産物や空き家・古民家等地域固有の資源を活用して経済活性化に取り組むビジネスプランを募集し、その取り組みを顕彰することにより企業活力によるSDGsの推進を図ることを目的に第3回「おかやま活性化ビジネスプラン大賞」を実施した。岡山市や市内4商工会（岡山北、岡山南、岡山西、赤磐）と共催したもの。9月12日に、当所勝矢副会頭ら5人が実現性や経済波及効果などを審査した結果、3社の入賞者を決めた。

10月3日には、当所において表彰式を開催し、入賞3社に松田会頭から賞状盾や賞金目録を手渡した。優秀賞には、キッチンカー

による市産の農産物等の販売並びに産物・産地のPR事業の展開を提案した印刷会社ノーイン(株)を選定。また、奨励賞には、古民家を改装した宿泊・飲食施設の運営等を計画する飲食事業者合同会社K a r i M aと、生産農家が共同してイチゴの増産販売事業に取り組む事業を提案した(株)岡山フルーツ農園の2社を選出した。入賞事業者に対しては、計画の実現に向けて「岡山市地域未来づくり補助金事業」の活用など、専門家による経営相談を活用した支援を実施した。



おかやま活性化ビジネスプラン大賞表彰式

### (12) マル経資金による資金繰り支援を実施

無担保・無保証・低利率という有利な貸付条件で小規模事業者に対する経営支援を金融面から補完するマル経資金(小

規模事業者経営改善資金)について、制度の健全な運営に努めるとともに迅速な推薦手続きを行い、審査会を年35回開催した。

会報を活用し、マル経制度の紹介記事、チラシを折り込むなど積極的に広報活動を行った。しかし、多くの企業が新型コロナウイルス感染症に対応したいわゆる“ゼロゼロ融資”を利用していること等から、マル経資金の利用は減少傾向にあり、推薦件数84件(前年89件)、推薦金額5億4,249万円(前年5億9,530万円)と前年比件数で94.4%、同金額で91.1%となった。

また、コロナ禍のダメージが回復しない中、原材料・エネルギー価格高騰の影響を受けるなど地域小規模事業者の経営改善の目的で、昨年度に引き続き、岡山市より利子補給が実施された。(利子補給期間は12カ月、利子補給率は1.0%。岡山市の利子補給制度創設後に実行された貸付の借換を除く。)

### (13) 議員定数の拡大に向けて議員選挙の制度を改革

当所の創立140周年に策定したまちづくり提言「ウェルビーイングな都市 <sup>まち</sup>おかやま」の実現に向けて組織基盤・財政基盤の拡大が命題となったことから、「議員選挙特別委員会」によって議員定数の拡大並びにその実現を可能とする選挙制度の改革について協議を進め、常議員会並びに議員総会に改革案、規約の改正を提案し承認された。

選挙制度の改革としては、改選の順を2号→1号→3号から、3号→2号→1号の順に変更するとともに、3号議員は「3号議員選任のための議員協議会」での選任から常議員会で会頭が指名する方法に変更し、2号議員の選任のための部会は選挙管理委員会の主導から各部会の部長が主導する内容に変更した。

議員定数の変更については110名(1号議員56名、2号議員38名、3号議員16名)から、125名(1号議員64名、2号議員43名、3号議員18名)に増員するとともに、常議員の数も41人に増員した。

### (14) 商工会議所会館整備の方針を検討

岡山商工会議所会館は、昭和49年の竣工からほぼ半世紀が経過し老朽化が進んでいることから、令和元年12月、運営委員会内に「商工会議所ビル機能向上の検討小委員会」を設置、令和4年1月には「岡山商工会議所新会館建設特別委員会」を組織し、新会館を建設するか、耐震工事を実施するかの検討を重ねた。

専門的知見に基づいた判断を行うため、コンストラクションマネジメント会社と契約し、新築・耐震工事の協議を進め、令和4年8月に開催した第4回特別委員会の場において、「岡山商工会議所として建設のコンセプトを実現するには建替えが望ましいが、建替えの場合、建築資材高騰による総投資額の増大や多額の協力金確保が必要となるため、継続保有(耐震)案を選定する」ことが決議された。令和4年10月3日開催の常議員会並びに議員総会において、耐震補強及びリニューアル工事により継続保有する内容が承認された。

## 2 各種事業活動

### 1. 地域経済を支える中小・小規模企業の振興

#### ○伴走型小規模事業者支援推進事業を実施

小規模事業者の持続的発展を図ることを目的に、事業計画の作成及びその着実な実行支援を行うための「伴走型小規模事業者支援推進事業」を実施した。これは、小規模事業者支援法の「経営発達支援計画」で認定された計画に基づき行うもので、今年度に関しては専門家派遣68件、セミナー4回の実績となった。

#### ○「融資・経営安定特別相談会」を開催

小規模事業者の経営安定化を金融面から支援するため、各種融資制度や経営安定等の個別相談を行う「融資・経営安定」特別相談会を毎月2回開催し、延べ200件の相談があった。融資相談の他、金融円滑化法による条件変更等の厳しい内容の相談も寄せられた。

### ○専門家を派遣し経営改善支援事業を実施

当所経営安定特別相談室では、売上減少や資金繰り悪化などの経営に関する諸課題を抱える事業所に対して、中小企業診断士等の専門家を派遣した。中には、倒産危機に陥った事業所に対し、事業縮小・整理に関する支援も行った。また、融資返済条件変更に関する相談に対し、金融機関に提出するための「経営改善計画」の作成支援を行った。当年度、当相談室では70件の専門家派遣を行い、小規模事業者の経営改善に積極的に取り組んだ。

### ○創業スクールを実施

日本政策金融公庫・岡山県信用保証協会との共催により9月10日～10月15日の延べ5日間、岡山商工会議所にて開催し、創業予定者等30名が参加した。中小企業診断士等の専門家が創業までの基本ステップの講義を通じて、ビジネスプランの作成・グループ討議・プレゼンテーション等を実施した。

### ○事業承継・引継ぎ支援事業を実施

岡山県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、中小・小規模事業者の親族内承継、従業員承継、M & Aの支援を実施した。85社を対象に事業承継簡易診断を実施、内22社に対して承継コーディネーターや会計士・弁護士等の専門家派遣を行い、税務・法務を中心とした課題の解決などスムーズな承継に向けたアドバイス等を実施した。また、親族内承継を計画する11社に対しては、中期の事業承継計画の作成支援等を実施した。この他、従業員承継やM & Aの相談企業者7社については、事業引継ぎコーディネーターとともに事業譲渡、買取などの相談対応に当たり、3件のマッチングを成立させた。

### ○「商圏分析レポートサービス」事業について

小規模事業者や創業予定者をはじめとした様々な事業者を対象に、事業者自身で行うには困難なマーケット分析について、昨年に引き続き今年度も(株)日本統計センター（本社：北九州市、調査・分析、各種計画策定等を中心としたシンクタンク業務などを実施）と提携し、個社ごとに作成した商圏分析レポートを活用した支援サービスを52者に実施した。

## 2. 会員サービス事業の展開

### ○プレスリリースサポート事業を実施

地域の中小企業は引き続き厳しい経営環境に置かれているものの、舵取りのしやすい小規模であることを活かした新規性のある事業や、社会のニーズに対応したユニークな事業に取り組んでいる企業も少なくない。当所では、こうした企業の地域社会からの認知を高め、企業の業績向上につなげるため、無料でできる情報発信の手段としてプレスリリースサポート事業を行っており、文書の作成や報道機関へのリリース文送付など、広報活動に関する支援をしている。今年度は、岡山経済金融記者クラブや経済情報誌など各種媒体に67件のリリースを実施した。

### ○令和4年度（第68回）岡山商工会議所優良従業員表彰式を挙

11月22日、会員事業所へ30年以上勤務する永年勤続従業員を対象にした表彰式が、岡山プラザホテルで挙行された。松田会頭の式辞の後、(株)成通の得永聡氏が代表して表彰状を受け取った。続いて、来賓を代表して林恭生岡山市副市長から祝辞があり、最後に(株)フジワラテクノアートの林伸洋氏から謝辞が述べられ、式典は終了した。

表彰規則第1条該当者（勤続30年以上の永年勤続者）142名



優良従業員表彰式



### ○岡山武蔵倶楽部を運営

在岡の支店長と地元企業経営者らで組織する岡山武蔵倶楽部は、7月19日総会を開催し、令和3年度事業・決算報告並びに令和4年度事業・予算計画、規約の一部改正等が承認された。議事終了後はコロナ感染対策のもとドリンクパーティーにより、およそ3年ぶりに会員交流会を行い会員相互の懇親を深めた。

地域の活力を発信しようと例年実施している第19回岡山武蔵倶楽部大賞では、新しいまちづくりのモデルを示した杜の街グレースを、特別賞には岡山城「令和の大改修」、木下サーカス、(一社)岡山県アーバンスポーツ協会、奨励賞に岡山自主夜間中学校を選定し表彰式を12月9日に行った。



岡山武蔵倶楽部大賞表彰式

3月1日の例会では、12月に武蔵倶楽部「特別賞」を贈呈した木下サーカス(株)代表取締役社長の木下唯志氏を招き「夢とロマンと感動を！～世界一の魂の集団を目指して～」と題した講演会を開催した。

## 3. 魅力あるまちづくりと中心市街地活性化の推進

### ○旭川かわまちづくり計画検討・推進会議を運営

岡山カルチャーゾーン一帯の魅力向上を図ることを目的に、国へ平成25年に登録された「旭川かわまちづくり計画」に基づく事業等を円滑に推進するとともに、同計画の変更について検討を行うため「旭川かわまちづくり計画検討・推進会議」を平成28年に設置。民間事業者等による岡山後楽園、岡山城を中心とした旭川周辺の周遊性の向上など水辺を活用した賑わいづくりを推進している。

1月16日、第10回会議を開催し、新たな水辺の賑わいを創出する可能性を検討するため実施した社会実験「おかやま旭川遊覧クルーズ」、「キャスルビュー体験カヌー」の報告並びに来年度の取り組みについて協議を行った。

### ○旭川一斉清掃の実施

11月6日、旭川とその周辺地域の環境美化活動を実施し、地域の環境保全並びに地域活性化に寄与することを目的に旭川一斉清掃を実施。本年度は46の団体・企業から795名が参加した。

### ○「ゴールデンフェスタ岡山2022」を開催

岡山市商店会連合会主催、岡山市と当所の共催により5月3日～5日の3日間、市内各商店街と商業施設で実施。ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響により開催見送りとなっていたが今回は3年ぶりの開催となった。

初日には、アムスメール上之町シンボルタワー前でオープニングイベントが行われた。「双子デュオまゆみゆ」によるイメージソング披露にはじまり、主催者による開会宣言などが行われ開会した。期間中、毎回好評のワゴンセールに加え、うまいもん屋台村、空くじなしガラポン抽選会、映えスイーツマーケット、古着フリマ in 奉還町、ネクスト奉還町など多彩な集客イベントが各会場で展開され、家族連れや若者など多くの買い物客で賑わった。

### ○「備前岡山ええじゃないか2022大誓文払い」を開催

11月3日～5日の3日間、岡山市商店会連合会主催、岡山市・当所の共催により市内各商店街などで開催。今回のコンセプトは「3年ぶりに帰ってきた シン・ええじゃないか」。アムスメール上之町での商店主決起集会により勢い強く開幕した。期間中は、毎回好評の大ワゴンセールをはじめ、ええじゃないかデジタルスタンプラリー、駅前商店街の「eスポーツ体験会」や「奉還町商店街ドローン体験会」など各所で多彩なイベントが行われ、多くの買い物客で賑わった。

#### 4. 地域ブランド事業の実施

##### ○「フルーツパフェの街おかやま」事業の実施

旬の果物を使った独創性のあるフルーツパフェを提供し、「食べ歩きの魅力」「集積地としての魅力」を創出することで、全国に岡山県産果物の魅力を発信し、岡山市の産業・観光振興による地域活性化を図ることを目的に実施。

例年同様、参加店並びに市内外観光関連施設へのパンフレットの配布や地域情報誌や旅行ガイド誌等への情報提供、HP及びSNSを活用した情報発信を行うことでPR活動に努めた。



「フルーツパフェの街おかやま」パンフレット

##### ○「こだわりの逸品『おかやま果実』」事業の実施

岡山県産の果物を使った、こだわりの逸品の基準を満たす果物加工品を「おかやま果実」ブランドとして認定し、全国に発信することにより、フルーツ王国岡山のイメージアップや参加事業者の販路拡大を図ることを目的に実施。

今年度も新製品を募集し、6社11製品を追加認定した。12月2日には、当所議員総会冒頭に、おかやま果実ブランド認定式を行った。

また、2月15日～17日には東京ビッグサイトにおいて開催された展示会「feel NIPPON春2023」に出展し、販路開拓を支援した。会期中に開催された新製品コンテストでは、フード部門で「岡山県産青バナナと国産牛すじのパイシーケラカレー」（事業者名：パイシーパイス）が大賞を受賞した。



「おかやま果実」パンフレット

#### 5. まつり諸事業の開催と観光振興の推進

##### ○宗忠神社「御神幸」を開催

4月3日、当所、宗忠神社奉賛会主催により開催。コロナ禍で中止されていた行列が3年ぶりに実施された。通常時よりも規模は縮小しての開催となったが、約300人が平安貴族風の装束をまとい、後樂園までの往復約12キロを練り歩いた。

##### ○夏まつり西大寺2022を開催

当所ほか13団体で組織する夏まつり西大寺実行委員会は、7月16日に夜待まつり、8月20日に水まつりを西大寺観音院で開催した。

夜待まつりでは、3年ぶりに花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩る色鮮やかな光のページェントを約10,000人の観客が堪能した。

水まつりでは、昨年垢離取場で行われた「灯ろう流し」が例年の西川に場所を戻して実施され、2,000個の灯ろうが光の帯を作り出したほか、境内では、本堂に400個の灯ろうを並べて世界平和を祈る「ほのあかり」が行われ、訪れた約1,000人の見物客を魅了した。

新型コロナウイルスの感染防止対策を実施して行った今回の夏まつりは、通常開催に向けた一步を踏み出すイベントとなった。



夜待まつり

##### ○第12回西大寺五福通りレトロ・マルシェを開催

西大寺五福通りレトロ・マルシェ実行委員会（事務局：当所西大寺支所）は、10月9日、伝統的建造物群が数多く残る五福通りと向州公園を会場にして、3年ぶりにレトロ・マルシェを開催した。

今回は、新型コロナウイルス感染防止対策として、物販店舗は五福通り、飲食店舗は向州公園と出店エリアを分

けて開催。会場を拡大したことにより、出店者が64店舗・来場者が約10,000人と、いずれも過去最高となった。

新設会場の向州公園は、様々なグルメを堪能する家族連れで溢れ、五福通りに設けたステージでも、小中学生による演舞や吹奏楽の演奏・レトロソングコンサート等が繰り広げられ、世代を超えて賑わう華やかなイベントになった。



西大寺五福通りレトロ・マルシェ

#### ○おかやま桃太郎まつり岡山城下山陽道物語を開催

当所などで組織するおかやま桃太郎まつり鳥城夏まつり実行委員会は、子どもや若者に岡山の歴史を知ってもらう機会とするために、10月29日・30日の2日間にわたり、かつての岡山城下町であり街道・山陽道が通っていた表町商店街を会場に「岡山城下山陽道物語」を昨年度に引き続き開催した。

岡山城下町の成り立ちや岡山城主三家の街づくりに関する功績を紹介するパネル展示、宇喜多秀家公生誕140周年を記念した直家公・秀家公親子のイラスト展示、大道芸などステージショー、限定和菓子の販売、地元大学との共同企画によるスタンプラリーやハロウィンを意識した妖怪折り紙体験など、家族連れが楽しめる企画を多数展開した。



岡山城下山陽道物語開会式

感染状況は落ち着いていたが対策を講じながらも、昨年度より賑わいづくりに繋がる内容となった。

#### ○おかやま桃太郎まつり MOMOTAROH FANTASY 2022を開催

令和4年12月1日～令和5年1月9日まで、MOMOTAROH FANTASY実行委員会（当所、岡山市など11団体で構成）の主催により開催。「希望の想いをつなぐあかり巡り」をテーマに岡山駅周辺や市役所筋のほか、今回初会場となるハレまち通りが約12万個の電球でライトアップされた。駅前広場では、高さ10mのシンボルツリーやシャンパングラスをイメージしたグラスイルミネーションなどを設置し、市役所筋ではクリスマスをモチーフにした列柱イルミネーションを飾り付けた。

#### ○「第8回晴れの国おかやま検定」表彰式を開催

11月10日、第8回晴れの国おかやま検定（以下「おかやま検定」）において優秀な成績を収めた個人、団体並びに受験者数最多の団体に対し、その功績を称え、おかやま検定への一層の関心と意欲を高めるため岡山県庁にて表彰式を行った。式では、個人優秀成績者として95点を獲得した山本明子さんをはじめ、団体受験で最も平均点が高かった「JR西日本中国交通サービス岡山支店」、受験者数が最多だった「ホテルグランヴィア岡山」に、小谷敦岡山県副知事と松田会頭からトロフィーや楯、副賞を贈った。



晴れの国おかやま検定表彰式

#### ○第9回晴れの国おかやま検定を実施

2月5日、岡山県と共催し「第9回晴れの国おかやま検定」を実施した。当日は、688名が受験し、得点の高い方から達人[90点以上]36名(5.2%)、博士[60～89点]425名(61.8%)を認定した。認定者には認定証のほかバッジとステッカーを、さらに達人には岡山後楽園や岡山県立美術館の年間パスポート、晴れの国おかやま館商品券、岡山かるたを含む岡山セットを贈呈した。

※（ ）内は受験者688名中の割合

### ○第514会西大寺会陽を開催

国の重要無形民俗文化財で日本三大奇祭の一つに数えられる西大寺会陽が、西大寺会陽奉賛会（事務局：当所西大寺支所）主催のもと、2月18日西大寺観音院で開催された。祝主はR S K山陽放送(株)と銘建工業(株)が務めた。

本年も、コロナ禍が収束しないため宝木争奪戦の実施は見送ったが、3年ぶりに観客を入れ、地押しを再開して開催。花火の打ち上げや夜店の出店などもあり、約20,000人の来場者を集めた。

約2,000人の裸衆が参加した会陽は、来年の宝木争奪戦再開に向けた機運を高める会陽となった。



西大寺会陽

### ○「桃太郎のまち岡山」創造・発信事業の推進

当所、岡山市、おかやま観光コンベンション協会で構成する「岡山ビジットアソシエーション」では、新たな桃太郎伝説を創造し発信するとともに観光誘客を図る取り組みを実施している。吉備路エリアへの興味喚起、岡山市の認知度向上と観光誘客に繋げるため、昨年度に引き続き、国民的ゲーム「桃太郎電鉄」とタイアップした事業として、スマートフォンを使用した市内中心部を周遊する企画やラッピング路面電車の運行など実施した。

## 6. 広域交流と連携の推進

### ○信州長野・国宝松本城視察を実施

7月2日～4日、文化観光委員会メンバーら16名は松本市、長野市を視察した。当委員会では、歴史と文化を活かした観光振興に取り組む中で、宇喜多秀家公にまつわるゆかりの地の他、全国各地の観光先進地を訪れている。

令和4年は岡山城が「令和の大改修」を終えるため、築城時代が岡山城と近い国宝松本城を中心に信州長野視察を実施した。

松本市の諏訪大社、松本城と、長野市の松代城址、川中島古戦場、善光寺を訪れた。日本最古の神社の一つに数えられる諏訪大社では、7年毎、寅と申の年に「御柱祭」が行われており、境内には今年の祭りで使用された御柱が建てられ観光客の目を

引いていた。松本城は現存する城郭建築の中で、月見櫓をもつのは岡山城と松本城だけという共通点があった。善光寺は7年に1度の「御開帳」の年にあたり、コロナ禍ではあったが多くの参拝者で賑わっていた。



国宝松本城にて

### ○中四国南北軸交流懇談会 in 松江に参加

11月25日・26日、鳥取、島根、岡山、香川、徳島、高知の42商工会議所で組織する中四国南北軸交流懇談会は、島根県松江市において、松江商工会議所の主管により交流会を開催。6県から正副会頭や議員、専務理事等71名、当所からは松田会頭、安原副会頭ほか6名が参加した。

交流会では、堀川遊覧船で「ぐるっと松江堀川めぐり」、明々庵で知る「城下町松江の茶の湯文化」の視察があった後、島根県商工会議所連合会会頭の田部長右衛門氏より、「やってやれないことはない！いま地方が日本の為にすべきこと」と題した講演が行われた。2日目には、松江におけるたたら歴史として、田部家、鐵泉堂、鉄の村歴史博物館、たたら操業を見学した。

### ○(一社)アルベルゴ・ディフーズ・ジャパン (ADJ) を運営

古民家などの地域資源を活用したまちづくりを推進するため、外部団体主催のシンポジウム等で講演を行うほか、会員増強などに取り組んだ。また、今後の展開を見据え、当会の理念及び規定などの再構築に向けた検討を行った。

### 3 意見活動

要望日	件名	要望先	要望者
令和4年5月23日	「新型コロナウイルス感染症及び原油・原材料価格高騰の影響に関する支援強化」の要望	岡山県知事 伊原木隆太 氏	(一社)岡山県商工会議所連合会、他関係団体と合同
令和4年5月24日	「新型コロナウイルス感染症及び原油・原材料価格高騰の影響に関する支援強化」の要望	岡山市長 大森 雅夫 氏	岡山商工会議所、他関係団体と合同
令和4年8月9日	J R西日本のローカル路線の維持・存続に関する要望	岡山県知事 伊原木隆太 氏	(一社)岡山県商工会議所連合会、他関係団体と合同
令和4年8月24日	コロナ禍における資源・エネルギー価格高騰などへの影響に対する支援強化に関する要望	岡山市長 大森 雅夫 氏	岡山商工会議所、他関係団体と合同
令和4年10月31日	小規模事業者経営改善資金（マル経資金）への利子補給継続に関する要望	岡山市長 大森 雅夫 氏	岡山商工会議所、他関係団体と合同
令和4年11月15日	令和5年度岡山県予算編成に関する要望	自由民主党岡山県支部連合会 自由民主党岡山県議団	(一社)岡山県商工会議所連合会、他関係団体と合同
令和4年11月16日	令和5年度税制改正に関する重点要望	地元選出与党議員	岡山商工会議所
令和4年12月1日	新アリーナの公設民営に向けた提言	岡山市長 大森 雅夫 氏 他	岡山商工会議所、他関係団体と合同
令和4年12月9日	令和5年度税制改正（防衛費に係る財源問題）に関する要望	地元選出与党議員	岡山商工会議所
令和5年2月6日	「新型コロナウイルス感染症及びエネルギー価格・物価高騰の影響に関する支援強化」の要望	岡山市長 大森 雅夫 氏	岡山商工会議所、他関係団体と合同

※詳細は、【資料編】に掲載

### 4 調査研究

#### 1. 定期調査

##### ○岡山県の景気観測調査

地域情勢を的確に把握し、事業活動の基礎資料とすることを目的に(一社)岡山県商工会議所連合会で実施。県下12商工会議所管内の地場企業を対象に調査し、報告書に取りまとめた。また、景気観測調査で回答のあった企業の中から、特徴のある企業についてその内容や業界動向、トレンドについて補足ヒアリングを行った。

〈当所管内の調査結果〉

調査時期と回収状況（岡山商工会議所管内）

- ・ 令和4年4～6月期 117社／135社（回収率86.7%）
- ・ 令和4年7～9月期 117社／135社（回収率86.7%）

・令和4年10～12月期 123社／148社（回収率83.1％）

・令和5年1～3月期 134社／148社（回収率90.5％）

調査方法 対象事業所にアンケートをWEB・FAXで送付

調査項目 景況、生産額・売上額、受注額、原材料・商品仕入価格、製品・商品販売価格、製品在庫・商品在庫、資金繰り、採算（収益）、従業員（常用）、従業員（臨時）の10項目についての前年同期比実績、来期見通しの比較

## 2. その他調査・研究

### ○新入社員アンケート調査

当所では、令和4年3月28日・29日の両日にわたり「新入社員研修講座」を開催した。研修会終了後、今後の採用活動、従業員確保対策など企業経営の参考資料として提供するため本調査を実施した。

調査主体 岡山商工会議所

調査時期 令和4年3月（集計・取りまとめは4月）

調査方法 研修講座受講者77人にアンケート用紙を配布

回収状況 配布数74に対し、有効回答数70 回収率95％（男性39人・女性30人・無回答1人）

調査項目 就職先の基準・要素、社会人に必要とされる素質、初任給の使い方、理想の上司像など11項目

# 5 広 報

## 1. 刊行

### A. 定期刊行

#### ○岡山商工会議所会報

会員事業所への情報提供と会員企業からの情報発信を図るため毎月刊行した。新型コロナウイルス感染症に関する支援策や補助金に関する情報を「支援情報直送便」として重点的に発信するとともに、岡山の近代産業史を振り返る「岡山産業史アーカイブ」といった新コーナーも始めた。また、企業の創業・設立から現在、そして未来に向けた様々な戦略を紹介する「明日を拓く企業の戦略」では、当所会員事業所7社を取り上げた。会員企業の情報発信を手助けするために設けている「会員情報プラザ」のコーナーでは、新製品の開発・販売、新規出店など、50社の企業情報をカラー写真とともに無料で掲載し紹介した。

各号の主な内容は以下のとおり。

4月号 明日を拓く企業の戦略 第22回 (株)エイト日本技術開発

支援情報直送便

会員情報プラザ 4社

今月のイチオシ！ ふりかby浦志満本舗

5月号 岡山商工会議所令和4年度事業計画・収支予算決まる

支援情報直送便

調査から見える地域経済のすがた ロシアのウクライナ侵攻・経済制裁に関する調査

「フルーツパフェの街おかやま」2022年度参加店募集

おかやま経済セミナー講演録 「文化・芸術を守ることと美術館を利用すること」 大原 あかね 氏

会員情報プラザ 4社

2022年度新入社員アンケート 新社会人に聞く

今月のイチオシ！ sereno di primavera

6月号 明日を拓く企業の戦略 第23回 西尾総合印刷(株)

- 支援情報直送便  
 おかやまストリート点描 野殿橋通り  
 今月のイチオシ! 酒・旬処 クロちゃん  
 会員情報プラザ 4社  
 ビジネスサポートQ&A第33回 中小企業におけるパワハラ防止措置の義務化について
- 7月号 明日を拓く企業の戦略 第24回 ヒカリ産業(株)  
 支援情報直送便  
 岡山から始める海外展開 コロナ禍における越境ECの活用  
 こだわりの逸品「おかやま果実」2022年度新製品募集中  
 「ウェルビーイングな都市」を目指して—有識者が贈る言葉— 宮脇 靖典 氏  
 岡山商工会議所議員の選挙・選任のお知らせ  
 会員情報プラザ(合同プレス発表会参加企業特集) 5社  
 新商品・新サービスのPR活動のツボ 藤井 正徳 氏  
 今月のイチオシ! 五福工房
- 8月号 特別講演「人々が本当に集まる場所を」 原 研哉 氏、隈 研吾 氏  
 支援情報直送便  
 調査から見える地域経済のすがた カーボンニュートラルに向けた取り組み実態調査  
 会員情報プラザ 4社  
 「フルーツパフェの街おかやま」新メニュー紹介  
 2号議員選任のための部会開催のご案内  
 今月のイチオシ! PEARLY GATES 岡山店
- 9月号 明日を拓く企業の戦略 第25回 オカネツ工業(株)  
 支援情報直送便  
 おかやまストリート点描 宵待ち筋  
 今月のイチオシ! toto・deri  
 ストリートネーミング研究活動 by中国学園大学  
 そこが知りたい!メンタルヘルスケアQ&A 第1回 メンタルヘルスケアって必要?  
 会員情報プラザ 4社  
 おかやま経済セミナー講演録「日本の目指すべき新しい資本主義」 翁 百合 氏
- 10月号 明日を拓く企業の戦略 第26回 (株)岡山製紙  
 支援情報直送便  
 導入1年前!消費税インボイス制度への対応はお済みですか?  
 そこが知りたい!メンタルヘルスケアQ&A 第2回 メンタルヘルスケアの始めかた  
 おかやまパフェ巡り サウスヴィレッジSalon do thé RonRon  
 会員情報プラザ(合同プレス発表会参加企業特集) 5社  
 合同プレス発表会参加者の声 工藤 政宣 氏  
 無料DAY 歩こうでい MAP 掲載店舗募集中!  
 今月のイチオシ! きゃらうえいふらの
- 11月号 明日を拓く企業の戦略 第27回 オーエム産業(株)  
 支援情報直送便  
 おかやまストリート点描 ひとまち筋  
 今月のイチオシ! ポストンステーキ岡山駅前店  
 おかやまパフェ巡り 城下カフェ岡山タカシマヤ店  
 そこが知りたい!メンタルヘルスケアQ&A 第3回 休職と復職について

- 岡山から始める海外展開 今だからこそ考えたい海外展開  
 会員情報プラザ 4社  
 岡山商工会議所議員改選結果のお知らせ
- 12月号 松田会頭3期目がスタート 新役員・議員の顔ぶれ  
 支援情報直送便  
 「令和4年度おかやま活性化ビジネスプラン大賞」を実施  
 フランス・パリ北前船寄港地フォーラム、イギリス・ロンドンまちづくり視察  
 会員情報プラザ 4社  
 晴れの国おかやま検定表彰式  
 おかやま桃太郎まつり岡山城下山陽道物語協賛事業所ご紹介  
 今月のイチオシ! 菓子職人シェ・ミウラ
- 1月号 正副会頭新春座談会2023 新時代に躍動する岡山市を目指して  
 新年のごあいさつ  
 こだわりの逸品「おかやま果実」2022年度認定新商品  
 支援情報直送便  
 会員情報プラザ(合同プレス発表会参加企業特集) 4社  
 今月のイチオシ! 地鶏居酒屋川西
- 2月号 そうだったのか! おかやま産業史アーカイブVol.1 「岡山商工会議所、産声をあげる。」  
 明日を拓く企業の戦略 第28回 社会福祉法人ちとせ交友会  
 支援情報直送便  
 経営革新に取り組み新たな飛躍を!!  
 私のマル経活用法 ITプラン(株)  
 第19回岡山武蔵倶楽部大賞表彰式を開催  
 おかやまパフェ巡り Pe.Pe Ange  
 会員情報プラザ 4社  
 いま知って欲しい インボイス・最低賃金  
 調査から見える地域経済のすがた 円安が経営に与える影響についての実態調査  
 今月のイチオシ! RUSSET PLUS
- 3月号 そうだったのか! おかやま産業史アーカイブVol.2 「けえべん鉄道、ガタゴトはしる。」  
 新委員長に聞く  
 支援情報直送便  
 令和5年度中小企業向け税制改正のポイント  
 会員情報プラザ 4社  
 人材育成専門家インタビュー 新入社員の目線まで歩み寄りを 本田 祐美 氏  
 今月のイチオシ! Chels Green

○岡山商工会議所西大寺支所だよりの発行

西大寺支所管内のイベントの紹介を中心に、年3回発行。山陽新聞朝刊へ折込み、各号20,000戸へ配布した。

各号の内容は以下のとおり。

- 第45号 令和4年4月10日発行  
 西大寺会陽  
 一般社団法人西大寺活性化協議会会員募集  
 インボイス制度説明会案内



専門相談会案内

新型コロナウイルス感染症に伴う小規模事業者経営改善資金案内

事業復活支援金案内

第46号 令和4年7月1日発行

高校生とつくるこちらラジオ西大寺

西大寺活性化協議会からのお知らせ

一般社団法人西大寺青年会議所両替プロジェクト

税務・経営・補助金申請等に関する専門相談会案内

第47号 令和4年10月1日発行

夏まつり西大寺2022協賛寄付者一覧

健康診断実施案内

西大寺五福通りレトロマルシェ開催案内

## 2. Web広報

○ホームページ及びメールマガジン、SNS、YouTubeでの情報発信

当所で行っている事業やイベント、各種支援メニューの情報を、ホームページやメールマガジン、フェイスブック、Twitter、YouTubeを通じて各担当者がタイムリーに発信した。

## 3. 会頭記者会見

令和4年度第1回会頭記者会見

令和4年4月27日

会 場 岡山商工会議所本所

内 容 岡山県の景気観測調査の結果について（令和4年1月～3月期）

ロシアのウクライナ侵攻・経済制裁に関する調査結果について

令和4年度第2回会頭記者会見

令和4年7月28日

会 場 岡山商工会議所本所

内 容 岡山県の景気観測調査の結果について（令和4年4月～6月期）

令和4年度第3回会頭記者会見

令和4年10月27日

会 場 岡山商工会議所本所

内 容 岡山県の景気観測調査の結果について（令和4年7月～9月期）

令和4年度第4回会頭記者会見

令和5年1月27日

会 場 岡山商工会議所本所

内 容 岡山県の景気観測調査の結果について（令和4年10月～12月期）

## 6 証明・鑑定

- a. 貿易関係証明 1,113件
- 原産地証明 769件 (次ページに統計表掲載)
  - インボイス証明 0件
  - サイン証明 341件
  - 法人証明 2件
  - 営業証明 1件
  - 会員証明 0件
  - 令和5年3月31日現在 貿易登録申請業者 107社
  - 令和5年3月31日現在 代行業者 2社

- b. 国内取引関係証明 0件

- c. 特定原産地証明書 1,392件

国・地域	件数	国・地域	件数
RCEP	378	フィリピン	1
アセアン	131	ブルネイ	0
インド	369	ベトナム	95
インドネシア	108	ペルー	0
オーストラリア	20	マレーシア	7
スイス	5	メキシコ	7
タイ	271	モンゴル	0
チリ	0	合計	1,392



## 7 各種行事

### 1. 講演会

#### ○経済講演会

開催日 令和4年7月25日  
内 容 日本の目指すべき新しい資本主義  
講 師 (株)日本総合研究所 理事長 翁 百合氏  
参加人数 57名

#### ○2023年新春経済講演会

開催日 令和5年1月25日  
内 容 新年の経済を展望する  
講 師 東短リサーチ(株) 代表取締役社長 チーフエコノミスト 加藤 出氏  
参加人数 149名

### 2. 講習会（講座・セミナー）

#### ○SDGs入門セミナー 「企業競争力アップにつながるSDGsの始め方」

開催日 令和4年4月25日  
内 容 SDGsに取り組む意義、事例（ハイブリッド）  
講 師 東京海上日動火災保険(株) 公務開発部部长兼営業企画部地方創生健康経営室参与 中塚 啓二郎氏  
参加人数 15名

#### ○4大ハラスメント対策セミナー

開催日 令和4年5月19日  
内 容 4大ハラスメントについて理解を深め、具体的な対策方法などについて解説（ハイブリッド）  
講 師 東京海上日動火災保険(株) 本店広域法人部シニアマイスター 横山 昌彦氏  
参加人数 131名

#### ○商品ブラッシュアップセミナー

開催日 令和4年10月26日  
内 容 販路開拓を進めていくために必要な商品改良のポイントについて元バイヤーが詳しく解説  
講 師 (株)Y'sマネジメントサポート 横山 輝昭氏  
Dan.style 旦 知子氏  
中小企業診断士 難波 三郎氏  
中小企業診断士 山崎 順子氏  
コンサルタント 仲矢 由美氏  
参加人数 第一部 21名  
第二部 11名

#### ○インボイス制度講習会

開催日 令和4年10月28日  
内 容 インボイス方式の概要から実務上対応のポイントまでを解説  
講 師 かわい公認会計士・税理士事務所 所長 川井 隆史氏  
参加人数 55名

○経営革新セミナー ～予測不能の未来を「新規事業」で切り開く～

開催日 令和4年11月10日

内容 「原材料価格の高騰」や「大幅な円安」等急速な環境変化に対応するため、自社の強みと市場の機会を活かした新たな取組の進め方を学ぶ（オンライン）

講師 (株)アルマ経営研究所 中小企業診断士 長 船 洋 人 氏

参加人数 32名

○経理業務から変えていくDXセミナー

開催日 令和4年11月16日

内容 中小企業がすぐに取り組める「経理業務デジタル（DX）入門」を解説

講師 加藤博巳税理士事務所 代表税理士 加 藤 博 巳 氏

参加人数 13名

○新型コロナに対する政府支援策の概要と非対面型で効果的に販路を開拓するための、SNS・動画活用セミナー

開催日 令和4年11月22日

内容 最新の様々なソーシャルメディアや動画の特徴とその違いを解説しながら、集客や顧客獲得に役立つITツールの活用ノウハウを伝授

講師 イーンスパイア(株) 代表取締役 横 田 秀 琳 氏

参加人数 36名

○サイバーセキュリティ対策セミナー

開催日 令和4年11月29日

内容 サイバー攻撃の実態や想定される被害と、中小企業が事前に講じておくべきサイバー攻撃対策のポイント等を解説（ハイブリッド）

講師 MS&ADインターリスク総研(株)

リスクマネジメント第三部サイバーリスクグループ 上席コンサルタント 五十嵐 大 氏

参加人数 30名

○インボイス制度と2023年10月に備えた経営力強化

開催日 令和4年11月30日

内容 インボイス制度の概要のほか、インボイス制度の導入による環境変化に対応する経営力の強化ポイントについて解説

講師 ネクストマーケティング(株) 代表取締役 水 下 智 則 氏

参加人数 50名

○電子帳簿保存法対策講習会

開催日 令和4年12月2日

内容 電子帳簿保存法に関する改正及び、「電子帳簿等保存」「スキャナー保存」「電子取引の電子保存」等のポイントについて説明

講師 蒼馬税理士法人 代表社員 池 頭 邦 之 氏

参加人数 62名

### ○採用担当者向けセミナー

開催日 令和4年12月6日

内容 就職氷河期世代の特徴や受け入れ態勢の整備、関連助成金などについて説明

講師 Color Your Life 代表 橘 玲子氏

中小企業診断士・社会保険労務士 山元正揮氏

参加人数 8名

### ○海外展開支援セミナー

開催日 令和4年12月13日

内容 「越境ECを取り巻く市場動向」や「ECならではの注意点」「地域ごとの特性」「効果的な活用」等について学ぶ（オンライン）

講師 (株)ELN 代表取締役 木下寛子氏

参加人数 46名

### ○オンラインから集客が増える集客入門

開催日 令和4年12月15日

内容 様々な実店舗が集客を増やすためのITツール運用ノウハウとポイントについて

講師 ナレッジフォース・パートナーズ合同会社 代表社員 藤原敬行氏

参加人数 34名

### ○DX活用セミナー

開催日 令和4年12月20日

内容 Googleアプリの活用で生産性向上を実現する手法について学ぶ（オンライン）

講師 イーディーエル(株) 島袋海氏

参加人数 12名

### ○インボイス制度の概要と電子帳簿保存法対策

開催日 令和4年12月21日

内容 インボイス方式の概要から実務上対応のポイントまでを解説

講師 中島典子税理士事務所 代表 中島典子氏

参加人数 46名

### ○デジタル化時代に対応する上手な写真の撮り方活かし方

開催日 令和5年1月12日

内容 インターネット上にアップする写真に求められる要素や、ホームページやネットショップから売上向上に繋げるための写真のコツ等を解説

講師 パソコン教室イエロー・ムーン 主宰 馬橋明里氏

参加人数 53名

### ○NHKアナウンサーから学ぶ「伝える力」を磨く講座

開催日 令和5年2月22日

内容 報告スキルなど仕事で役立つビジネスコミュニケーションを学ぶ

講師 NHK岡山放送局 アナウンサー 永松隆太郎氏

参加人数 18名

### ○電子帳簿保存法・インボイス制度への対応とセキュリティ対策セミナー

開催日 令和5年2月22日

内容 インボイス制度の概要、会計ソフト等デジタル活用例、セキュリティ対策とリスクへの備えについて解説

講師 損害保険ジャパン(株)岡山支店、ネットリンクス(株)

参加人数 4名

### ○新入社員研修講座

開催日 令和5年3月28日～29日

内容 社会人としての心構えや仕事の進め方、ビジネスマナーの修得を目指す

講師 コンサルタントネットワーク(株) 取締役副社長 本田 祐美氏

同 シニア教育コンサルタント 安村 睦子氏

参加人数 35名

## 3. 説明会

### ○消費税等説明会

開催日 令和4年11月15日～17日

内容 新規課税事業者に対する消費税のあらまし、インボイス制度について

講師 国税局職員、税務署職員、経済産業局職員

参加人数 167名

### ○令和4年分青色申告決算・申告無料相談会

開催日 令和5年2月6日～3月13日の延べ11日間

内容 個人事業者の決算、所得税・消費税申告相談

相談員 税理士

参加人数 63名

## 4. パソコン教室

入学者 187人

## 5. 健康管理サービス

### <本所>

実施日 令和4年7月4日

会場 岡山商工会議所本所

内容 生活習慣病健診

受診者数 119名

### <支所>

実施日 令和4年11月4日

会場 百花プラザ

内容 健康診断

受診者数 47名

## 8 技術技能の普及検定

### 1. 検定

○参集型統一試験

<簿記検定>

回次	実施期日	級別	申込者数	実受験者数	合格者数
161	R 4.6.12	1	50	38	1
		2	145	118	23
		3	299	249	134
162	R 4.11.20	1	60	53	7
		2	147	119	24
		3	318	273	89
163	R 5.2.12	2	175	159	33
		3	478	443	137

<珠算検定>

回次	実施期日	人数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	計
225	R 4.6.26	申込者数	33	47	70	17	9	17	8	0	201
		実受験者数	33	45	70	16	9	16	8	0	197
		合格者数	13	23	36	8	7	11	8	0	106
226	R 4.10.23	申込者数	26	35	57	12	5	11	2	2	150
		実受験者数	26	35	54	12	4	11	2	2	146
		合格者数	8	13	26	7	2	10	2	2	70
227	R 5.2.12	申込者数	33	49	74	5	13	16	3	2	195
		実受験者数	33	48	72	3	13	14	3	2	188
		合格者数	9	20	34	0	9	13	3	2	90

<暗算検定>

回次	実施期日	人数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
145	R 4.6.26	申込者数	9	15	28	12	7	8	79
		実受験者数	9	14	27	12	7	7	76
		合格者数	3	8	22	10	6	7	56
146	R 4.10.23	申込者数	9	6	26	10	3	5	59
		実受験者数	9	6	25	10	3	5	58
		合格者数	3	4	19	8	3	5	42
147	R 5.2.12	申込者数	11	13	22	14	7	10	77
		実受験者数	11	13	22	13	7	9	75
		合格者数	4	10	17	11	6	8	56



<段位認定>

回次	実施期日	申込者数	実受験者数	昇段種目	準初段	初段	準二段	二段	準三段	三段	四段	計
135	R 4.6.26	41	40	珠算	1	4	1	2	1	1	0	10
				暗算	2	2	0	0	0	0	1	5
136	R 4.10.23	34	34	珠算	1	1	2	2	1	0	0	7
				暗算	2	0	1	3	1	2	0	9
137	R 5.2.12	38	36	珠算	1	0	0	2	1	0	1	5
				暗算	0	1	3	2	0	1	0	7

<ビジネス会計検定>

回次	実施期日	級別	申込者数	実受験者数	合格者数
31	R 4.10.16	2	25	20	13
		3	69	59	38
32	R 5.3.12	1	2	2	0
		2	24	20	13
		3	67	53	26

<晴れの国おかやま検定>

回次	実施期日	級別	申込者数	実受験者数	合格者数
9	R 5.2.5	達人90点以上	778	688	36
		博士60~89点			425

○ネット試験

<日本商工会議所検定>

検定名		級別・種類	申込者数	実受験者数	合格者数	
日商簿記		2級	1,016	—	333	
		3級	1,569	—	648	
		簿記初級	25	22	12	
		原価計算初級	21	17	5	
電子会計実務		1級	0	0	0	
		2級	0	0	0	
		3級	0	0	0	
リテールマーケティング (販売士)		1級	14	14	2	
		2級	68	68	32	
		3級	96	96	46	
日商プログラミング		C言語	0	0	0	
		VBA	0	0	0	
		Java	0	0	0	
		Python	0	0	0	
		STANDARD	C言語	0	0	0
			VBA	1	1	0
			Java	0	0	0
			Python	3	1	0
		BASIC	—	1	1	0
		ENTRY	—	0	0	0

検 定 名		級別・種類	申込者数	実受験者数	合格者数
日商PC	文書作成	1級	0	0	0
		2級	4	4	2
		3級	34	31	18
		ベーシック	4	4	4
	データ活用	1級	0	0	0
		2級	8	8	6
		3級	26	23	20
		ベーシック	5	5	2
	プレゼン資料作成	1級	0	0	0
		2級	0	0	0
		3級	9	9	8
	キータッチ2000テスト		—	2	2
ビジネスキーボード		—	0	0	0
日商ビジネス英語		1級	0	0	0
		2級	1	1	0
		3級	0	0	0

<東京商工会議所検定>

検 定 名	回次	実施期間	級 別	申込者数	実受験者数	合格者数
カラー コーディネーター	52	R4.7.1～7.19	アドバンス	10	10	6
			スタンダード	15	15	10
	53	R4.10.21～11.7	アドバンス	10	10	6
			スタンダード	17	17	15
ビジネス実務法務	51	R4.7.1～7.19	2級	19	19	11
			3級	17	17	11
	52	R4.12.4	1級	3	3	1
		R4.10.21～11.7	2級	21	21	3
			3級	30	30	20
福祉住環境 コーディネーター	48	R4.7.22～8.8	2級	38	38	17
			3級	7	7	2
	49	R4.12.4	1級	3	3	0
		R4.11.11～11.28	2級	65	65	17
			3級	96	96	16
e c o (環境社会)	32	R4.7.22～8.8	—	106	106	60
	33	R4.11.11～11.28	—	107	107	55
ビジネスマネジャー	15	R4.7.1～7.19	—	42	42	12
	16	R4.10.21～11.7	—	24	24	9
BATIC (国際会計)	43	R4.7.22～8.8	—	2	2	0
	44	R4.11.11～11.28	—	1	1	0

## 9 業者照会

国内取引

取引件数 9件

国外取引

取引件数 0件

## 10 経営改善普及事業

### 1. 一般指導事業

#### a. 巡回・窓口相談事業

		対象 企業数	経営 革新	経営 一般	情報化	金融	税務	労働	取引	環境 対策	事業 承継	BCP	その他	計
巡回 指導	製造業	86	5	227	0	5	8	3	1	0	14	0	21	284
	建設業	114	19	241	0	23	6	0	0	0	2	0	19	310
	小売業	208	21	527	1	15	5	3	1	0	11	0	19	603
	卸売業	33	6	69	0	2	1	0	1	0	3	0	7	89
	サービス業	272	27	754	2	29	5	10	0	0	18	0	64	909
	その他	31	1	89	0	3	2	1	0	0	1	0	7	104
	計	744	79	1,907	3	77	27	17	3	0	49	0	137	2,299
窓口 指導	製造業	166	6	388	1	22	12	23	2	0	17	0	62	533
	建設業	456	19	420	5	131	46	8	4	0	6	0	293	932
	小売業	543	16	836	0	194	38	66	1	0	26	0	172	1,349
	卸売業	98	10	162	1	27	8	19	0	0	9	1	35	272
	サービス業	1,103	27	1,943	6	208	85	141	1	0	34	0	439	2,884
	その他	91	4	126	2	22	6	6	0	0	1	0	62	229
	計	2,457	82	3,875	15	604	195	263	8	0	93	1	1,063	6,199
合計		3,201	161	5,782	18	681	222	280	11	0	142	1	1,200	8,498
創業 指導	巡回指導	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	窓口指導	50	27	24	0	12	0	0	0	0	0	0	0	63
	計	51	28	24	0	12	0	0	0	0	0	0	0	64
総合計		3,252	189	5,806	18	693	222	280	11	0	142	1	1,200	8,562

b. 講習会等の開催による指導

		経営革新	経営一般	情報化	金融	税務	労働	取引	環境対策	事業承継	BCP	その他	計
集団指導	回数	0	0	0	26	17	0	0	0	0	0	0	43
	人数	0	0	0	200	230	0	0	0	0	0	0	430
個別指導	回数	15	4	0	0	32	0	0	0	0	0	22	73
	人数	15	4	0	0	46	0	0	0	0	0	22	87

c. 金融斡旋

		斡旋件数 (件)	貸付件数 (件)	斡旋金額 (万円)	貸付金額 (万円)
マ	ル 経 資 金	84	83	54,249	53,949
日 本 政 策 金 融 公 庫	一 般 貸 付 等	38	22	43,885	20,415
	新 創 業 融 資	12	7	6,272	3,060
岡 山 県 信 用 保 証 協 会		0	—	0	—
会 員 向 け 特 別 融 資		0	—	0	—
合	計	134	112	104,406	77,424

d. 記帳継続指導

記帳指導回数	298回
記帳対象事業所	58事業所
記帳専任職員	1名
記帳指導員	5名

## 2. 専門指導事業

巡回・窓口相談事業

	巡回指導							窓口指導							創業指導			総合計
	製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他	計	製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他	計	巡回	窓口	計	
対象企業数	3	0	7	1	10	0	21	32	30	108	22	212	9	413	1	22	23	457
指導回数	12	0	13	1	12	0	38	116	46	288	33	464	10	957	1	52	53	1,048

## 11 経営安定特別相談事業

取扱件数	100件	
処理内容	倒産回避	99件
	整理	1件
	調停不能	0件
	継続中	0件

### 1. 「融資・経営安定」特別相談会

開催日	本所 令和4年4月～令和5年3月 毎月第1・3水曜日
内容	融資・経営安定に関する特別相談
相談員	日本政策金融公庫、岡山県信用保証協会、岡山市ほか担当者
参加人数	延べ200名

### 2. 特別相談事業

相談件数	30件
第1四半期	7件
第2四半期	8件
第3四半期	8件
第4四半期	7件

### 3. 経営安定支援事業

専門家派遣	70件
-------	-----

### 4. 経営安定セミナー

#### ○職場におけるハラスメント対応の実務

開催日	令和4年7月20日
講師	弁護士 堤 大地 氏
参加人数	14名

#### ○これから始めるネットショップ

開催日	令和4年11月11日
講師	難波三郎中小企業診断士事務所 代表 難波三郎 氏 (株)オリーブデザイン 代表取締役 岡崎理枝子 氏
参加人数	26名

#### ○事業承継&廃業セミナー

開催日	令和4年11月15日
講師	事業承継デザイナー 奥村 聡 氏
参加人数	60名

#### ○YouTubeで学ぶ中小企業税制（当所YouTubeチャンネルにて動画で公開）

公開日	令和5年1月23日～
講師	税理士法人リアライズ 税理士 藤原由卓 氏

視聴者数 343名（令和5年3月23日現在）

## 5. 特別相談窓口

<継続している特別相談窓口>

○東日本大震災に関する特別相談窓口	平成23年3月11日設置
○貸金水準上昇対策相談窓口	平成27年7月28日設置
○新型コロナウイルスに関する経営相談窓口	令和2年1月29日設置
○ウクライナ情勢・原油価格上昇等に関する特別相談窓口	令和4年2月25日設置
○日野自動車サプライチェーン関連中小企業支援対策特別相談窓口	令和4年4月13日設置

## 12 伴走型小規模事業者支援推進事業

### ○専門家派遣事業

相談件数 68件

内 訳 販路拡大45件、経営革新3件、ものづくり5件、IT化2件、その他経営課題3件、フォローアップ10件

## 13 共済事業

①小規模企業共済	加入者数	986人
②生命共済制度	加入状況	586事業所 (2,354人)
	加入口数	6,378口
③特定退職金共済制度	加入状況	554事業所 (3,622人)
	加入口数	24,152口
④大型・医療共済制度	加入者数	大型保障プラン701 11人
⑤個人年金プラン	加入者数	13人
⑥がん保険	加入者数	21人
⑦がん治療保険	加入者数	143人
⑧終身保障プラン	加入者数	30人
⑨総合	加入者数	418人
⑩低払型定期保険	加入者数	72人
⑪経営者年金共済	加入者数	2人
⑫業務災害補償プラン	加入状況	958事業所
⑬休業補償プラン	加入者数	202人
⑭情報漏えい損害賠償保険	加入状況	42事業所
⑮ビジネス総合保険	加入状況	654事業所
⑯海外危機対策プラン	加入状況	2事業所
⑰経営セーフティ共済	加入状況	253事業所

○生命共済還元事業 記念品を279社に送付

## 14 労働保険事務組合事業

受託事業所数	222件（本所156件、支所66件）
新規受託	2件（本所2件、支所0件）
受託解除	7件（本所3件、支所4件）
各種届出	・雇用保険被保険者資格取得届 223件（本所142件、支所81件） ・雇用保険被保険者資格喪失届 202件（本所138件、支所64件） ・その他 51件（本所27件、支所24件）

## 15 受託事業

### 1. 汚染負荷量賦課金の徴収業務

委託団体 (独)環境再生保全機構

事業内容 汚染負荷量賦課金徴収業務のうち、97社の申告書等の受理及び点検、提出協力の要請を行った。

### 2. 容器包装リサイクルの委託業務

委託団体 (公財)日本容器包装リサイクル協会

事業内容 特定事業者から再商品化委託申込の受付及びこれに伴う関連業務を行った。

### 3. 岡山県職域等に対する自殺予防支援事業

委託団体 岡山県保健福祉部

事業内容 会報「glocal」を通じたメンタルヘルスに関する情報発信 3回  
記事監修 社会保険労務士 片山 優氏

### 4. 制度改正等の課題解決環境整備事業に関する委託業務

委託団体 日本商工会議所

事業内容 各種制度改正や法改正への対応、新型コロナウイルス感染症に対する政府支援施策の活用等に関して、事業者等の相談に応ずるため、専門家の派遣及び個別相談、講習会等を実施し、諸制度改正に伴い対応が必要となる小規模事業者・中小企業者等の事業活動を支援した。

### 5. 岡山市就職氷河期世代対象の合同企業説明会への参加企業募集等業務委託

委託団体 岡山市

事業内容 合同企業説明会参加企業の募集

参加企業数：令和4年11月24日 34社

令和5年2月10日 36社

令和5年2月11日 27社

採用担当者向けセミナーの開催

開催日 令和4年12月6日

参加人数 8名

### 6. 環境変化対応型支援事業

委託団体 日本商工会議所

事業内容 新型コロナウイルス感染症等の影響や最低賃金値上げ、デジタル化、インボイス制度導入等の対応といっ

た事業環境変化による影響を受ける中小・小規模事業者を支援するため、経営相談体制強化や各種申請サポート対応を行ったほか、小冊子作製やセミナー開催等を行った。

## 16 補助金申請・採択状況

令和元年度補正予算・令和3年度補正予算 小規模事業者持続化補助金<一般型>

8次締め 申請：45件 採択：31件

9次締め 申請：84件 採択：44件

10次締め 申請：69件 採択：37件

11次締め 申請：101件 採択：45件

令和2年度第3次補正予算 事業再構築補助金

6次締め 申請：10件 採択：3件

7次締め 申請：9件 採択：5件

8次締め 申請：8件 採択：3件

9次締め 申請：3件

令和4年度 岡山市創業者支援事業補助金

申請：29件 採択：10件



---

# VIII 登 録

---

## 1 法定台帳

令和4年度特定商工業者について法定台帳を作成し、取引紹介、信用調査等商工関係諸調査、統計資料として運用した。

令和4年度における法定台帳整備件数 7,023件

# Ⅸ 会館・事務所等

## 1 岡山商工会議所ビルディング概要

(本所)

名 称	岡山商工会議所ビルディング
所 在 地	岡山市北区厚生町3丁目1番15号
敷地面積	3,241.98㎡ (980.69坪)
建築面積	1,090.44㎡ (329.85坪)
延床面積	9,845.00㎡ (2,978.11坪)
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階 数	地下1階、地上8階、塔屋3階
主要設備	エレベータ：客用 (17人乗) 2基 人荷用 (10人乗) 1基 冷暖房：全室 個別空調方式
外 装	エポキシボンタイル仕上げ

(支所)

名 称	岡山商工会議所西大寺支所
所 在 地	岡山市東区西大寺中3丁目6番15号
敷地面積	254.52㎡ (76.99坪)
建築面積	187.25㎡ (56.64坪)
延床面積	579.32㎡ (175.24坪)
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階 数	地上3階、塔屋1階
主要設備	冷暖房：全室 個別空調方式
外 装	タイル仕上げ

## 2 各階床面積

(本所)

階 数	床 面 積	貸 室	会 議 室	備 考
地 下 1	1,116.84㎡	360.90㎡	㎡	レストラン・機械室
1	1,010.76		271.25	会議所中小企業支援部、会議室
2	1,035.30	719.98		貸室
3	1,035.30			会議所役員室、事務局
4	1,035.30		701.50	大・中・小会議室
5	1,035.30	640.14		記者クラブ、各経済団体、貸室
6	1,035.30	719.98		貸室
7	1,035.30	719.98		貸室
8	1,035.30	719.98		貸室
塔 屋 1	206.50			倉庫
2	206.50			機械室
3	57.30			機械室
合 計	9,845.00	3,880.96	972.75	

(支所)

階 数	床 面 積	貸 室	会 議 室	備 考
1	187.25㎡	㎡	㎡	
2	194.03	11.47		役員室・支所事務局
3	185.22	11.61	104.56	貸室・貸会議室
塔 屋	12.82			
合 計	579.32	23.08	104.56	

### 3 岡山商工会議所ビル入居者

(本所)

<地下1階>

ランチ&喫茶プロペラス

<2階>

株式会社アイムファイン、岡山県経営者協会、公益財団法人岡山県暴力追放運動推進センター、岡山東青色申告会、一般社団法人岡山ビルメンテナンス協会、全国ビジネス企業年金基金

<5階>

株式会社あどりえ、ぼう、岡山経済金融記者クラブ、一般社団法人岡山経済同友会、一般社団法人岡山県LPガス協会、一般社団法人岡山県中小企業診断士会、島本総合司法書士法人岡山事務所、ハウスプラス中国住宅保証株式会社、藤井歯科診療所

<6階>

公益社団法人おかやま観光コンベンション協会、一般財団法人岡山県サッカー協会、岡山県仲人協会、公益社団法人岡山青年会議所、木村・上田司法書士事務所、トライフーズ岡山事務局、株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ、株式会社プロセス、ライオンズクラブ国際協会336複合地区ガバナー協議会事務局

<7階>

アクサ生命保険株式会社岡山支社、アクサ生命保険株式会社岡山パートナービジネス営業部、NPO法人岡山県婚活支援センター、株式会社JTC、企業組合日本ユビックコマース、ライオンズクラブ国際協会336-B地区キャビネット事務局

<8階>

経営コンサルタント事業協同組合岡山本部、岡山県自動車販売健康保険組合、岡山シーガルズ事務局、岡山働き方改革推進支援センター、株式会社学研エデュケーショナル岡山事務局、キッセイ薬品工業株式会社広島支店岡山営業所、独立行政法人日本貿易振興機構岡山貿易情報センター、フクビ化学工業株式会社岡山営業所、株式会社リスコ

(支所)

<3階>

一般社団法人西大寺青年会議所

### 4 附帯駐車場の概要

(本所)

所在地 岡山市北区厚生町3丁目1番8  
敷地面積 3,767.83㎡  
駐車台数 140台  
形態 平面駐車場  
管理方式 24時間機械式ゲート方式(無人対応)  
営業時間 終日(年中無休)

(支所)

所在地 岡山市東区西大寺中3丁目3番14  
敷地面積 339.57㎡  
駐車台数 14台  
形態 平面駐車場

# X 関係団体への加入及び連繋

## 1 日本商工会議所

当所は日本商工会議所の議員であり、会頭は常議員に選任されている。

また、以下の委員を委嘱されており、会頭、専務理事が出席し審議に当たっている。

<第32期> 令和4年11月17日～令和7年10月31日

総合政策委員会・産業経済委員会・国際経済委員会・中小企業委員会・教育委員会の委員

○総会、常議員会、委員会等への出席

会員総会	3回
議員総会	6回
常議員会	9回
委員会	8回

## 2 中国地方商工会議所連合会

当所は中国地方商工会議所連合会の会員であり、会頭は副会長に就任している。

○総会、幹事会 各1回

## 3 (一社)岡山県商工会議所連合会

当所は(一社)岡山県商工会議所連合会の会員であり、会頭は会長に就任している。

総会	1回
臨時総会	1回
会頭・副会頭会議	2回
岡山県経済戦略会議	1回
岡山県経済6団体と岡山県経済活性化議員連盟との経済懇談会	1回
運営委員会	9回
金融担当者会議	1回
総務・経理担当者会議	1回
商工会議所支援体制強化検討会議	4回
新型コロナウイルス感染症対策会議	4回
広域経営支援センター会議	4回

## 4 出資先 (令和5年3月31日現在)

アクサジャパンホールディング(株)	おかやま信用金庫
(株)オービス	岡山ネットワーク(株)
岡山空港ターミナル(株)	(株)T & Dホールディングス
(株)岡山コンベンションセンター	(株)TRYHOOP岡山
岡山シーガルズ(株)	(株)ファジアーノ岡山スポーツクラブ
(株)岡山シティエフエム	

# XI 外郭団体等

## 1. 外郭団体

当所が事業推進のために中心となって組織し、事務局内で事務を取り扱っている団体

岡山経済調査協議会  
岡山芸道保存の会  
岡山県警察友の会  
岡山県日韓親善協会  
岡山珠算振興会  
日本珠算連盟岡山県連合会  
岡山総友会  
岡山経友会  
岡山・ミャンマー友好推進会議  
岡山武蔵倶楽部  
表町商店街活性化プロジェクト推進協議会  
日本商工連盟岡山地区  
(一社)アルベルゴ・ディフーズ・ジャパン  
(一社)西大寺活性化協議会  
岡山市民の日実行委員会

## 2. 事業関係団体及び組織

上記以外で当所が委託を受けて事務を執行し、当所事業活動に関係ある団体及び組織

旭川かわまちづくり計画検討・推進会議  
岡山シーガルの活躍に向けた民間活力推進協議会  
新アリーナ整備検討チーム  
おかやま桃太郎まつり烏城夏まつり実行委員会  
おかやま桃太郎まつり納涼花火大会実行委員会  
西大寺青色申告会  
西大寺青色申告会連合会  
西大寺会陽奉賛会  
西大寺間税会  
西大寺小売酒販組合  
西大寺五福通りレトロ・マルシェ実行委員会  
西大寺酒販協同組合  
西大寺商店会連合会  
(一社)西大寺青年会議所  
西大寺地区雇用開発協会  
(公社)西大寺法人会  
さわやか東備会西大寺地区

夏まつり西大寺実行委員会  
「6月1日岡山市民の日」推進協議会

# 【資料編】

令和4年度に行った意見活動

件名 「新型コロナウイルス感染症及び原油・原材料価格高騰の影響に関する支援強化」の要望  
要望先 岡山県知事 伊原木 隆太 氏  
要望日 令和4年5月23日  
要望者 (一社)岡山県商工会議所連合会、他関係団体と合同

岡山県知事 伊原木 隆太 様

長期化する新型コロナウイルス感染症に加えて、ウクライナ情勢と円安に起因した原油・原材料価格の高騰は、我が国の経済社会に大きな影響を及ぼし、多くの事業者は、コロナ禍での事業活動が進まない中、厳しい状況が続いております。

こうした中、岡山県におかれましては、昨年度、「岡山県飲食店等一時支援金」「岡山県企業収益力向上支援事業補助金」等の事業者支援、また、支援機関に対しても、「岡山県支援機関特別相談員設置費補助金」等の措置を講じていただき、深く感謝を申し上げます。

支援機関の岡山県商工会議所連合会・岡山県中小企業団体中央会・岡山県商工会連合会では、引き続き、融資・支援金・補助金・雇用調整助成金等の申請サポートと経営相談等により、事業者への支援の強化に努めてまいりたいと存じます。

しかしながら、度重なる感染拡大に続いて年初からの過去最大規模の第6波感染拡大での自粛による飲食業・観光業等への事業活動の影響は大きく、また、この度の原油・原材料価格の高騰では、特に、運輸旅客業・製造業・建設業等の多くの事業者においてコスト負担の増加による経営の圧迫等の課題を抱えており、大変厳しい状況にあります。

つきましては、「新型コロナウイルスの感染症及び原油・原材料価格高騰の影響に関する支援強化」として、(1)経済を回復するための「岡山県独自の消費喚起事業」の拡充、(2)資金繰り支援「融資利率を下げた特別融資制度」の創設、(3)原油・原材料価格高騰の影響が大きい業種の事業者への助成措置、(4)省エネ等の新たな取組に対応する「事業者への



設備等導入補助制度」の創設、(5)経営改善・新事業等の相談に対応する「専門家相談等の拡充」措置の実施について要望いたしますので、県内経済の早期回復を図るために、一層の事業者支援措置を講じていただきますようお願い申し上げます。

令和4年5月23日

岡山県商工会議所連合会  
会長 松田 久

岡山県中小企業団体中央会  
会長 晝田 眞三

岡山県商工会連合会  
会長 田村 正敏

## 「新型コロナウイルスの感染症及び原油・原材料価格高騰の影響に関する支援強化」の要望

### 1. 経済を回復するための「岡山県独自の消費喚起事業」の拡充

◇長引く新型コロナウイルス感染症での消費低迷に加えてウクライナ情勢と円安による原油・原材料価格高騰で影響を受けている岡山県の経済と事業者の事業活動を回復するための消費喚起対策を講じていただきたい。

### 2. 資金繰り支援「融資利率を下げた特別融資制度」の創設

◇長引くコロナ禍の影響により厳しい経営環境が続く中、多くの事業者は借入金にて事業の継続を行っている。しかしながら、事業者は、この度のコスト負担増の収益圧迫により追加資金を必要としているが、追加資金調達に難しい状況にあるため、事業者が行う資金調達において負担軽減を図る「融資利率を下げた特別融資制度」を創設していただきたい。

### 3. 原油・原材料価格高騰の影響が大きい業種の事業者への助成措置

◇ウクライナ情勢と円安による原油・原材料価格高騰で、様々な業種の多くの事業者が大きな影響を受けている。特に、車両燃料高騰の運輸旅客業、食品原材料高騰・半導体不足の製造業、資材高騰の建設業等ではコスト増の負担が大きいため、「原油・原材料価格高騰の影響が大きく経営が厳しい状況にある業種の事業者への助成措置」を講じていただきたい。

### 4. 省エネ等の新たな取組に対応する「事業者への設備等導入補助制度」の創設

◇ウクライナ・円安の情勢如何により原油・原材料価格高騰は長期化する懸念があり、今後、事業者の省エネ等の取組を加速させる必要があることから、省エネ等の新たな取組に対応する「事業者への設備等導入補助制度」の創設を講じていただきたい。

### 5. 経営改善・新事業等の相談に対応する「専門家相談等の拡充」措置

◇長引くコロナ禍に加えて原油・原材料価格の高騰は、多くの事業者の経営をより圧迫しており、事業者は、売上等事業の回復に向けて「経営改善」や「新たな事業」等への取組が必要とされているため、事業者が取り組む「経営改善・価格転嫁・デジタル化・新事業展開・製品開発・マーケティング戦略等の相談に対応する専門家相談等の拡充」措置を講じていただきたい。

件名 「新型コロナウイルス感染症及び原油・原材料価格高騰の影響に関する支援強化」の要望  
要望先 岡山市長 大森 雅夫 氏  
要望日 令和4年5月24日  
要望者 岡山商工会議所、他関係団体と合同

岡山市長 大森 雅夫 様

長期化する新型コロナウイルス感染症に加えて、ウクライナ情勢と円安に起因した原油・原材料価格の高騰は、我が国の経済社会に大きな影響を及ぼし、多くの事業者は、コロナ禍での事業活動が進まない中、厳しい状況が続いております。

こうした中、岡山市におかれましては、昨年度、「岡山市コロナ対応事業者応援金」「飲食店感染防止強化補助金」をはじめ、消費喚起策「スマホ決済ポイント還元事業」等の措置を講じていただき、深く感謝を申し上げます。

岡山商工会議所と岡山北・岡山西・岡山南・赤磐の4商工会では、引き続き、融資・支援金・補助金・雇用調整助成金等の申請サポートと経営相談等により、事業者への支援の強化に努めてまいりたいと存じます。

しかしながら、度重なる感染拡大に続いて年初からの過去最大規模の第6波感染拡大での自粛による飲食業・観光業等への事業活動の影響は大きく、また、この度の原油・原材料価格の高騰では、特に、運輸旅客業・製造業・建設業等の多くの事業者においてコスト負担の増加による経営の圧迫等の課題を抱えており、大変厳しい状況にあります。

つきましては、「新型コロナウイルスの感染症及び原油・原材料価格高騰の影響に関する支援強化」として、(1) 経済を回復するための「岡山市独自の消費喚起事業」の実施、(2) 省エネ・デジタル化等の新たな取組に対応する「事業者への設備等導入補助」等の支援強化、(3) 経営改善・新事業等の相談に対応する「専門家相談等の拡充」措置の実施につ

いて要望いたしますので、経済の早期回復を図るために、一層の事業者支援措置を講じていただきますようお願い申し上げます。

令和4年5月24日

岡山商工会議所

会頭 松田 久

岡山北商工会

会長 吉次 立身

岡山西商工会

会長 長谷川 眞一

岡山南商工会

会長 岩田 成美

赤磐商工会

会長 金谷 征正

## 「新型コロナウイルスの感染症及び原油・原材料価格高騰の影響に関する支援強化」の要望

### 1. 経済を回復するための「岡山市独自の消費喚起事業」の実施

◇長引く新型コロナウイルス感染症での消費低迷に加えてウクライナ情勢と円安による原油・原材料価格高騰で影響を受けている岡山市の経済と事業者の事業活動を回復するための消費喚起事業を講じていただきたい。

### 2. 省エネ・デジタル化等の新たな取組に対応する「事業者への設備等導入補助」等の支援強化

◇ウクライナ・円安の情勢如何により原油・原材料価格高騰は長期化する懸念があり、今後、事業者の省エネや事業効率化・生産性向上を図るデジタル化等の取組を加速させる必要があることから、省エネ・デジタル化等の新たな取組に対応する「事業者への設備等導入補助」等の支援強化を講じていただきたい。

### 3. 経営改善・新事業等の相談に対応する「専門家相談等の拡充」措置

◇長引くコロナ禍に加えて原油・原材料価格の高騰は、多くの事業者の経営をより圧迫しており、事業者は、経営の見直しや事業回復に向けて「経営改善」や「新たな事業」等への取組が必要とされているため、事業者が取り組む「経営改善・価格転嫁・デジタル化・新事業展開・製品開発・マーケティング戦略等の相談に対応する「専門家相談・セミナー開催」等の支援の拡充を講じていただきたい。

件名 JR西日本のローカル路線の維持・存続に関する要望

要望先 岡山県知事 伊原木 隆太 氏

要望日 令和4年8月9日

要望者 (一社)岡山県商工会議所連合会、他関係団体と合同

## 主 旨

公共交通である鉄道は、経済合理性だけでは評価できない社会的便益を担う公共インフラです。

地方にとっては、通勤・通学・通院・買い物など地域住民の日々の暮らしを支えるとともに、都市部と地方を結ぶ大動脈であります。鉄道が存在し、各地域に駅があることで、これまで地域づくりが進められ、駅を中心に生活圏が形成されてきました。また、産業振興、観光振興、関係人口増加など地方創生を進めるために必要不可欠な社会基盤でもあります。

こうした状況の中、4月11日、JR西日本は輸送密度が2千人/日未満となっている17路線30区間について、線区別の経営状況に関する情報を開示し、不採算路線として明らかにしました。

該当区間の中に、因美線（東津山～智頭）、姫新線（上月～津山、津山～中国勝山、中国勝山～新見）、芸備線（備中神代～東城、東城～備後落合、備後落合～備後庄原、備後庄原～三次、三次～下深川）という、我々の社会経済活動の基盤となっている路線が含まれています。

JR西日本によれば、地域と各線区の実態や課題を共有し、具体的な議論をするための情報開示だとのことですが、鉄道の減便や廃止は、社会経済活動の低下に直結するものであり、また新たな交通弱者を生みかねないなど、地域が一層衰退することが懸念されます。

については、住民生活や経済活動の基盤である鉄道の維持のため、下記のとおり要望するものであります。

### 記

- 1 国に対し、JR西日本の社会的役割を踏まえ、ローカル線を維持するための抜本的な対策を講ずるよう求めること
- 2 他県と共同で、将来に向けてローカル線の維持・存続に資する

対策を国に求めること

- 3 沿線住民、経済団体とともに存続に向けた持続可能な取り組みを  
検討すること

因美線（東津山～智頭）、姫新線（上月～新見）、芸備線（備中  
神代～東城）沿線関係商工団体一同

（一社）岡山県商工会議所連合会 会長 松田 久

津山商工会議所 会頭 松田 欣也

新見商工会議所 会頭 林田 昌吾

岡山県商工会連合会 会長 田村 正敏

真庭商工会 会長 大月 隆行

作州津山商工会 会長 田村 正敏

鏡野町商工会 会長 中田 和友

久米郡商工会 会長 福島 一壽

みまさか商工会 会長 佐藤 宣義

阿哲商工会 会長 上田 久志

件名 コロナ禍における資源・エネルギー価格高騰などへの影響に対する支援強化に関する要望  
要望先 岡山市長 大森 雅夫 氏  
要望日 令和4年8月24日  
要望者 岡山商工会議所、他関係団体と合同

岡山市長 大森 雅夫 様

新型コロナウイルス感染症の第7波による全国的な感染拡大に加えて、ウクライナ情勢や欧米中央銀行の利上げ等による円安に起因した原油・原材料価格の高騰は、我が国の社会経済に大きな影響を及ぼしています。民間の信用調査会社によると、本年7月の企業倒産は、コロナ禍ではじめて3か月連続の増加となり、原油や燃料、原材料等の価格高騰の影響を受けた倒産が相次ぎ、価格転嫁が難しい中小・零細企業を中心に「物価高倒産」がさらに増える恐れがあると分析されています。

こうした中、岡山市におかれましては、昨年度、「岡山市コロナ対応事業者応援金」「飲食店感染防止強化補助金」をはじめ、消費喚起策「スマホ決済ポイント還元事業」等の措置を講じていただき、深く感謝を申し上げます。

岡山商工会議所と岡山北商工会、岡山西商工会、岡山南商工会及び赤磐商工会は、地域の中小・小規模事業者の支援機関として、引き続き融資・支援金・補助金等の各種申請サポートと経営相談等により、事業者支援に努めてまいりたいと存じます。

しかしながら、過去最大規模の第7波のコロナ感染拡大による事業活動への影響に加えて、この度の原油・原材料価格の高騰は、より多くの事業者においてコスト負担増が経営を圧迫しており、中小企業を取り巻く事業環境は悪化の一途をたどっています。

つきましては、市内経済の早期回復を図るために、下記の項目についてより一層の事業者支援措置を講じてくださいますようお願い申し上げます。

記

1. エネルギー価格高騰の影響に苦しむ事業者への助成措置
2. 省エネに取り組む事業者への省エネ機器導入補助制度の創設



令和4年8月24日

岡山商工会議所

会頭 松 田 久

岡山北商工会

会長 吉 次 立 身

岡山西商工会

会長 長谷川 眞 一

岡山南商工会

会長 岩 田 成 美

赤磐商工会

会長 金 谷 征 正

件名 小規模事業者経営改善資金（マル経資金）への利子補給継続に関する要望

要望先 岡山市長 大森 雅夫 氏

要望日 令和4年10月31日

要望者 岡山商工会議所、他関係団体と合同

我が国経済は、コロナ禍によるダメージが回復しないなか、ロシアによるウクライナ侵攻や記録的な円安ドル高などにより原材料やエネルギー、物流に係るコストが急激かつ大幅に上昇しており、きわめて厳しい状況に直面しています。

こうした中、岡山市におかれましては、コロナによる売り上げ減少やエネルギー価格高騰に苦しむ市内の中小・小規模事業者に対しまして様々な支援策を実施していただき、誠にありがとうございます。

現在、世界経済が先行き不透明感を増すなか、米連邦準備制度理事会（F R B）や欧州中央銀行（E C B）の利上げによるさらなる円安基調の進行が懸念され、多くの中小・小規模事業者は、エネルギー価格高騰に伴うコスト負担の増加が、コロナ禍での消費低迷と相まって経営を圧迫し資金繰りに苦慮する大変厳しい状況にあります。

一方、このような状況下においても、国の事業再構築補助金や岡山市中小企業支援事業補助金など様々な支援策を活用し、事業転換や新分野進出を行い、設備投資や新たな雇用を生み出している事業者も存在します。

しかしながら、当面の資金調達に苦慮する中小企業、特に小規模事業者においては、大企業と比較すると1%以上の差があるなど、重い金利が事業展開への足かせとなっております。

ご高承のとおり、小規模事業者経営改善資金（マル経資金）は、「無担保・無保証人・低利」で融資が受けられるのみならず、きめ細かい経営指導と一体となって小規模事業者への経営支援を推進する融資制度であります。

当制度は、小規模事業者のエネルギー価格高騰に伴う日々の資金繰りや人材採用、事業拡大をはじめ、新しい事業変革などあらゆる局面において商工会議所、商工会の経営指導員が継続的に経営支援を行うところに独自性があり、多くの事業者から頼りにされております。

令和3年度におけるマル経資金の実績は、50件、3億1,380万円となり、コロナ前と比較して利用は少ないですが、これは、コロナ対応の時限的な特別貸付に流れたことが要因であると考えます。しかしながら、コロナ特別貸付への利子補給が本年9月末を持って終了したことから、再びマル経資金の利用が増加するものと思われま

す。つきましては、未曾有の原材料・エネルギー価格高騰に苦しむ市内小規模事業者の経営改善のため、マル経資金の利子補給の継続について、何卒格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

## 記

### 1. 利子補給対象者

岡山商工会議所、岡山北商工会、岡山西商工会、岡山南商工会（東児支所を除く）、赤磐商工会（瀬戸支所）のいずれかの推薦を受け、日本政策金融公庫国民生活事業による融資を受けた小規模事業者

### 2. 利子補給内容

利子補給額は、融資の契約を交わした日から1年間に支払った利子を対象に、その1%相当額を補給

### 3. 利子補給期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日までに融資を受けた者

令和4年10月31日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

岡山商工会議所

会 頭 松 田 久

岡山北商工会

会 長 吉 次 立 身

岡山西商工会

会 長 長谷川 眞 一

岡山南商工会

会 長 岩 田 成 美

赤磐商工会

会 長 金 谷 征 正

## 小規模事業者経営改善資金（マル経資金）融資制度について

### （1）制度の概要

○「マル経資金」は、小規模事業者の経営改善を目的とし、その資金調達をサポートする国の施策です。

- ・ 限度額                    2, 0 0 0 万円
- ・ 担保・保証人        不要（保証料も不要）
- ・ 金利                     1. 1 3 %（令和4年10月1日現在）

○商工会議所・商工会の継続的な経営指導を受けることにより、経営改善を目的とした融資が受けられます。（商工会議所及び商工会の推薦により、日本政策金融公庫が融資実行）

### （2）岡山市内マル経資金融資推薦実績・岡山市利子補給額

#### 1. 令和3年度推薦実績

##### ①一般マル経

・ 岡山商工会議所取扱分	28 件	2 億 2, 400 万円
・ 岡山市内商工会取扱分	22 件	1 億 0, 780 万円
	<u>計</u>	<u>50 件 3 億 3, 180 万円</u>

##### ②コロナマル経

・ 岡山商工会議所取扱分	65 件	3 億 7, 630 万円
・ 岡山市内商工会取扱分	57 件	3 億 0, 570 万円
	<u>計</u>	<u>122 件 6 億 8, 200 万円</u>

##### ③一般マル経・コロナマル経 合計

・ 岡山商工会議所取扱分	93 件	6 億 0, 030 万円
・ 岡山市内商工会取扱分	79 件	4 億 1, 350 万円
	<u>計</u>	<u>172 件 10 億 1, 380 万円</u>

※岡山市内商工会取扱分は、岡山北・西・南（東児支所を除く）、赤磐（瀬戸支所）商工会取扱分の実績

2. 岡山市利子補給額（一般マル経のみ） 1,975,300 円

※令和3年（1月～12月）返済にかかる利子補給額

**(3) 岡山県内におけるマル経資金への利子補給制度の実施状況について**

現在、岡山県内のマル経資金への利子補給制度を実施している自治体は、11市、5町、1村の17カ所である。

<岡山県内でマル経資金への利子補給を実施する地域>

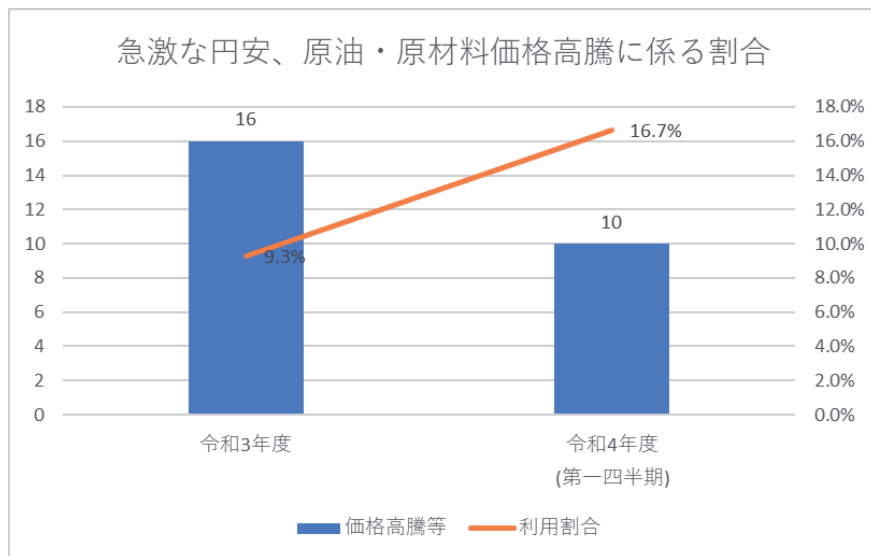
岡山市、津山市、笠岡市、井原市、高梁市、新見市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、浅口市、里庄町、矢掛町、鏡野町、久米南町、吉備中央町、新庄村

### マル経資金利用者の特徴について

**(1) 急激な円安、原油・原材料価格高騰に係る対策でマル経資金を活用**

ウクライナ情勢と急激な円安、原油・原材料価格の高騰は、事業活動に与える影響は大きく、コスト増となっており、資金繰りの円滑化のためにマル経資金を活用している。特に令和4年度に入り利用の割合が増えている。

中でも、ウッドショックによる影響、建築資材の納入遅れ・半導体不足などの影響による事例もある。



(内訳) 急激な円安、原油・原材料価格高騰に係る割合

年度	価格高騰等	利用割合
令和3年度	16	9.3%
令和4年度 (第一四半期)	10	16.7%

#### **【事例】木材急騰対策としての仕入資金確保にマル経資金を活用**

A社は、木造住宅を専門とした住宅建築及びリフォームを主として行っている。代表自身も大工として現場入りし、実際に建築作業にあたっている。長年建築現場で培ってきた高い技術と顧客の要望を代表自身が親身になってヒアリングし、その意見に寄り添ったプラン提案が好評で売上を伸ばしてきた。

令和元年末頃より始まったウッドショックの影響で、メインの材料となる木材の急騰により、建築現場においても原価の高騰が始まった。国際情勢に於いても不安要素が多い状況であったため、価格高騰が長期化する懸念があり、その対策を打つため、商工会と相談することとなった。

相談の結果、木材価格の更なる高騰が続くと思われたため、仕入を前倒しし、予定している建築案件について必要となる資材を最低限確保する事となった。資金の確保としてマル経資金を活用し、木材を中心とした資材確保を行った。

資金繰り及び、建築物資の確保が出来たため、予定していた案件を滞りなく実施する事ができ、価格高騰による利益率の減少も最低限に抑える事ができた。現状で利益確保できる体制が構築できたため、当初予定していた従業員の新規採用も1人確保する事ができた。

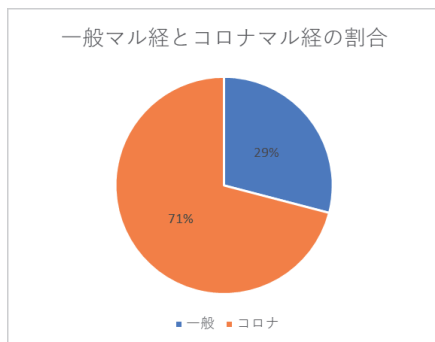
#### **【事例】建築資材の納入遅れ及び半導体不足にマル経資金を活用**

B社は、空調工事、設備工事を行っている。また、農産物の栽培・販売も行っている。この度、新事業展開としてカフェ事業を行いたいと相談があった。商工会議所の専門家派遣を活用し、新型コロナの感染を回避するためにオープンな空間で食事ができるカフェを、空調設備工事で培ったノウハウを活かして作り上げていく計画を策定した。新事業の人材は確保したものの、建築資材の納入遅れ及び半導体不足により完成が遅れ、4月下旬オープン予定が6月下旬以降となり、その期間中の人件費の負担が必要となった。その人件費増大分を補うために、マル経資金で資金調達し、人件費の確保と資金繰りの円滑化を図った。併せて、広告宣伝、販売促進活動に利用しスタートダッシュに繋げるためにマル経資金を活用した。

### **(2) マル経資金利用者への新型コロナウイルスの影響**

依然としてコロナの影響が長期化している中、「コロナマル経」（コロナ感染拡大の影響を受け、売り上げが一定の割合以上減少している事業者が対象）の利用者が全体の70%以上となっており、コロナの状況から立ち直れていない事業者が多いことがわかる。





(内訳) マル経制度の利用状況

団体名	マル経制度	
	一般	コロナ
岡山商工会議所	28	65
岡山北商工会	9	16
岡山西商工会	0	31
岡山南商工会	12	9
赤磐商工会	1	1
合計	50	122
割合	29.1%	70.9%

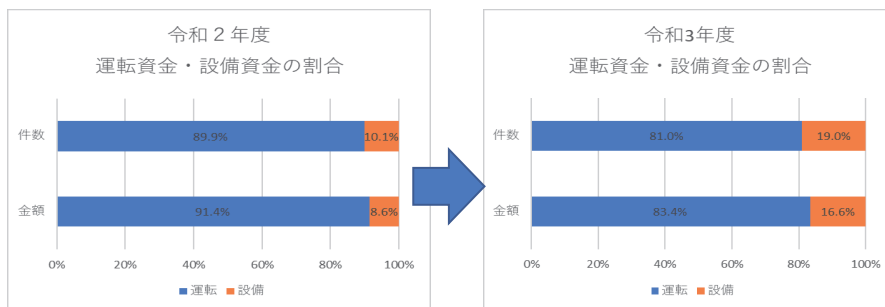
**【事例】新型コロナウイルスの影響で事業の窮地をマル経資金で継続**

C社は、幼稚園・保育園等教育機関、給食センター、地元飲食店に野菜等食材を卸している。

新型コロナウイルスの影響により一部教育機関が休校になり、また仕出し屋・飲食店なども休業したため、令和2年4月～5月の売上が前年同月比20%減少した。6月から取引先が通常営業を始め、受注が戻ってきたものの、運転資金が不足していた。そこで材料仕入代他諸経費及び今後の手元資金として運転資金を借り入れるためマル経資金を活用し、何とか営業を継続することができた。代表より「マル経資金制度があったから経営を続けられた。商工会の方も優しく対応してくださって本当にありがたかった」とのお声をいただいた。

**(3) 運転資金と設備資金の構成比**

令和2年度と令和3年度の運転資金と設備資金の構成比を比較すると設備資金の割合が増加している。コロナ禍で感染拡大防止に向けた店舗づくりなど、設備資金の利用が増加しており、ウィズコロナ・アフターコロナに向けた動きが出てきている。



(内訳) 設備資金の利用状況

団体名	R2年度				R3年度			
	件数		金額		件数		金額	
	運転	設備	運転	設備	運転	設備	運転	設備
岡山商工会議所	211	16	135,542	10,373	85	15	50,685	9,345
岡山西商工会	44	11	14,680	3,390	22	5	11,440	2,190
岡山南商工会	34	4	19,290	1,420	28	6	14,941	2,299
赤磐商工会	45	6	25,620	2,530	16	10	6,840	3,040
赤磐商工会	3	1	1,800	880	2	0	600	0
合計	337	38	196,932	18,593	153	36	84,506	16,874
割合	89.9%	10.1%	91.4%	8.6%	81.0%	19.0%	83.4%	16.6%

**【事例】 新型コロナに対応した店づくりにマル経資金を活用**

飲食業を行う個人事業主D氏は、全国の漁港から直送の新鮮な魚介類が人気な居酒屋で、1階16席と2階座敷には50席あり宴会用の需要も取り込んでいた。しかしながら、新型コロナの影響を受け、宴会需要が激減し2階座敷を使うことがなくなった。そこで、新型コロナ対策が必要となり、店舗を移転し支払家賃の固定費の削減と、席間確保と個室を設置し感染拡大防止に努めた店舗づくりを行いたいと相談があった。経営指導員とともに移転計画を策定し、マル経資金を活用し、店舗移転と内装工事を行い、コロナ禍でも安心して食事ができる体制を整えた。

**【事例】 マル経資金を活用し課題解決と業務効率化に成功**

E社は、二輪車の販売・修理全般・カスタム・旧車のレストア・販売等を営んでいる。近隣競合店で購入された方からも持込修理依頼があるなど、特に整備士としての評価は高い。また、旧車のレストア技術についても評価が高く、最近では希少車といわれる旧車を購入される方も多いことから、売上も増加している。

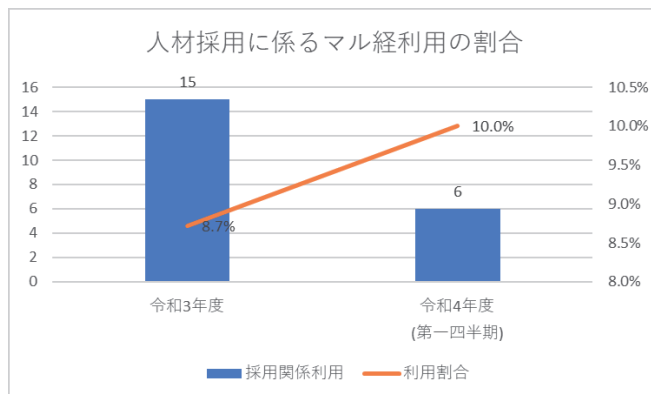
当社は大型二輪車の旧車の取扱いが多く、遠方からの引き合いも多い。軽トラでの回送で対応していたが、悪天候時の課題があった。旧車は雨にあたると大敵である「さび」が発生し、故障等の原因となり、商品価値を下げってしまうため、天候の変化を見極める必要があるなど、それがタイムロスとなることが多かった。

その課題を解決するために、マル経資金を活用し大型バイクを回送できるワンボックス車両を購入した。雨天での回送も可能となったことで、課題であったタイムロスを削減することができ、売上機会ロスの低減と業務効率化に繋げることができた。

#### (4) 人材の採用・育成にマル経資金を活用

人材を採用・育成するには、コストが必要となる。特に小規模事業者においては、即戦力の人材が集まるわけではなく、育成することが重要である。人材に係る資金の利用割合が、令和3年度では、15件・8.7%だったが、令和4年度になると、第一四半期で既に6件・10%と増加傾向となっている。

中でも、EC販売が好調でスタッフ採用にマル経資金を活用、組織の若返りから安定した経営を行っている事例もある。



(内訳) 人材採用の割合

年度	採用関係利用	利用割合
令和3年度	15	8.7%
令和4年度 (第一四半期)	6	10.0%

#### 【事例】EC販売スタッフの採用にマル経資金を活用

個人事業主のF氏は、鉢物を専門に扱う園芸店を経営。雑貨店の一画を使い営業しており、店頭で花や観葉植物を選び、雑貨店でおしゃれな鉢を購入し植替えてお渡しするのが好評で、お互い相乗効果を得ている。新型コロナの影響により、来店客数が減少する中、SNSを活用し入荷、寄せ植えの写真の掲載、栽培方法など告知を始めた。併せてインターネットを使ったEC販売もはじめた。寄せ植え写真がインスタ映えし、SNS (Instagram) のフォロワーが2.9万人と急成長し、EC販売も出品すると即完売するなどコロナ禍でも売上・利益が向上した。しかしながら、現有スタッフでは、EC販売の寄せ植え制作、

写真撮影などの時間が取れないため、機会損失に繋がっていた。そこで、マル経資金を活用し、スタッフ増員のための人件費に充当し、EC販売を強化し、経営の拡大を図った。

#### **【事例】事業承継を円滑に行い成長につなげるためのマル経資金の活用**

G社は、従業員15名で中国地方を商圏として一般貨物運送業を営んでいる。現在事業承継中であり、積極的に若者の入社体制を整え、組織の若返りを図っている。

コロナ禍ではあるが、後継者を中心に運搬車両の増車、運搬効率の改善を積極的に行い、受注の拡大を図っている。コロナの影響で一時的に車両稼働率は低下したが、現在は車両の9割超が稼働しており、売上が増加している。

しかし、令和3年からの原油価格の高騰により燃料費が以前より約40%増加していること並びに労働環境改善のための福利厚生充実に関する労務費の増加及び賃金の引上げに伴う人件費の増加において、毎月の資金繰りの不安と収益力の向上が課題であった。

そこで、経営者及び後継者と資金繰り状況及び運賃値上げ改定の方向性等について相談を行い、資金面における経営の安定化を図るため運転資金を調達することとした。

資金調達後は、事業承継中の資金繰り不安が解消し、経営者及び後継者ともに積極的に新規開拓及び運賃改定について交渉を行っている。また、従業員確保が難しい業界であるが、新規に2名雇用することができ今後の事業の拡大を見据えた組織づくりを実施している。

#### **(5) 民間金融機関との協調融資でマル経資金を活用**

事業拡大を狙い、民間金融機関の融資とマル経資金を活用し店舗移転を行い、店舗のコンセプトとブランド力を発揮した店舗づくりができ、さらなる事業拡大に繋がった事例もある。

#### **【事例】民間金融機関とマル経資金との協調融資で店舗移転し事業拡大**

H社は、スポーツブランドのアパレル販売を行う。アパレルのブランド力で事業も順調、コロナ禍でもアウトドアの流行で好調に推移してきた。さらに事業拡大を狙うために、売り場面積の拡大と取扱ブランドのさらなる魅力向上を図るために店舗を移転したいと相談があった。商工会議所の専門家相談を活用し、事業のプランとともに、新たな店舗のコンセプト、スポーツの普及活動などの計画を策定した。さらには、マル経資金と民間金融機関との協調融資を行い、移転費用を調達することができた。新たな店舗は、ブランド力を十分発揮できる魅力的な店舗となり売り上げも順調に伸びている。

## (6) 火災からの復興でマル経資金を活用

火災により店舗焼失からの復興にマル経資金が活用された事例もある。

### **【事例】マル経資金を活用し火災からの復興**

飲食業を営んでいた個人事業主のI氏は、昨年12月の火災により店舗が焼失した。この火災以降は営業ができず、令和3年はコロナ禍と火災により売上減少となり、今後の事業展開について商工会議所に相談があった。経営指導員とともに、火災からの復興について、事業計画を策定し、天神町に新店舗を移転開業することになった。移転にかかる費用を算出し、マル経資金を活用し、移転先店舗の内装工事、厨房設備機器及び食材仕入・食器等の消耗品の購入に充て、営業の再起を図った。

## (7) 地域活性化にマル経資金を活用

補助金とマル経資金を活用し、地域のコミュニティの場を創出し、地域活性化につなげた事例もある。

### **【事例】新事業展開と地域活性化にマル経資金を活用**

J社は、飲食事業と音楽事業（音楽教室、コンサート）を運営する。新型コロナウイルスの影響で、飲食事業は緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の期間には休業し、音楽事業は各種イベントの中止などで売上が減少した。今後の事業見直しを商工会議所と検討している中で、空き倉庫を活用したカフェと、地域の名産品としてのクラフトビール製造の新事業に着手することとなった。事業計画を策定し、事業実施するにあたり、商工会議所の専門家派遣制度を利用するとともに、国・市の補助金を活用、さらにはマル経資金で設備資金の調達を行い、地域活性化の一助となる新事業を開始した。

件名 令和5年度岡山県予算編成に関する要望  
要望先 自由民主党岡山県支部連合会、自由民主党岡山県議団  
要望日 令和4年11月15日  
要望者 (一社)岡山県商工会議所連合会、他関係団体と合同

## 陳 情 書

令和4年11月15日

自由民主党岡山県支部連合会  
自由民主党岡山県議団 殿

岡山県経済団体連絡協議会  
一般社団法人岡山県商工会議所連合会  
岡山県経営者協会  
一般社団法人岡山経済同友会  
岡山県中小企業団体中央会  
岡山県商工会連合会

令和5年度岡山県予算編成にあたり、下記の事項について重点的に推進されるよう要望いたします。

### I. 景気、中小企業・小規模事業者対策に関する要望

日本銀行の令和4年11月の岡山県金融経済月報では、「県内景気は、新型コロナウイルス感染症と供給制約の影響が和らぐもとで、緩やかに回復している」、「個人消費は、緩やかに増加している」、「設備投資は、増加している」、そして、「県内主要製造業の生産は、緩やかに増加している」としている。

その一方で、一般社団法人岡山県商工会議所連合会の令和4年7～9月期の岡山県の景気観測調査では、「仕入価格の上昇と新型コロナウイルス感染拡大第7波の影響で、景況DIは2期ぶりに悪化」としており、仕入価格の上昇が3期続けて調査開始以来最悪を記録し、円安傾向の是正も見通しが立たないことから、地域経済の先行きは予断を許さない状況が続いていると考えられている。

現在は、新型コロナウイルス感染症を巡る政府の水際対策の大幅緩和と全国旅行支援によって、経済活動の本格的な再開が期待されるなか、秋のイベントも3年ぶりに開催されるなどもあって、にわかに県内の繁華街、観光地には賑わいが戻りつつあるが、依然としてコロナ禍以前の水準には程遠い状況にとどまり、その地域も限定的である。

さらには、ロシアのウクライナ侵攻の先行き、米国の記録的なインフレからの景気後退、中国の新型コロナウイルス感染症の再拡大からロックダウンによる景気減速、歴史的な原油・原材料価格の高騰、急速な円安の影響などの下方リスクが相次ぐなど

もあり、継続的な消費の下支えとなる需要喚起策や中小企業・小規模事業者の事業継続に係る支援の強化により、早期に景気の好循環に繋がるべく大胆な刺激策を必要としている。

また、長らく議論されている地方創生や首都機能分散の推進とともに、人材のリスキリングによって、新事業展開等業態転換やデジタルトランスフォーメーション（DX）などのイノベーションによる社会構造の転換を促進するなど、ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えた取り組みを加速しなければならない時期に来ている。

こうしたなか、経済6団体では、それぞれの経済団体が、各地域、業界・業種、雇用・労使問題、人材育成、さらには地域課題などにより、縦糸と横糸を張り巡らせるべく支援・連携体制の強化を図り、地域の中小企業・小規模事業者の活性化とともに活力ある地域経済づくりへ一層の期待に応えることができるよう、次のような施策を講じられたい。

## 1. 長期化する新型コロナウイルス感染症対策やエネルギー価格高騰に対する支援強化について

- (1) 非対面販売・接客が加速し、オンラインを活用したビジネスへのシフトは不可避となっていることなど、業態転換やデジタル化等「ビジネスモデル変革」に取り組む事業者への設備導入・技術指導等に係る費用の助成措置の拡充
- (2) リモートワークやWeb会議等の新しい働き方の定着に向けて、デジタル機器、設備の増強支援
- (3) 中小企業・小規模事業者が行う新しい生活様式への取り組みや事業転換に対する使い勝手のよい補助金の創設や国の補助金に対する上乗せ支援
- (4) ウィズコロナ・アフターコロナの経済の再生を優先するための新型コロナ対策予算の拡大
- (5) コロナ禍で販路開拓を目的としたイベントの中止、縮小、延期等により、メーカーやバイヤーとの商談の機会を失った事業者に対するウィズコロナ・アフターコロナ時代の国内外販路開拓支援
- (6) 長引くコロナ禍により令和2年に借入した事業者の追加融資は厳しい状況にあることから、保証料や利子補給、返済猶予や既往債務の条件変更等の柔軟な支援
- (7) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業所の正規・非正規雇用の維持、新規採用・再就職の促進、休業せざるを得なくなった事業所及びその従業員に対する協力金・休業補償などの支援
- (8) コロナ禍をチャンスと捉えた「企業移転と移住の促進」を図る受け入れ環境の整備
- (9) コロナ禍においても積極果敢に海外展開に挑戦する事業者に対するIT設備導入や人材確保に対する支援

- (10) 長期にわたって深刻な影響を受けている地域経済を回復し、雇用維持を図るためには、中小企業・小規模事業者に対する支援を強力に推進していくことが必要不可欠であることから、中小企業・小規模事業者支援に対する継続的かつ十分な予算確保
- (11) 長引くコロナ禍において低下した消費意欲を喚起するような付加価値のあるクーポンの発行やキャッシュレス決済時のポイント付与への支援
- (12) 過度な円安、小麦や食用油の価格高騰、原油高による包装資材や容器、物流コストの上昇などの影響を受け価格転嫁が難しい事業者に対する支援やサプライチェーンに対する支援措置

## 2. 中小企業・小規模事業者振興施策の充実について

- (1) 「中小企業連携組織対策事業費」の維持
- (2) 生産性向上及び付加価値向上に取り組む企業を支援し、改善モデル企業について組合を通じて横展開を図り、業界全体の活性化を目的として実施する「サービス産業生産性向上支援事業」について、支援の継続と事業内容の充実
- (3) 自動車産業・造船業等の基幹産業を支える地域の企業が、協同組合などの連携力を発揮して取り組む受注確保や経営力強化の取り組みに対する支援のほか、環境対応のため新技術開発や、新分野・異分野進出のための設備導入等に対する支援
- (4) 地域の経済・雇用を支える中小企業・小規模事業者の持続的発展は不可欠であり、働き方改革を含む新たな生活様式への対応、危機的状況下での事業継続、事業承継の推進、IT化の促進等を実現するため、中小企業・小規模事業者の振興に関する支援施策の充実と補助金の申請から入金までの期間短縮
- (5) 廃業が増大すると予測されている中小企業・小規模事業者（特に後継者のいない高齢経営者）のためのM&Aマッチングなど円滑な事業承継に対する各種支援
- (6) 原油・原材料高の影響を受けている中小企業を対象として実施している「省エネ設備更新に関する補助事業」について、今後の経済や社会情勢の中で、更なるエネルギー価格対策が必要となった場合の追加予算措置や、着実な温暖化防止対策を進める上での、今回補助に代わる更新インセンティブの創出
- (7) 廃業の増加による雇用喪失などは地域経済の疲弊を招くことにつながるため、地域で事業を残すことは地域における雇用地域経済の活力維持・向上に重要であることから、機械・設備等の有形資産とともに、技術・ノウハウ・人脈等の無形資産を次の世代に引き継いでいく事業承継への様々な支援
- (8) 中小企業・小規模事業者にとって最低賃金の上げは、経営に大きな影響があるが、事業の持続的発展に資する取り組みを行い、加えて賃上げを実施する事業者を支援するための助成金・補助金等の支援策拡充とともに、今後急激な最低賃金額ア



ップが行われないよう、地域の実状を踏まえた国等への働きかけ

- (9) 商工会等では、従来の経営相談に加えて、小規模事業者に対するポストコロナを見据えた脱炭素・カーボンニュートラルやDXの動きを踏まえた対応支援、各種施策の申請支援等が求められているが、経営環境の変化が厳しく、不確実性の高い時代においては、商工会等による経営課題設定型伴走支援が不可欠であることから、これらの支援を確実に実行するための小規模事業者等に寄り添って伴走型支援を行う人員及び資質の向上が必要な継続的な予算の確保

### 3. 中山間地域の施策の充実について

人口減少や少子高齢化が加速する中山間地域において、地域経済や生活環境を持続させることは、切実な地域課題となっている。中小企業・小規模事業者が事業を通じて地域課題の解決に取り組み、地域経済の活性化や生活環境の持続的発展に貢献していくための支援施策について、一層の充実をお願いしたい。

### 4. 国内外の販路展開支援について

- (1) 食品関連事業者の総合相談窓口である「岡山フードバレーセンター」を活用し、オンラインマッチング商談会の常設運営や、魅力ある県産農産物生産者と食品加工事業者との円滑なマッチング等の継続支援
- (2) 岡山県産農産物を活用した加工食品や、地場産業である繊維ならびに伝統的工芸品である備前焼等の関連組合が行う地域のブランド化に対する支援策の継続及び拡充
- (3) 地域の経済・雇用・生活を支える中小企業・小規模事業者等が、ポストコロナ時代に対応し事業発展・継続を図るため、デジタル技術を活用し製造者等が消費者に直接販売や情報発信が出来るネットショップ等の構築・運用を支援する制度の創設
- (4) 地域の資源・技術を活用した特産品の普及を後押しするため、商品開発・改良を支援する事業に対する予算拡充

### 5. 金融施策の充実について

- (1) 長引く新型コロナウイルスや円安・原材料高等により、売上減少や経費増大などの影響を受けており、加えてゼロゼロ融資の終了により資金繰りに苦しんでいる県内中小企業・小規模事業者に対して、資金繰りを支える制度融資の創設や限度額の引き上げなど、返済猶予を含む強力な支援
- (2) 長期化するコロナ禍により打撃を受けた企業は、今後、追加資金や返済緩和等の相談が増加することが想定され、それに伴う専門家派遣等による経営改善計画策定等による経営安定支援の強化に必要な措置

## 6. 女性経営者・若手経営者等の育成について

- (1) 女性経営者・若手経営者等を対象にしたビジネス連携や経営力強化を支援すべく、異業種交流や組織化に対する支援強化
- (2) 円滑な事業承継の実現のため、親族内承継はもとより、事業引継ぎやM&Aによる第三者への事業承継支援の強化と事業継続の要となる後継人材の育成等の取り組みについて、引き続き積極的な支援
- (3) 多様化する地域課題の解決や地域経済活性化の担い手である地域商工業の若手経営者や後継者に対して、期待される役割を果たすために必要な資質の向上や、地域社会の持続的発展に貢献する人材育成等の取り組みについて、引き続き積極的な支援
- (4) 地域の持続的発展を実現するためには、新しい技術やアイデアを生み出し、成長のドライバーとなる新規創業者の活躍が不可欠となるが、より多くの創業者が安定的により大きく成長するための支援

## 7. デジタル化・DX推進について

- (1) コロナ禍においてDXの推進は中小企業・小規模事業者にとっても重要な課題となっているが、専門的知識を持った従業員が少ない事業者にとっては、その取り組みのハードルが高いのが実状であることから、中小企業・小規模事業者のDX推進に知見を持つ専門家を支援機関に配置し、相談派遣を行う体制の構築支援
- (2) 労働生産性向上を狙いにリモートワークやWeb会議等の働き方改革の推進に向けたデジタル機器などの設備投資、デジタル人材の確保・育成への助成措置の拡充、同業種内での活用促進支援

## Ⅱ. 雇用対策に関する要望

コロナ禍により制約を受けていた社会経済活動が次第に回り始め、全国の雇用情勢は一部に厳しさがみられるものの、緩やかに持ち直している。全国の9月の有効求人倍率は1.34倍(前年同期1.15倍)で9カ月連続の上昇。完全失業率は2.6%(前月比+0.1ポイント)と若干悪化している。

岡山県の有効求人倍率は8月まで5カ月連続して上昇していたが、9月は1.58倍(前年同期1.40倍)と対前月比-0.02ポイントで、10カ月ぶりの低下となっている。新規求人数は対前年同月比8.4%増加、11カ月連続して増えている。

また、来年3月の学卒求人求職状況では、高校生の求人数(9月末現在)は前年同期比14.2%増加、就職希望者も同じく2.3%増え、求人倍率は2.18倍(前年同期比+0.23ポイント)と高めとなっている。大学等の求人数(7月末現在)は前年同期に比べ30.0%増加し、就職希望者も同じく2.3%増えている。地場企業にとっては来春の若い人材確保が大きな課題となりそうな情勢である。

こうした雇用情勢のなか、地域の実情や時代のニーズを踏まえ、多様な人材確保、働き方改革推進、女性の活躍推進、高齢者の就業促進など多方面からの雇用政策を早急に打ち出されたい。

### 1. 新卒者等の雇用確保について

- (1) 地場の中小企業・小規模事業者の人材確保は一段と困難になっており、産学官が連携し合同就職説明会の開催回数等の増強、県外からの参加者を増やすためのWeb開催への支援
- (2) 若者の雇用のミスマッチを防止し、地元就職を促進するため、高校生の就業体験の充実や地場企業と連携したキャリア教育の強化
- (3) 県内就職を促進するため大学生や転職希望者に対して金融機関と連携した準備資金支援策の継続・拡充
- (4) 資金的に脆弱な中小企業・小規模事業者が大手就職サイトに登録するなど採用活動に対する補助金等支援措置
- (5) 県内産業の持続的発展について重要な若者の雇用確保を目的として実施する、インターンシップ、企業説明会(オンライン実施含む)、企業見学バスツアー等の継続・拡充
- (6) 人口の社会増対策として効果を上げ始めている、県外からのUターン就職を促す奨学金支援事業の継続・拡充

### 2. 女性・高齢者・障がい者の雇用について

- (1) 仕事と子育ての両立を図る、国の次世代育成支援対策と連携するとともに、県独

自にも女性活躍推進策の強化

- (2) 少子化時代の貴重な労働力の確保に向けて、企業で長年培った技術と経験を活かせるように高年齢者の就業確保推進策の拡充
- (3) 障がい者に対する企業の法定雇用率2.3%を実現するための支援
- (4) 製造業を中心とした女性経営者等が連携し、働き方改革や多様な人材の雇用確保に取り組む活動に対する支援

### 3. 外国人留学生の支援とグローバル人材の育成について

- (1) 県内の大学、大学院で学ぶ外国人留学生の県内企業への就職支援策や企業の受け入れ支援等の強化
- (2) 卒業後に県内企業への就職を目指す学生等への留学支援事業の継続的支援

### 4. その他雇用対策について

- (1) 高度な専門技術を持つ人材と地場企業との連携を支援する「プロフェッショナル人材戦略事業」の継続的支援
- (2) 労働生産性向上を狙いにリモートワークやWeb会議等の働き方改革の推進に向けたデジタル機器などの設備投資、デジタル人材の確保・育成への助成措置の拡充、同業種内での活用促進支援※Iの7に前述
- (3) 病気治療を続けながら仕事との両立を進める「岡山県地域両立支援推進チーム」の事業計画への支援の継続・拡充
- (4) 雇用調整助成金は現時点で令和4年11月末までの特例措置となっており、雇用調整助成金が延長されることを期待するが、延長されない場合は12月以降に補完する支援
- (5) 働き方改革や新型コロナウイルス感染症の影響による新たな働き方が生まれるなか、「晴れの国・岡山」においては、豊かな自然と風光明媚な景勝に恵まれており、また比較的災害の少ない土地柄を最大限活かし、働きながら休暇を取れる「ワーケーション」を推進する拠点として環境整備や情報発信の積極的推進
- (6) 新型コロナウイルス感染症の影響による従業員削減や外注先との取引停止など事業縮小後、新型コロナウイルス感染症が沈静化し、経済が動き始めた際の従業員の再雇用や取引先の確保などに対する支援
- (7) 中小企業・小規模事業者の「成長」の源泉のひとつは人への投資であり、企業価値向上に資する従業員のリスクリングは重要であり、企業の実施環境整備とともに、単独では教育が実施しがたい小規模事業者の協働・連携実施等による教育制度の創設と実施の支援

### Ⅲ. 商店街・まちづくりに関する要望

#### 1. 商店街・中心市街地の活性化について

- (1) 商店街や共同店舗組合等が、自らの競争力を強化し活性化する目的において実施するイベントやリピーター確保事業の精度を上げるべく、事業計画策定やブラッシュアップを目的とした支援措置の創設及び支援事業の対象拡充
- (2) 中心市街地の新しい土地等活用を促進するための法整備と補助制度の創設（アフターコロナ施策）
- (3) 老朽化した中心市街地の再整備への支援
- (4) 「空き店舗」活用マッチング事業への支援措置の創設
- (5) 中心市街地活性化策についての専門家派遣への助成

#### 2. 観光産業の復興・活性化について

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大により、自粛要請を受け大打撃を受けた観光産業に宿泊・飲食業など観光産業など、業種ごとのガイドラインに沿って「新しい生活様式」に対応した感染症防止対策を実践する事業者への支援の継続
- (2) 新型コロナウイルス感染症により需要が落ち込んだ観光地・宿泊施設・商業集積等において、事業者が自ら商品力を磨き、情報を発信する取り組みや、集客を図る取り組みに対する支援
- (3) インバウンド観光における多言語対応の看板等の整備、「岡山県観光の魅力創造・整備・発信」など観光産業推進に向けた支援の拡充
- (4) 全国旅行支援や県の観光クーポンなどを組み合わせた効果的な観光支援の継続

## IV. 国土強靱化に向けた災害対応に関する要望

### 1. 事業継続力強化を図る防災について

- (1) 多発する豪雨災害や南海トラフ地震発生の切迫性によるBCP（事業継続計画）策定・認定に係る専門家の派遣支援や策定した事業者への環境整備に関する補助などの支援や事業継続力強化計画認定のメリットとなる施策の実施
- (2) 平時はもとより災害時にも機能する通信や物流、サプライチェーン構築に向けた施策支援や自助としての「減災」への取り組み支援
- (3) 西日本豪雨災害により被災した地域の復旧は着実に進んでいるが、人口減少の中での新規顧客開拓や、新型コロナウイルス感染症への対応が課題となっており、依然として復興への道のりは遠い状況にあり、継続した支援を要することから、引き続き十分な予算確保
- (4) 地域治水対策の総合的な見直し・推進
- (5) 団地型組合や広域連携を視野に入れた、連携型BCPに関する普及支援や計画作成支援
- (6) 災害時に電柱の倒壊による道路の遮断防止や電力供給、通信回線保全のため、緊急車両輸送道路（羽島四十瀬線）をはじめ幹線道路の早期電線地中化【倉敷商工会議所】
- (7) 瀬戸内海における離島物流ビジネス化を想定した実証実験への協力と広域連携への支援【倉敷会議所】
- (8) 国道53号の一部高規格化（ミニバイパス）金川～誕生寺の推進【津山会議所】

## V. 地域振興、地域プロジェクト等に関する要望

### 1. 地域振興、活性化を図るための各地域対策について

- (1) 岡山商工会議所140周年事業「2030年に向けたまちづくり提言」に基づいて実行する活性化事業（カーボンニュートラルの実現、DX・GXの推進、おかもまDXアリーナ（仮称）の建設）への支援【岡山会議所】
- (2) 高齢化が進み街の活力を失いつつある「西大寺地域の活性化」支援【岡山会議所】
- (3) 2023年G7広島サミットG7倉敷労働雇用大臣会合に向けての支援【倉敷会議所】
- (4) 阿知三丁目市街地再開発事業「あちてらす倉敷」完成で倉敷駅南の開発が進むなか、南北の一体化と交通渋滞緩和を図るための倉敷駅付近連続立体交差事業と水島臨海鉄道の倉敷駅への乗り入れ事業の推進支援【倉敷会議所】
- (5) 新産業創出のための航空宇宙産業推進及び次世代モビリティによるサービス産業の育成【倉敷会議所】
- (6) 会議所や商工会で組織した「次世代モビリティ瀬戸内海コンソーシアム」と連携してドローンを使った物流と空飛ぶクルマによる飛行ルートの開拓【倉敷会議所】
- (7) 脱炭素（CN）に向けた地域実施体制構築への支援【津山会議所】
- (8) ベンチャー、スタートアップ企業の誘致に係る助成【津山会議所】
- (9) 溜川から玉島港に至る流域の浚渫による治水と景観対策【玉島会議所】
- (10) 新倉敷駅周辺へのホテルを含む多目的産業振興ビルの建設支援【玉島会議所】
- (11) 玉島ハーバーアイランド南端緑地公園整備の早期化【玉島会議所】
- (12) 「ボールアイランド‘玉島’」に向けた球技場の整備【玉島会議所】
- (13) 三井E&S（旧三井造船）の商船建造撤退による市内中小企業の事業構造改革のための助成支援【玉野会議所】
- (14) 県内唯一の人流港である宇野港の利用促進のため、クルーズ船誘致活動の支援と小型高速艇による宇高航路の再開及び宇高航路記念館の建設支援【玉野会議所】
- (15) 県外からの移住者、外国人技能実習生に対する居住等の助成支援【玉野会議所】
- (16) 中心市街地の宇野港に観光客が滞留する賑わい創出のためのテナントを誘致できる商業施設の建設支援【玉野会議所】
- (17) 企業進出が決定した田井新港貯木場の埋め立てによる更なる工業用地の拡大【玉野会議所】
- (18) 観光面での人流増加が予想されるなか、夜型観光における地域の起爆剤としての瀬戸大橋の通年ライトアップの早期実現【児島会議所】
- (19) 児島地区は海・山などの自然環境や海産物等資源に恵まれており、ワーケーションや二拠点生活、また移住等に適した地区として移住定住の促進【児島会議所】
- (20) 世界でも人気の観光地として瀬戸内海が注目されるなか、風光明媚な地形を利用

- したアウトドアやサイクリング等レジャーやスポーツを楽しめる地区として、島や海岸線等の整備やPR等の推進【児島会議所】
- (21) 児島地区で進めている繊維産業「ものづくり」を中心とした「産業観光」の取り組み支援【児島会議所】
  - (22) 「くらしき・こじま 海の駅」に登録した児島観光港の活性化推進【児島会議所】
  - (23) 令和7年度開通予定の国道2号笠岡バイパスと玉島笠岡道路、山陽自動車道篠坂パーキングエリアスマートインターチェンジ整備事業による渋滞緩和と物流の効率化に伴う企業の進出や雇用増大が見込まれる地域の活性化並びに周辺観光施設への周遊支援【笠岡会議所】
  - (24) 日本遺産「知ってる！？悠久の時間が流れる石の島～海を越え、日本の礎を築いたせとうち備讃諸島～」及び地域団体商標「笠岡ラーメン」を活用した地域連携型の観光振興の取り組みへの支援【笠岡会議所】
  - (25) 「井原デニム」が地域団体商標として認定されたが、一層の情報発信のため、国内外の展示会・イベント等への参加費用等の継続的な助成【井原会議所】
  - (26) 県道「笠岡・井原線」は徐々に整備が行われているが、引き続き拡幅ならびに歩道の整備促進【井原会議所】
  - (27) 小規模事業者指導費補助金のうち企画提案型・小規模事業者等支援事業のチャレンジショップ、インキュベーション事業への対応など使途と予算額の拡充【井原会議所】
  - (28) 小田川の川床の浚渫および河川敷の支障木の撤去【井原会議所】
  - (29) 山陽自動車道篠坂パーキングエリアにおけるスマートインターチェンジの早期実現とアクセスする県道3号の整備促進【井原会議所】
  - (30) 慢性的な渋滞により緊急時や市民生活にも支障をきたす備前大橋、国道250号、国道2号、県道等交通インフラの整備【備前会議所】
  - (31) 地場産業振興の観点からの東備港整備の実現【備前会議所】
  - (32) 日本遺産認定の旧閑谷学校の教育資産としての有効活用と備前焼の普及推進【備前会議所】
  - (33) JR赤穂線の増便【備前会議所】
  - (34) 日本遺産「ジャパンレッド発祥の地・吹屋」と天空の山城「備中松山城」を活かした経済効果のある観光振興への支援【高梁会議所】
  - (35) 道の駅整備等地域経済活性化事業への支援【高梁会議所】
  - (36) 中山間地域の小都市に対する定住対策への特別な支援【高梁会議所】
  - (37) 高梁川、成羽川の治水対策の強化・推進【高梁会議所】
  - (38) 新県立博物館の総社市への建設【総社会議所】
  - (39) 地域ニーズに応じた土地利用（農振解除を含む）の推進【総社会議所】
  - (40) 作山古墳整備への支援【総社会議所】



- (41) 国道180号の市街地区間の交通渋滞緩和並びに災害時の交通確保のため、主要地方道新見日南線に接続するバイパス工事等の早期整備に向けた支援【新見会議所】
- (42) 幹線道である国道180号が災害等により通行不能となった場合の迂回道路の確保・整備に向けた支援ならびにJR等の公共交通機関が運行不能となった場合の代替輸送の確保に向けた支援【新見会議所】
- (43) 主要地方道新見勝山線の市街地区間における交通の危険解消のため、高尾－新見龍頭間のトンネル工事により国道180号と接続するバイパスの早期整備の実現【新見会議所】
- (44) 集中豪雨等による堤防決壊、河川氾濫を防止するため、高梁川の浚渫工事及び雑木等の撤去などの継続的な実施【新見会議所】
- (45) JR芸備線、姫新線の存続及び利便性向上に対する支援【新見会議所】
- (46) 新見駅周辺を核とした都市機能の充実や、にぎわい創出を目指す「新見駅周辺のまちづくり基本構想」の実現に向けた支援【新見会議所】

以 上

件名 令和5年度税制改正に関する重点要望

要望先 地元選出与党議員

要望日 令和4年11月16日

要望者 岡山商工会議所

## 中小企業の自己変革への挑戦を後押しする強力な税制支援を！

2022年11月  
岡山商工会議所  
日本商工会議所

### 1. 中小企業の成長投資を促す租税特別措置の確実な延長・拡充

中小企業の生き残りをかけた挑戦を後押しする税制は、確実に延長・拡充すべき。

- 中小企業経営強化税制の延長と税額控除率の引上げ等の措置を
- 中小企業投資促進税制の延長を
- 中小企業者等の法人税率の軽減措置(15%)の延長を
- 研究開発税制と中小企業技術基盤強化税制の延長と繰越控除の復活を

### 2. 中小企業の投資意欲に水を差す償却資産に係る固定資産税の廃止・軽減

人手不足が深刻化する中、中小企業は賃上げ原資確保のため、借入れも行き、付加価値拡大への設備投資を実施。償却資産への課税は投資の意欲を削ぐ。

- 償却資産に係る固定資産税の廃止、少なくとも現行の負担軽減の継続を

### 3. 中小企業向け賃上げ促進税制の繰越控除措置の創設

物価高と深刻な人手不足の中、中小企業は賃上げに取組まざるを得ない状況。

- 業況が厳しい中小企業なども広く税制を活用できるよう、繰越控除の創設を

### 4. インボイス制度導入の影響最小化策の実行と導入延期の検討

政府は、十分な検証とともに、責任をもって免税事業者等への周知を徹底すべき。課題は、「事務負担」と「免税事業者の課税転換後の税負担」の増加。

制度導入の影響最小化策として、以下の措置を講じるべき。

- 免税事業者の課税転換後の新たな税負担増の軽減
  - 簡易課税制度の申告書の徹底的な簡素化、原則としての簡易課税適用を
  - 3万円未満の取引について帳簿の保存のみで仕入税額控除適用を 等
- 影響最小化策が講じられず、混乱が避けられない場合、制度導入を延期すべき。

### 5. 中小企業の賃上げや設備投資を阻害する安易な法人増税は避けるべき

- 外形標準課税の中小企業への適用拡大には断固反対
- 防衛財源は歳出削減や税込増等を鑑み、国民的議論で慎重に検討すべき

件名 新アリーナの公設民営に向けた提言  
 要望先 岡山市長 大森 雅夫 氏 他  
 要望日 令和4年12月1日  
 要望者 岡山商工会議所、他関係団体と合同

## 新アリーナの公設民営に向けた提言

2022年12月1日 【要約版】

岡山商工会議所 会頭 松田 久  
 新アリーナ整備検討チーム

岡山県経済団体連絡協議会、岡山商工会議所、岡山シーガルス、トライフープ岡山、岡山リベッツ、フジャアノ岡山

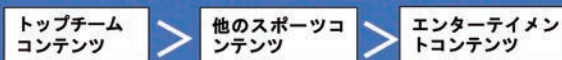
### アリーナのコンセプト

- ①市民を魅了するスポーツの機会創出  
高規格で利便性の高いアリーナの建設による競合の緩和とイベント増加
- ②シビックプライドの醸成  
魅せるアリーナの創造による他施設との差別化
- ③子どもや女性、全ての人々が輝くアリーナ  
トップアスリートや女性が輝き、次世代アスリートが育つ施設
- ④市民の健康と安全・安心に繋がる施設  
地域の公共財として市民の健康増進や避難場所としての活用
- ⑤健康寿命の延伸に向けた産業の創造  
DX機能の導入による施設運営の合理化と運動・健康事業への応用
- ⑥新アリーナによる地域活性化  
スマートベンチャーの発想に基づきエリア全体のまちづくりにつながる施設

### 新アリーナの運営

- ① 公設民営による運営で、「稼ぐアリーナを実現」
- ② 稼ぐことにより指定管理料が不要な指定管理を目指す。
- ③ 運営の主体は、プロスポーツチームのほか、県内企業連合体、大企業などから選定する。
- ④ 運用の優先度

地域の公共財として健康・交流・避難場所としての活用



運営に必要な経費		152,900,000円
支出項目	支出金額	単価
維持管理費	39,600千円	3,600円/m <sup>2</sup> /年
運営費（人件費）	52,800千円	4,800円/m <sup>2</sup> /年
その他経費	22,000千円	2,000円/m <sup>2</sup> /年
水光熱費	38,500千円	3,500円/m <sup>2</sup> /年
合計	152,900千円	

想定される運用収入		154,500,000円
①プロスポーツチームの利用による収入	66,000千円	
②練習およびスポーツ教室等への貸出	10,500千円	
③その他の施設利用収入および間接的収入	28,000千円	
④アリーナ興行（スポーツ事業以外の活用）	40,000千円	
⑤その他の収益事業	10,000千円	
合計	154,500千円	

### 寄附金の募集

- ①寄附金の募集  
主に市内の企業や個人に向かって募集
- ②企業版ふるさと納税の活用  
市外の企業に建設資金を募集する際に有効性の高いこの制度を活用し、経済団体から呼び掛けを行う。
- ③ふるさと納税  
市外の個人に対して納税を呼び掛ける。

**寄附金の目標額 8億円**

## 【 今までの経緯 】

### (1) 「アリーナ建設に向けた提言書」(令和3年12月27日)

岡山県経済団体連絡協議会ならびに岡山商工会議所は、岡山のプロスポーツチームが直面している慢性的な試合・練習会場の不足に憂慮し、次の2点について岡山市長、岡山市議会議長に提言を行った。

- ①岡山市北区北長瀬の「北長瀬みずほ住座」跡地に、観客席3千人～5千人規模のメインアリーナを有し、サブアリーナなど付帯施設を完備したアリーナを建設する。
- ②アリーナの建設・運営において、経済界等が推進する寄附金や企業版ふるさと納税による資金を建設費に組み入れた「公設」と、指定管理者制度およびPPP制度の利点を考慮した民間事業者のノウハウによる「民営」の仕組みを導入する。

### (2) 「多目的屋内施設(アリーナ)に関する基礎調査」の実施

岡山市は、(1)の提言を受けて令和4年度事業として「多目的屋内施設(アリーナ)に関する基礎調査」(以下「基礎調査」という)を実施し、「ニーズ調査の結果、既存のアリーナだけでは量的に不足していることは明らかであり、都市機能が一定程度集積した利便性が高い地域への新アリーナの整備が必要」との結果となった。その規模については、観客席5,000席(可動席含む)、延床面積が1万1千㎡クラスの施設が望ましいとし、新アリーナによる経済波及効果は、県内外からの来場者による消費活動により20年間で770億円以上との試算結果が出ている。また、運営面での独立採算の実現は、新アリーナをエンターテインメント性の高い施設とし、スポーツ以外のイベント興行等の事業展開が必要との結果となっている。

### (3) 「新アリーナ整備検討チーム」の組成

岡山県経済団体連絡協議会および岡山商工会議所は、(1)の提言を実施した後に、アリーナを利用するプロスポーツチーム(岡山シーガルズ、トライフーズ岡山、岡山リベッツ、ファジアーノ岡山)とともに、「新アリーナ整備検討チーム」を組成した。検討チームでは、新アリーナに必要な各プロリーグの仕様に関する情報や、想定される試合数などの情報を持ち寄り、理想的なアリーナの規模の想定を行った。また、基礎調査が公表された後は、各チームの使用の頻度や日程の調整について情報を交換したほか、運営の母体の検討やプロチーム以外のアリーナの活用について協議し、独立採算の可能性を検討してきた。

さらに、建設費の一部を民間から集める方法として、企業に向けては建設寄附金や企業版ふるさと納税、また市民については寄附金およびふるさと納税についての研究を深め、アリーナ建設機運の醸成とともに、多くの資金の提供を呼び掛けることを検討している。

今回の提言は、以上のような経緯を踏まえ、政令市岡山にとって理想的なアリーナの運営について提言する。

## 新アリーナの公設民営に向けた提言

### 1. 新アリーナのコンセプト

#### ① 市民を魅了するスポーツの機会創出

##### ～高規格で利便性の高いアリーナの建設による競合の緩和とイベント増加～

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、スポーツ熱の高まりを受けて全国各地でスポーツ施設の建設が進められている。特にインドアのプロスポーツチームが活躍している地域では、そのチームの発展や地域の一層の盛り上がりに向けてアリーナの建設が多数進められている。

一方、岡山市の基礎調査では、岡山市内の既存の体育館・アリーナはプロスポーツチームやスポーツ団体からのニーズに対して量的に不足しているとの結果となった。入場料収入を財源としているプロチームとしては集客に優れたジップアリーナの確保が課題であり、公共施設のために優先利用が難しい状況にある。

交通アクセスに優れ、都市機能が一定程度集積した利便性の高い地域へ新しいアリーナを建設し、ジップアリーナほか市内の施設への集中を緩和することで、プロ・アマ問わず利用希望者の利便性を強化する。

#### ② シビックプライドの醸成

##### ～魅せるアリーナの創造による他施設との差別化～

アリーナを交通の利便性が良いまちなかに建設することで、アクセスは格段に良くなるほか、全天候型のアリーナは様々なスポーツやイベントの開催に有利な面があり、照明や音響、DX機能を駆使することにより魅力的なアトラクションの開催も実現できる。「魅せる」を主眼としたアリーナを創造することで、既存のアリーナとの差別化を行うことに力点を置く。これにより、トップスポーツチーム4チームがトップレベルのスポーツ興行を行う全国的にも稀有な「魅せる」アリーナがあることに對し、市民は自らのまちに誇りを持つ、すなわちシビックプライドを醸成することが期待できる。

現時点で、岡山市には岡山シーガルズ(V1)、トライフーズ岡山(B3)、岡山リベッツ(T1)、ファジアーノ岡山(J2)などのプロチームがあり、これらのプロチームが同一のアリーナを活用すれば、これは全国でも画期的なことであり、アリーナの運営を行う上でも大きなアドバンテージとなる。言わずもがな、プロチームのゲームは交流人口を増大させ、経済効果を生むほか、岡山市民は週末毎に「スポーツ観戦で盛り上がる日常」を手に入れることができる。シビックプライドにつながるようにプロアスリートは「魅せる」プレーを繰り広げ、「魅せる」アリーナは最大限の演出を行う。

アリーナ運営のためには他のスポーツイベント、音楽イベント、コンベンションなど多彩な事業の展開が必須だが、これもまた同様で、「魅せる」アリーナの力量を発揮する必要がある。

### ③ 子どもや女性、全ての人々が輝くアリーナ

#### ～トップアスリートや女性が輝き、次世代アスリートが育つ施設～

日々鍛錬に明け暮れ、勝利のために持てるすべてのパフォーマンスを発揮するプロアスリートの姿は、アリーナでは多くの人々に感動を呼び起こす。前述のプロ3チームは、ともにシーズンが秋から春となり、日程の調整が難しいことが予測されるが、リーグとの調整やチーム間での調整を行い、常に最大限の新アリーナ利用を目指す。

また、ファジアーノ岡山を加え各プロリーグともに若い年代への育成は必須であり、いずれのチームも下部組織や若年層への指導を行っているが、その育成の場として、また、力試しの場としてアリーナを活用し、次世代のトップアスリートの育成を行う。

岡山シーガルズやママさんバレーボールをはじめ、天満屋女子陸上部の活躍や岡山マラソンに参加する女性ランナーへの拡大、県出身の女子プロゴルファーの活躍など女性アスリートの活躍が際立っている。「女性に優しく、女性が輝く」視点に重きを置きアリーナ施設の内容を検討する。

### ④ 市民の健康と安全・安心に繋がる施設

#### ～地域の公共財として市民の健康増進や避難場所としての活用～

北長瀬未来ふれあい総合公園の隣接地にアリーナを建設することにより、この地域のコンセプトをより明確にするとともに、ユニバーサルデザインによる施設整備を行うことで誰もが使いやすい施設を目指し、女性、高齢者、障害者が利用できる交流拠点としての施設とする。

市民自身の肉体年齢への気づきや体力に応じたスポーツへの参加を通し、健康寿命延伸に一層取り組むとともに、健康経営の取り組みを通して地域の経済活動を活性化させる。また、市民間のさまざまな交流や連携事業を通じて、元気で豊かな生活を実現する拠点づくりを行う。

アリーナは地震や水害の発生時に罹災者の緊急避難所となるほか、救急救命の拠点として、また、支援物資の備蓄・分配の拠点としての機能を発揮する。

### ⑤ 健康寿命の延伸に向けた産業の創造

#### ～DX機能の導入による施設運営の合理化と運動・健康事業への応用～

新アリーナにはDX機能を充実させ、電子チケット、アプリでの座席案内、キャッシュレス化など観戦客の利便性や施設運営の効率化を図るほか、ゲームをより楽しむための大型モニターなどの各種電子機器を装備し、「魅せる」アリーナに対する設備投資を行う。

市内の大学が有するスポーツ医学に基づく知見によって、最先端DX機器でトップアスリートや市民の身体データを測定し、トップアスリートの一層の運動能力の向上や市民の健康づくりに向けて分析を行うほか、市民から得たビッグデータを基に効果的なトレーニングを実践し、健康寿命の延伸へ繋がる取り組みを行う。

また、蓄積されたデータを元に、運動機能を補助するサポーターの開発やスポーツ

ウェア、サプリメント等の開発に向けたイノベーションラボを創設し、新たな産業を興すとともに、スタートアップ企業の育成拠点を設ける。

## ⑥ 新アリーナによる地域活性化

### ～スマートベニューの発想に基づきエリア全体のまちづくりにつながる施設～

スポーツイベントだけの運営では収支の一致は難しく、アリーナの興行としてアーバンスポーツ、eスポーツ、音楽イベント、コンベンション、展示会・見本市会場のほか、成人式など市民参加型のイベントに活用し、運営費用を稼ぎ出していく。のみならず、新アリーナの立地は、「庭園都市」の新たなシンボルとしての整備が進む「北長瀬未来ふれあい総合公園」に隣接しており、アリーナの持つ集客力との相乗効果によって人が訪れ、交流に繋がる空間づくりに一層の効果が期待できる。

また、アリーナによって生まれる人流の増加は、この一帯の賑わいを創出する「ブランチ岡山北長瀬」や、近年、若者が集まり賑やかさを増す「問屋町」との相乗効果が期待できることから、エリア全体のマネジメントを構築し、ハードとソフトを連動させて最大限の効果を導き出す仕組みを創造する。

## 2. 新アリーナ運営方法、主体、収支について

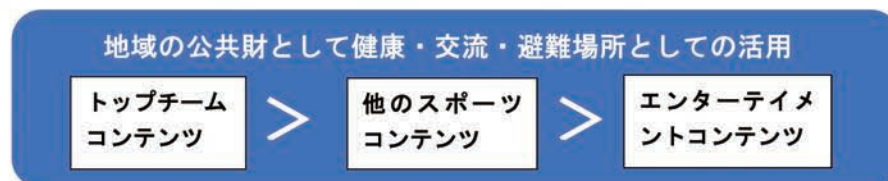
### (1) 公設民営による運営について

公設により整備されたアリーナを、民間が有するノウハウを最大限活用することによって、「稼ぐアリーナ」として運営する。その目指すところは、「独立採算」であり、管理料が不要な指定管理を理想とする。運営を担当するのは、既存の法人・団体、あるいは運営のための特別目的会社（SPC）や有限責任組合（LLP）などの事業体が考えられる。

この事業体には、地元スポーツ団体のほかに、県内企業の連合体、大企業などが想定されるが、アリーナの特性やアリーナを活用した事業に適した運営組織を選定する必要がある。

基礎調査によると独立採算の実現可能性は、質の高いスポーツコンテンツは勿論のこと、それ以外に①新アリーナをエンターテインメント性の高い魅力的なものとし、②スポーツ以外のイベント興行の事業展開を図ることで可能になるとしている。スポーツをメインにする新アリーナにとって本末転倒とならない範囲で、音楽イベント、興行、コンベンションなどアリーナの最大活用、最大収益を追求する。

ただし、地域の公共財として建設される新アリーナであることを忘れてはならず、地域社会にとって有用な健康・交流・避難場所としての活用も運用の土台に据える。



## (2) 運営に係る経費

基礎調査の結果、運営に必要な経費は年額で1億5千3百万円程度が必要になると試算されている。

支出項目	支出金額 (千円)	単価
維持管理費	39,600	3,600 円m <sup>2</sup> /年
運営費 (人件費)	52,800	4,800 円m <sup>2</sup> /年
その他経費 (リース費用等)	22,000	2,000 円m <sup>2</sup> /年
水光熱費	38,500	3,500 円m <sup>2</sup> /年
合計	<b>152,900/年</b>	

※岡山市多目的屋内施設 (アリーナ) に関する基礎調査より抜粋

※維持管理費には、保守点検等管理費、警備費、小規模修繕費、清掃費等を含む (大規模修繕費は含まない)

## (3) 想定される新アリーナの収入

運営に係る収入についてはアリーナの詳細が決まっていない現時点では正確な数字をはじき出すことは困難だが、いろいろな収入を積み上げると総額は次のような数字となる。

①プロスポーツチームの利用による収入	66,000 千円
②練習およびスポーツ教室等への貸出	10,500 千円
③その他の施設利用収入および間接的収入	28,000 千円
④アリーナ興行 (スポーツ事業以外の活用)	40,000 千円
⑤その他の収益事業	10,000 千円
合計	<b>154,500 千円</b>

詳細については次のとおり。

### ① プロスポーツチームの利用による収入

**66,000 千円**

全国に多くのアリーナが存在し、また計画をされているが、複数のプロスポーツチームが共同で利用するアリーナは全国でも極少数であり、このメリットを最大限活用するためにリーグやチームで協調を図り、最大値のゲーム実施を図ることでアリーナとしての安定収入を確保する。

チーム名	試合数	リーグ規定	他会場開催	その他使用	合計数	利用料 (千円)
岡山シーガルズ	20		▲4	4	20	20,000
トライフープ岡山	30		▲6	12	36	36,000
岡山リベッツ	12		▲3	1	10	10,000
合計	59		▲16	7	50	66,000



② 練習およびスポーツ教室等への貸出（サブアリーナを含む）

10,500千円

確たる練習場を有しない岡山シーガルズの練習会場としてアリーナを使用するほか、中高生や海外チームの合宿などの受け入れのためにコート利用を行う。また、各チームが行うスポーツ教室として活用するほか、ママさんバレーボールの教室も実施する。フットサルやバレーボール、卓球などの競技はアマチュア愛好家の方が多く、平日夜間の利用を希望する声もあるため、夜間の貸出を考慮する。また、中高生、大学生にとってプロ仕様の会場で試合をすることは「夢舞台」となり、県大会の準決勝、決勝戦を（スポンサー付きで）このアリーナで行えば、利用の回数は増える。

チーム名	貸出日数	利用内容	利用日数	利用料（千円）
岡山シーガルズ		練習・教室	100	3,000
		中高生合宿受入	30	3,000
		海外チーム受入	15	1,000
トライフープ岡山		教室	24	500
岡山リベッツ		教室	24	500
ファジアーノ岡山		フットサル教室	12	250
ママさんバレー		教室	50	500
夜間貸出利用		練習・試合	50	1,250
県大会		試合	5	500
合計		—	322	10,500

③ その他の施設利用収入および間接的収入

28,000千円

アリーナ内に有料の貸室及び貸会議室スペースを設けることで、プロチームのクラブハウスとしての家賃収入、個々人の身体データに関するラボ等の研究施設に対する家賃収入を実現するほか、貸会議室の賃貸料と機材のレンタル料の収入を想定する。また、付帯する駐車場（想定50台分）の使用料やアリーナのネーミングライツとしての収入を計上する。

種別	貸出内容	利用内容	単価	利用料（千円）
貸室		面積 330 m <sup>2</sup> (100 坪)	坪単価 10,000 円	12,000
貸会議室		面積 165 m <sup>2</sup> (50 坪)	1 日 1 万円 x 5 割稼働	2,000
駐車料金		50 台 x 稼働 200 日	@500	5,000
ネーミングライツ		1 年間の権利料	8,000	8,000
自販機手数料等			手数料単価 20 円	1,000
合計		—	—	28,000

④ アリーナ興行（スポーツ事業以外の活用）

40,000 千円

プロスポーツチームの公式試合は、大半が秋から春にかけての開催で集中している。また、大半が週末に集中する。春先から夏にかけてのシーズンオフの期間の週末と平日を想定したイベントを実施する。アリーナの活用として考えられるのは、次のような内容。

基礎調査では、年間 32 日以上で開催を行うことで黒字に転換されるとしており、独立採算を維持するためには収益性の高い事業実施に取り組む。

アイスショー	アリーナ内にスケートリンクをつくり、ショーを開催（リンク製作に1週間、1千万円）
アーバンスポーツ	アリーナ内にコースを設定し、BMXやスケートボードなどのアーバン競技を開催
e スポーツ大会	アリーナの大型モニターを活用し、コンピュータ及びビデオゲームの対戦型大会を開催する
音楽イベント	2千人以上の観客を想定した大物ミュージシャンによるアリーナコンサート実施する。
コンベンション	医療系の学会や各種団体の全国大会を開催するコンベンション施設として活用
展示会・見本市会場	販売促進のための展示会や、新作等の発表の場としての展示会に活用
その他	成人式やこどもフェスティバルなど市民参加型のイベント等に活用するほか、アリーナの活用希望者への貸し出し。

⑤ その他の収益事業

10,000 千円

地域の公共財としての活用の観点から、「北長瀬未来ふれあい総合公園」のコンセプトの「ライフスタイルに合わせた健康支援」を積極的に推進する事業を行い、アリーナを舞台に年齢層や個々人の体力を考慮に入れた健康増進プログラムを提供し、地域の健康支援を行う。

また、トップアスリートや年代別の個々人の運動データを記録し、データを活用することで運動能力の向上、健康増進に向けた製品の開発につなげるほか、オープンイノベーションラボの開設を通して、スタートアップ企業の支援を行う。

市民の健康増進に向けた事業（補助事業として）
測定および健康増進（参考：阿蘇ファームランド）
オープンイノベーションラボの開設
近隣のジムとの連携事業
アリーナ北側への広告の掲示

### 3. アリーナの設備について

市民は週末毎に繰り広げられるプロスポーツ観戦に相当の費用を負担し、レプリカユニホームをまとい会場に押し寄せる。そのため、プロスポーツチームのホームゲームを行う会場としては、「魅せる」プレーを間近に感じ、照明で際立った選手の躍動に万感の歓声を送るため、通常の体育館の設備を超えた最新の機器が必須となる。大型のスクリーンに映るリプレイ映像に盛り上がり、ハーフタイムには光と音楽のショーを繰り広げるための設備、また、音楽イベントやコンベンションを効果的に演出するための設備など、「見る・する・支える」を高い次元で実現できるような設備とすることが重要と考える。

#### 【必要な設備】

- サブアリーナ（バレーボールコート1面、バスケットボールコート1面）
- 常設の観客席とプレーエリアを拡大縮小できる可動席（可能なら5千席）
- 車両から、直接、搬入・撤収が可能となる搬入口の設置
- 最新の映像機器や音響設備
- トレーニングルーム・トレーニング機器
- 各プロリーグのレギュレーションにマッチした会場設備への対応
- VIPルーム、ラウンジ
- フレキシブルに対応可能な設備（コート分割、トイレ男女比など）
- 有事の際の避難所を含む防災拠点としての活用
- 高速通信設備

#### 【可能であれば設置を希望】

- 宿泊施設（合宿受け入れ・国際交流）
- イノベーションラボ（DXアリーナによる民間投資等の呼び込み）
- スタートアップ企業ルーム

### 4. 建設に向けた民間資金について

#### ① 寄附金の募集

岡山県経済団体連絡協議会および岡山商工会議所の経済界、プロスポーツチーム、寄附金の申し込み先となる岡山市が一体となり寄附金募集の推進委員会を組成し、県内外の企業、個人に向けた建設寄附金の募集を実施する。

呼びかけは、経済団体は所属する会員企業に向けて寄附の依頼を行うほか、プロチームは自らのスポンサー企業およびサポートする個人に対して行う。

申し込みにあたっては、WEBでの申し込みをできる体制を整えるなど幅広く周知し、効率的な募金を実施する。

## ② 企業版ふるさと納税の活用

市外の企業については建設資金を募集する際に有効性の高い「企業版ふるさと納税」を活用する。市外の企業に対しては、経済団体を通じて呼びかけを行うとともに、各地にある県人会組織や岡山県に進出している大手企業に対して積極的に呼びかけを行う。

税金の控除により実負担額の10倍の支援につながることから、地域貢献を経営上の課題に位置付ける企業にとっては非常に効果的な制度であり、アリーナ内に寄附をした会社名が一覧で表示されることは、企業のイメージアップにつながる。

ただし、留意すべきは「選ばれる納税先」になることであり、納税先に選ばれるためには大企業の関心の高い「SDGs」「ゼロカーボン」「女性に優しい」「健康増進」「DX」などの旗印を鮮明にし、他の納税先との差別化を行う必要がある。

## ③ ふるさと納税

市外に居住する人が、このアリーナに賛同し「ふるさと納税」を行うことも可能となる。この場合、「企業版ふるさと納税」とは異なり、返礼品を用意する必要があり、アリーナ内部の芳名板の掲示やチーム関連グッズの提供が必要となる。

## ④ 寄附金の目標額

寄附金の目標額は、8億円とする。

令和4年12月1日

- ① 岡山市長           大 森 雅 夫 様
- ② 岡山市議会議長   和 氣       健 様

岡 山 商 工 会 議 所  
会 頭 松 田 久

新アリーナ整備検討チーム

岡山県経済団体連絡協議会  
岡山商工会議所  
岡山シーガルズ  
トライフープ岡山  
岡山リベッツ  
ファジアーノ岡山

件名 令和5年度税制改正（防衛費に係る財源問題）に関する要望  
要望先 地元選出与党議員  
要望日 令和4年12月9日  
要望者 岡山商工会議所

**防衛力強化は必要であるが、財源措置は歳出内容を含めて国民的な議論のもと、慎重に決定すべき**

2022年12月  
岡山商工会議所  
日本商工会議所

- ◆ 防衛力強化は必要。法人も然るべき負担はやむを得ない。
- ◆ しかし、防衛力強化に必要な歳出内容は、負担を強いられる国民の納得と合意が不可欠。拙速に決定すべきではない。
- ◆ 物価高などで厳しい国民生活や経済活動への影響は大きく、当面、徹底的な歳出改革や他の予算流用、国債で対応し、増税規模を最小化した上で、広く薄い課税とすべき。
- ◆ 税目や税率は、国民的な議論のもと、慎重に決定されたい。法人税を狙い撃ちにした増税措置は、避けていただきたい。
- ◆ 中小企業の労働分配率は7～8割。残りの2～3割の限られた原資から、公租公課、賃上げ、投資を行っている。
- ◆ 法人に偏った増税となると、賃上げや投資意欲に水を差す。

件名 「新型コロナウイルス感染症及びエネルギー価格・物価高騰の影響に関する支援強化」の要望  
要望先 岡山市長 大森 雅夫 氏  
要望日 令和5年2月6日  
要望者 岡山商工会議所、他関係団体と合同

岡山市長 大森 雅夫 様

長期化する新型コロナウイルス感染症に加えて、ウクライナ情勢・円安等に起因したエネルギー価格・物価の高騰は、我が国の経済社会に大きな影響を及ぼし、コロナ「5類」移行に期待感はあるものの、未だ多くの事業者は、先行きの見えない厳しい状況が続いております。

こうした中、岡山市におかれましては、消費喚起策「スマホ決済ポイント還元事業」や「岡山市エネルギー価格高騰緊急対策支援金」「岡山市省エネ機器導入補助金」等の措置を講じていただき、深く感謝を申し上げます。

岡山商工会議所と岡山北・岡山西・岡山南・赤磐の4商工会では、引き続き、融資・支援金・補助金等の申請サポートと経営相談等により、事業者への支援の強化に努めてまいりたいと存じます。

しかしながら、度重なるコロナ感染拡大による飲食業・観光業・小売業等への影響は予想以上に大きく、また、この度のエネルギー価格・物価高騰では、幅広い業種の多くの事業者においてコスト負担の増加による経営課題を抱えており、今後さらに長期化する傾向にあります。

こうした状況を踏まえ、「新型コロナウイルス感染症及びエネルギー価格・物価高騰の影響に関する支援強化」として、(1)経済を回復するための岡山市独自の消費喚起事業の実施、(2)省エネに取り組む事業者への支援強化について、市内経済の早期回復を図るために、一層の事業者支援措置を適宜講じていただきますようお願い申し上げます。

令和5年2月6日

岡山商工会議所

会頭 松田 久

岡山北商工会

会長 吉次 立身

岡山西商工会

会長 長谷川 眞一

岡山南商工会

会長 岩田 成美

赤磐商工会

会長 金谷 征正



## 「新型コロナウイルス感染症及びエネルギー価格・物価高騰 の影響に関する支援強化」の要望

### 1. 経済を回復するための岡山市独自の消費喚起事業の実施

◇長引く新型コロナウイルス感染症での消費低迷に加えてウクライナ情勢・円安等に起因したエネルギー価格・物価高騰で影響を受けている岡山市の経済と事業者の事業活動を回復するための消費喚起事業を講じていただきたい。

### 2. 省エネに取り組む事業者への支援強化

◇ウクライナ・円安等によるエネルギー価格・物価高騰は、長期化する懸念があり今後、事業者の省エネや事業効率化・グリーントランスフォーメーションへの取組が必要であることから、省エネに取り組む事業者への支援強化を講じていただきたい。

以上



# 令和4年度収支決算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

岡山商工会議所

## 令和4年度収支決算書

(1) 令和4年度収支決算書総括表	155
(2) 令和4年度一般会計収支決算書	156
(3) 令和4年度法定台帳関係費特別会計収支決算書	161
(4) 令和4年度共済事業特別会計収支決算書	163
(5) 令和4年度労働保険事務組合委託保険料特別会計収支決算書	166
(6) 令和4年度小規模事業特別会計収支決算書	168
(7) 令和4年度ビルディング特別会計収支決算書	173
(8) 令和4年度財政調整基金特別会計収支決算書	177
(9) 令和4年度事業運営積立金特別会計収支決算書	178
(10) 令和4年度退職給与積立金特別会計収支決算書	179
(11) 令和4年度災害時医療支援基金特別会計収支決算書	180
(12) 令和4年度会館整備基金特別会計収支決算書	181
(13) 貸借対照表	182
(14) 固定財産明細表	183
(15) 積立金明細表	184
(16) 決算書類に対する注記	185
(17) 財産目録	186

# 令和4年度収支決算書総括表

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

(単位 円)

会 計	繰越金	収 入	支 出	収支残高	繰入金	繰出金	差引収支残高	備 考
一 般 会 計	11,808,926	270,844,418	148,129,599	134,523,745	0	127,013,603	7,510,142	小規模・財政調整・事業運営 会館整備へ繰出
法定台帳関係費特別会計	0	9,630,000	9,630,000	0	0	0	0	
共済事業特別会計	10,835,525	58,251,068	58,251,068	10,835,525	0	0	10,835,525	
労働保険事務組合 委託保険料特別会計	0	10,921,737	10,921,737	0	0	0	0	
小規模事業特別会計	0	1,208,114,467	1,279,400,070	△ 71,285,603	77,795,603	6,510,000	0	一般より繰入 退職給与積立金へ繰出
ビルディング特別会計	400,199,189	201,810,484	231,173,721	370,835,952	23,980,000	0	394,815,952	
小 計	422,843,640	1,759,572,174	1,737,506,195	444,909,619	101,775,603	133,523,603	413,161,619	
財政調整基金特別会計	24,820,129	772	0	24,820,901	5,000,000	0	29,820,901	一般より繰入
事業運営積立金特別会計	82,948,383	378,610	3,021,000	80,305,993	22,818,000	0	103,123,993	
退職給与積立金特別会計	175,694,026	2,219	6,119,000	169,577,245	6,510,000	0	176,087,245	小規模より繰入
災害時医療支援 基金特別会計	1,911,024	18	0	1,911,042	0	0	1,911,042	
会館整備基金特別会計	388,000,982	2,436	660	388,002,758	21,400,000	23,980,000	385,422,758	一般会計より繰入 ビル会計へ繰出
小 計	673,374,544	384,055	9,140,660	664,617,939	55,728,000	23,980,000	696,365,939	
合 計	1,096,218,184	1,759,956,229	1,746,646,855	1,109,527,558	157,503,603	157,503,603	1,109,527,558	

令和4年度一般会計収支決算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

収入の部 (単位 円)

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 会 費		173,466,000	133,000,000	40,466,000	
	1. 会 費	150,648,000	133,000,000	17,648,000	25,108口 (1口 6,000円)
	2. 特 別 会 費	22,818,000	0	22,818,000	選挙制度改革により議員特別会費を設置 令和4年度より
2. 事 業 収 入		77,583,892	69,730,000	7,853,892	
	1. 検 定 受 験 料	11,904,824	13,550,000	△ 1,645,176	
	2. 講 座・講 習 会 受 講 料	45,574,080	41,400,000	4,174,080	1. 講習会受講料 530,000 2. パソコン教室受講料 45,044,080
	3. 広 告 料	12,387,200	9,990,000	2,397,200	会報等広告料
	4. 手 数 料 等	5,805,828	4,790,000	1,015,828	1. 汚染負荷量賦課金業務手数料 1,702,932 2. 貿易証明・特定原産地証明手数料 3,571,639 3. その他手数料等 531,257
	5. そ の 他 事 業 収 入	1,911,960	0	1,911,960	1. フルーツパフェの街おかやま収入 1,108,000 2. おかやま果実収入 800,000 3. ザ・ビジネスモール会員紹介手数料 3,960

3. 交 付 金		5,227,161	2,440,000	2,787,161	
	1. 賦 課 金	300,000	300,000	0	日本銀行岡山支店
	2. 県 連 負 担 金	2,140,000	2,140,000	0	(一社) 県連出向者の人件費
	3. おかやま検定負担金	1,489,671	0	1,489,671	岡山県共催負担金
	4. 日商移動常議員会助成金	1,297,490	0	1,297,490	(公社) おかやま観光コンベンション協会他助成金
4. 登 録 料		4,135,000	3,600,000	535,000	
	1. 会 議 参 加 費	4,135,000	3,600,000	535,000	日商移動常議員会他
5. 雑 収 入		4,963,265	410,000	4,553,265	
	1. 雑 収 入	4,963,265	410,000	4,553,265	預金利息、配当金、事業終了団体の資金精算
6. 事 務 分 担 金		5,469,100	5,350,000	119,100	
	1. 事 務 分 担 金	5,469,100	5,350,000	119,100	外郭団体等事務受託分担金
7. 繰 入 金		0	0	0	
	1. ビルディング 特別会計繰入金	0	0	0	
	2. 財政調整基金 特別会計繰入金	0	0	0	
8. 繰 越 金		11,808,926	4,000,000	7,808,926	
	1. 繰 越 金	11,808,926	4,000,000	7,808,926	
収 入 合 計		282,653,344	218,530,000	64,123,344	

支出の部

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 事 業 費		112,872,893	111,010,000	1,862,893	
	1. 一 般 事 業 費	112,872,893	111,010,000	1,862,893	
	(1) 商 工 奨 励 費	30,006,994	28,090,000	1,916,994	1. 地域づくり推進費 8,916,725 2. 商工業に関する事業 5,314,336 3. 観光物産の振興に関する事業 3,707,373 4. 国際交流の推進に関する事業 2,150,683 5. 行事費 4,961,474 6. その他商工奨励費・記者クラブ運営費込 4,956,403
	(2) 商工技術振興費	7,987,220	8,260,000	△ 272,780	検定事業費
	(3) 講演会・講習会	45,632,040	41,700,000	3,932,040	講習会、パソコン教室開催経費
	(4) 調査活動費	7,871,459	12,230,000	△ 4,358,541	1. 委員会・部会活動費 3,621,707 2. 研究研修費 3,347,006 3. 調査費・資料費等 902,746
	(5) 広 報 費	18,241,114	18,680,000	△ 438,886	会報・支所だより発行費
	(6) 会員拡充強化費	3,134,066	1,400,000	1,734,066	
	(7) 交流会等開催費	0	650,000	△ 650,000	会員交流会・ビジネス交流会中止



2. 管 理 費		31,497,783	38,370,000	△	6,872,217	
1. 給 与 費		10,340,020	13,070,000	△	2,729,980	
(1) 俸 給		7,783,671	10,330,000	△	2,546,329	
(2) 特 別 手 当		1,273,713	2,340,000	△	1,066,287	
(3) 賞 与 引 当 金 繰 入		924,330	0		924,330	令和5年度夏季賞与のうち当年度に帰属する額 令和4年度より
(4) 諸 手 当		358,306	400,000	△	41,694	
2. 福 利 厚 生 費		2,211,017	2,280,000	△	68,983	
(1) 社 会 保 険 料		1,772,467	1,780,000	△	7,533	
(2) 退 職 年 金 掛 金		260,084	280,000	△	19,916	
(3) 福 利 厚 生 費		178,466	220,000	△	41,534	
3. 旅 費 ・ 交 通 費		1,071,639	1,330,000	△	258,361	
4. 事 務 費		6,834,383	8,720,000	△	1,885,617	
(1) 通 信 費		1,406,284	1,630,000	△	223,716	
(2) 印 刷 費		1,106,898	1,180,000	△	73,102	
(3) 消 耗 品 費		1,866,817	1,920,000	△	53,183	
(4) 表 彰 費		798,946	560,000		238,946	永年在任議員表彰・永年勤続職員表彰
(5) 慶 弔 費		159,242	160,000	△	758	
(6) 委 託 費		1,496,196	3,270,000	△	1,773,804	OA機器リース料・公用車運行管理費等
5. 会 議 費		6,351,698	7,400,000	△	1,048,302	総会・常議員会・正副会頭会議・日商移動常議員会
6. 公 課 分 担 金		4,689,026	5,570,000	△	880,974	日商会費等
3. 選 挙 費		1,647,901	1,000,000		647,901	
1. 選 挙 費		1,647,901	1,000,000		647,901	

4. 退職給与引当金		0	0	0	
	1. 退職給与引当金	0	0	0	
5. 積立金支出		1,793,836	0	1,793,836	
	1. 積立金支出	1,793,836	0	1,793,836	
6. 繰出金		127,013,603	66,420,000	60,593,603	
	1. 小規模事業特別会計繰出金	77,795,603	66,420,000	11,375,603	小規模事業特別会計へ繰出
	2. 財政調整基金特別会計繰出金	5,000,000	0	5,000,000	一般会計剰余金の1/2を限度に繰出可能
	3. 事業運営積立金特別会計繰出金	22,818,000	0	22,818,000	特別会費を繰出
	4. 会館整備基金特別会計繰出金	21,400,000	0	21,400,000	会館整備基金特別会計へ繰出
7. 雑費		317,186	730,000	△ 412,814	
	1. 雑費	317,186	730,000	△ 412,814	
8. 予備費		0	1,000,000	△ 1,000,000	
	1. 予備費	0	1,000,000	△ 1,000,000	
支出合計		275,143,202	218,530,000	56,613,202	
収支剰余金		7,510,142	0	7,510,142	次年度へ繰越
合計		282,653,344	218,530,000	64,123,344	

令和4年度法定台帳関係費特別会計収支決算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

収入の部 (単位 円)

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 本 年 度 負 担 金		9,630,000	9,000,000	630,000	
	1. 本 年 度 負 担 金	9,630,000	9,000,000	630,000	特定商工業者の内 3,852事業所 (1件 2,500円)
2. 過 年 度 負 担 金		0	0	0	
	1. 過 年 度 負 担 金	0	0	0	
3. 繰 越 金		0	0	0	
	1. 繰 越 金	0	0	0	
収 入 合 計		9,630,000	9,000,000	630,000	

支出の部

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 給 与 費		5,722,885	5,180,000	542,885	
	1. 俸 給	3,970,035	3,970,000	35	
	2. 特 別 手 当	977,336	800,000	177,336	
	3. 賞 与 引 当 金 繰 入	285,753	0	285,753	令和5年度夏季賞与のうち当年度に帰属する額 令和4年度より
	4. 諸 手 当	489,761	410,000	79,761	
2. 事 務 局 費		741,597	1,000,000	△ 258,403	
	1. 消 耗 品 費	631,278	360,000	271,278	
	2. 委 託 費	110,319	640,000	△ 529,681	
3. 事 業 費		2,447,447	2,150,000	297,447	
	1. 通 信 費	1,573,339	1,360,000	213,339	
	2. 印 刷 費	874,108	790,000	84,108	
4. 福 利 厚 生 費		718,071	670,000	48,071	
	1. 福 利 厚 生 費	718,071	670,000	48,071	社会保険料等
5. 退 職 給 与 引 当 金		0	0	0	
	1. 退 職 給 与 引 当 金	0	0	0	
6. 予 備 費		0	0	0	
	1. 予 備 費	0	0	0	
支 出 合 計		9,630,000	9,000,000	630,000	
収 支 剰 余 金		0	0	0	
合 計		9,630,000	9,000,000	630,000	

## 令和4年度共済事業特別会計収支決算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

収入の部 (単位 円)

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 手数料収入		58,248,444	52,150,000	6,098,444	
	1. 手 数 料 収 入	58,248,444	52,150,000	6,098,444	
	(1) 会 員 事 業 所 共 済	12,916,270	13,000,000	△ 83,730	
	(2) 特 定 退 職 金 共 済	14,419,350	14,000,000	419,350	
	(3) 個 人 年 金 等 共 済	9,093,355	8,510,000	583,355	
	(4) 業 務 災 害 補 償 プ ラ ン	14,605,057	12,000,000	2,605,057	
	(5) ビジネス総合保険等	7,214,412	4,640,000	2,574,412	他に情報漏えい保険、休業補償プラン等
2. 雑 収 入		2,624	20,000	△ 17,376	
	1. 雑 収 入	2,624	20,000	△ 17,376	
3. 繰 越 金		10,835,525	10,830,000	5,525	
	1. 繰 越 金	10,835,525	10,830,000	5,525	
収 入 合 計		69,086,593	63,000,000	6,086,593	

共済掛金額	生 命 共 済	51,835,898
	特 定 退 職 金 共 済	292,653,000

支出の部

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 事 業 費		10,275,347	8,440,000	1,835,347	
	1. 募 集 推 進 費	4,195,364	6,300,000	△ 2,104,636	
	2. 広 報 費	6,079,983	2,140,000	3,939,983	
	(1) 会 報 発 行 費	5,751,711	1,700,000	4,051,711	
	(2) 資 料 費	328,272	440,000	△ 111,728	
2. 管 理 費		47,313,544	42,660,000	4,653,544	
	1. 給 与 費	21,257,262	18,910,000	2,347,262	
	(1) 俸 給	15,763,509	15,060,000	703,509	
	(2) 特 別 手 当	3,687,081	3,280,000	407,081	
	(3) 賞 与 引 当 金 繰 入	1,103,589	0	1,103,589	令和5年度夏季賞与のうち当年度に帰属する額 令和4年度より
	(4) 諸 手 当	703,083	570,000	133,083	
	2. 福 利 厚 生 費	3,964,377	3,480,000	484,377	
	(1) 社 会 保 険 料	2,926,803	2,640,000	286,803	
	(2) 退 職 年 金 掛 金	537,244	340,000	197,244	
	(3) 福 利 厚 生 費	500,330	500,000	330	
	3. 旅 費	700,996	870,000	△ 169,004	
	4. 事 務 費	9,641,729	11,700,000	△ 2,058,271	
	(1) 通 信 費	1,960,602	2,910,000	△ 949,398	
	(2) 印 刷 費	1,165,674	1,870,000	△ 704,326	
	(3) 消 耗 品 費	2,539,109	3,270,000	△ 730,891	
	(4) 慶 弔 費	300,588	140,000	160,588	
	(5) 委 託 費	3,675,756	3,510,000	165,756	

	5. 支 払 手 数 料	921,192	1,700,000	△ 778,808	振込手数料他
	6. 会 議 費	6,664,856	2,900,000	3,764,856	
	7. 公 課 分 担 金	4,163,132	3,100,000	1,063,132	
3. 退 職 給 与 金		0	0	0	
	1. 退 職 給 与 引 当 金	0	0	0	
4. 繰 出 金		0	0	0	
	1. 一 般 会 計 繰 出 金	0	0	0	
5. 雑 費		662,177	1,070,000	△ 407,823	
	1. 雑 費	662,177	1,070,000	△ 407,823	
支 出 合 計		58,251,068	52,170,000	6,081,068	
収 支 剰 余 金		10,835,525	10,830,000	5,525	次年度へ繰越
合 計		69,086,593	63,000,000	6,086,593	

共済掛金納付額	生 命 共 済	40,167,098
	特 定 退 職 金 共 済	278,020,350

令和4年度労働保険事務組合委託保険料特別会計収支決算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

収入の部 (単位 円)

款	項 · 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 手数料収入		10,921,517	10,000,000	921,517	
	1. 取扱手数料	8,403,567	7,500,000	903,567	本所156件、支所66件
	2. 報 奨 金	2,471,200	2,400,000	71,200	岡山労働局
	3. 助 成 金	46,750	100,000	△ 53,250	加入勸奨・成功報酬 全国労働保険事務組合連合会
2. 雑 収 入		220	10,000	△ 9,780	
	1. 雑 収 入	220	10,000	△ 9,780	預金利息
収 入 合 計		10,921,737	10,010,000	911,737	



支出の部

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 管 理 費		10,921,737	10,010,000	911,737	
	1. 給 与 費	6,231,600	5,330,000	901,600	
	(1)俸 給	4,192,102	4,120,000	72,102	
	(2)特 別 手 当	1,155,070	880,000	275,070	
	(3)賞 与 引 当 金 繰 入	476,328	0	476,328	令和5年度夏季賞与のうち当年度に帰属する額 令和4年度より
	(4)諸 手 当	408,100	330,000	78,100	
	2. 福 利 厚 生 費	765,491	720,000	45,491	
	(1)社 会 保 険 料	765,491	720,000	45,491	
	3. 事 務 費	3,924,646	3,960,000	△ 35,354	
	(1)募 集 推 進 費	413,340	440,000	△ 26,660	
	(2)通 信 費	1,099,024	1,100,000	△ 976	
	(3)印 刷 費	906,504	910,000	△ 3,496	
	(4)消 耗 品 費	925,801	930,000	△ 4,199	
	(5)委 託 費	579,977	580,000	△ 23	
	支 出 合 計	10,921,737	10,010,000	911,737	
	収 支 剰 余 金	0	0	0	
	合 計	10,921,737	10,010,000	911,737	

令和4年度小規模事業特別会計収支決算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

収入の部 (単位 円)

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 補助金・負担金		1,184,830,865	167,170,000	1,017,660,865	
	1. 小規模事業指導費補助金	131,897,620	130,500,000	1,397,620	1. 経営指導員・補助員人件費 116,786,760 2. 事業費 15,110,860
	2. 広域経営指導センター補助金	10,464,540	10,300,000	164,540	広域サポーター2名分
	3. 県連付広域経営指導センター補助金	13,974,140	13,810,000	164,140	(一社)県連付広域サポーター2名、補助員1名分
	4. 市補助金	9,035,300	7,660,000	1,375,300	1. 岡山市経営改善普及事業等補助金 7,660,000 2. 岡山市マル経利子補給金 1,093,000 3. 岡山市西日本豪雨災害マル経利子補給金 28,200 4. 岡山市平成30年7月豪雨特別貸付利子補給金 49,600 5. 岡山市新型コロナウイルス対策マル経利子補給金 204,500
	5. 日商補助金	3,851,638	4,000,000	△ 148,362	日本商工会議所 伴走型小規模事業者支援推進事業
	6. 特定創業支援事業補助金	637,979	900,000	△ 262,021	創業スクール開催費 (一社)岡山県商工会議所連合会
	7. 市負担金	1,014,969,648	0	1,014,969,648	1. 岡山市エネルギー価格高騰緊急対策支援金(商工業) 747,796,287 2. 岡山市エネルギー価格高騰緊急対策支援金(医療) 142,042,138 3. 岡山市省エネ機器導入補助金 121,957,362 4. 岡山市産米販売促進事業補助金 3,173,861

2. 委託金		19,515,166	13,800,000	5,715,166	
	1. 就職氷河期支援事業委託金	2,360,000	0	2,360,000	
	2. 職域に対する相談支援事業委託金	82,500	0	82,500	
	3. 経営力向上支援事業委託金	3,870,653	0	3,870,653	
	4. 事業環境変化対応型支援事業委託金	12,099,615	10,000,000	2,099,615	事業復活支援金・インボイス制度への対応等 日本商工会議所
	5. 専門家派遣事業委託金	1,102,398	3,800,000	△ 2,697,602	制度改正等の課題解決環境整備事業 日本商工会議所
3. 一般会計繰入金		77,795,603	66,440,000	11,355,603	
	1. 一般会計繰入金	77,795,603	66,440,000	11,355,603	
4. 記帳事務料		330,000	330,000	0	
	1. 記帳事務代行料	330,000	330,000	0	
5. 受講料		697,000	500,000	197,000	
	1. 受講料	697,000	500,000	197,000	WEB簿記講座、創業スクール
6. 講習会開催負担金		30,000	30,000	0	
	1. 負担金	30,000	30,000	0	青色申告会と共催
7. 雑収入		2,711,436	1,400,000	1,311,436	
	1. 雑収入	2,711,436	1,400,000	1,311,436	1. 小規模企業共済事務取扱手数料 985,050 2. 中小企業倒産防止共済事務取扱手数料 566,060 3. 持続化補助金委託手数料 618,200 4. コロナ一時支援金事務手数料 133,000 5. その他収入 409,126
収入合計		1,285,910,070	249,670,000	1,036,240,070	

支出の部

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 事業費		1,040,610,288	26,510,000	1,014,100,288	
	1. 指導事業費	5,103,346	6,240,000	△ 1,136,654	
	(1)講習会等開催費	1,021,948	1,640,000	△ 618,052	
	(2)その他講習会等開催費	8,500	0	8,500	
	(3)記帳指導員謝金	706,520	1,410,000	△ 703,480	
	(4)金融指導事務費	883,092	990,000	△ 106,908	
	(5)その他事業費	2,483,286	2,200,000	283,286	マル経利子補給金等1,375,300円を含む
	2. 資質向上対策事業費	601,020	620,000	△ 18,980	
	(1)大学校研修参加費	597,720	620,000	△ 22,280	中小企業大学校研修参加
	(2)指導員等研修事業費	3,300	0	3,300	経営指導員等研修旅費等
	3. 経営安定特別相談事業費	6,661,664	6,380,000	281,664	
	4. 嘱託専門指導員謝金	6,969,600	6,970,000	△ 400	
	5. 伴走型小規模事業者支援推進事業費	4,101,529	4,000,000	101,529	日本商工会議所補助事業
	6. ももたろうスタートアップカフェ運営負担金	300,900	500,000	△ 199,100	
	7. おかやま活性化ビジネスコンテスト	568,504	600,000	△ 31,496	
	8. オンライン商談会開催費	0	100,000	△ 100,000	
	9. 特定創業支援事業費	1,334,077	1,100,000	234,077	創業スクール開催費
	10.岡山市による支援事業費	1,014,969,648	0	1,014,969,648	
	(1)エネルギー価格高騰緊急対策支援事業(商工業)	747,796,287	0	747,796,287	
	(2)エネルギー価格高騰緊急対策支援事業(医療等)	142,042,138	0	142,042,138	
	(3)省エネ機器導入補助事業	121,957,362	0	121,957,362	
	(4)岡山市産米販売促進事業	3,173,861	0	3,173,861	

2. 委託事業費		19,515,366	13,800,000	5,715,366	
1. 岡山県職域相談支援事業費	82,700	0	82,700		
2. 就職氷河期世代説明会委託事業費	2,360,000	0	2,360,000		
3. 事業環境変化対応型支援事業費	12,099,615	10,000,000	2,099,615		
4. 制度改正等の課題解決環境整備事業費	1,102,398	3,800,000	△ 2,697,602		
5. 経営力向上支援事業費 ( 専 門 家 派 遣 )	3,870,653	0	3,870,653	専門家派遣による経営支援事業 日本商工会議所	
3. 管 理 費		219,236,026	202,520,000	16,716,026	
1. 給 与 費	185,895,689	168,900,000	16,995,689	広域サポーター・(一社)県連出向者含む	
(1)俸 給	111,268,217	109,850,000	1,418,217		
(2)特 別 手 当	42,916,772	40,780,000	2,136,772		
(3)賞与引当金繰入	13,029,600	0	13,029,600	令和5年夏季賞与のうち当年度に帰属する額 令和4年度より	
(4)諸 手 当	18,681,100	18,270,000	411,100		
2. 福 利 厚 生 費	32,133,619	31,750,000	383,619	広域サポーター・(一社)県連出向者含む	
(1)社 会 保 険 料	27,123,179	26,770,000	353,179		
(2)退 職 年 金 掛 金	4,771,143	4,720,000	51,143		
(3)福 利 厚 生 費	239,297	260,000	△ 20,703		
3. 旅 費 ・ 交 通 費	325,664	400,000	△ 74,336	指導旅費	
4. 事 務 費	881,054	1,470,000	△ 588,946		
(1)通 信 費	78,359	100,000	△ 21,641		
(2)印 刷 費	574,750	600,000	△ 25,250		
(3)消 耗 品 費	66,560	520,000	△ 453,440	事務用消耗品費	
(4)調 査 研 究 費	123,385	150,000	△ 26,615	調査研究資料等購入費	
(5)会 議 費	38,000	100,000	△ 62,000		

4. 退職給与引当金		6,510,000	6,600,000	△	90,000	
1. 退職給与引当金		6,510,000	6,600,000	△	90,000	退職給与積立金特別会計へ繰入
5. 雑費		38,390	240,000	△	201,610	
1. 雑費		38,390	240,000	△	201,610	
6. 予備費		0	0		0	
1. 予備費		0	0		0	
支出合計		1,285,910,070	249,670,000		1,036,240,070	
収支剰余金		0	0		0	
合計		1,285,910,070	249,670,000		1,036,240,070	

## 令和4年度ビルディング特別会計収支決算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

収入の部 (単位 円)

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 貸室料・共益費		130,723,539	123,310,000	7,413,539	
	1. 貸室料・共益費	130,723,539	123,310,000	7,413,539	1. 貸室料 77,170,191 2. 共益費 49,918,788 3. 倉庫料 3,634,560
2. 使用料		44,479,435	34,170,000	10,309,435	
	1. 会議室・設備使用料	44,479,435	34,170,000	10,309,435	1. 会議室使用料 39,377,685 2. 設備使用料 5,101,750
3. 駐車場収入		25,149,230	30,150,000	△ 5,000,770	
	1. 駐車場収入	25,149,230	30,150,000	△ 5,000,770	1. 月極駐車場収入 1,073,600 2. 時間貸駐車場収入 24,075,630
4. 雑収入		1,458,280	1,020,000	438,280	
	1. 雑収入	1,458,280	1,020,000	438,280	1. 自動販売機手数料 1,091,410 2. その他雑収入 366,870
5. 繰入金		23,980,000	25,000,000	△ 1,020,000	
	1. 繰入金	23,980,000	25,000,000	△ 1,020,000	会館整備基金特別会計より繰入
6. 繰越金		400,199,189	360,000,000	40,199,189	
	1. 繰越金	400,199,189	360,000,000	40,199,189	
収入合計		625,989,673	573,650,000	52,339,673	

支出の部

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 維 持 費		106,930,986	104,330,000	2,600,986	
	1. 電 力 使 用 料	10,216,833	7,400,000	2,816,833	
	2. 水 道 使 用 料	1,659,276	1,700,000	△ 40,724	
	3. ガ ス 使 用 料	8,848,112	5,700,000	3,148,112	
	4. 設 備 整 備 費	5,125,420	2,810,000	2,315,420	1. 電機設備整備 41,800 2. 空調設備 2,504,301 3. 給排水衛生設備 1,028,500 4. その他設備 1,550,819
	5. 設 備 保 守 料	5,856,668	6,130,000	△ 273,332	1. エレベーター 3,168,000 2. 電話設備 286,928 3. 消防設備 2,138,400 4. その他設備 263,340
	6. 委 託 料	35,622,797	31,660,000	3,962,797	ビル管理委託料
	7. 保 険 料	2,470,548	2,730,000	△ 259,452	火災保険料等
	8. 公 課 分 担 金	26,152,008	26,160,000	△ 7,992	1. 消費税 18,005,878 2. 固定資産税 7,776,440 3. その他 369,690
	9. 営 繕 費	3,179,700	10,000,000	△ 6,820,300	1. 諸修繕費 3,111,500 2. 支所ビル修繕費 68,200
	10. そ の 他 管 理 費	7,799,624	10,040,000	△ 2,240,376	1. 通信回線費 776,934 2. 設備消耗品費 801,440 3. その他 6,221,250



2. 駐車場運営費		6,099,689	6,330,000	△	230,311	
	1. 駐車場維持費	191,950	2,200,000	△	2,008,050	駐車機器リース料、機械警備費等
	2. 駐車場管理費	2,250,579	1,200,000		1,050,579	清掃委託費、消耗品等
	3. 公課分担金	2,780,160	2,930,000	△	149,840	固定資産税、損害保険料等
	4. その他	877,000	0		877,000	
3. 管理費		63,885,847	60,910,000		2,975,847	
	1. 給与費	53,149,466	50,280,000		2,869,466	
	(1) 俸給	32,664,188	33,270,000	△	605,812	
	(2) 特別手当	12,897,688	12,440,000		457,688	
	(3) 賞与引当金繰入	3,423,100	0		3,423,100	令和5年度夏季賞与のうち当年度に帰属する額 令和4年度より
	(4) 諸手当	4,164,490	4,570,000	△	405,510	
	2. 福利厚生費	9,216,199	8,980,000		236,199	
	(1) 社会保険料	7,968,951	7,700,000		268,951	
	(2) 退職年金掛金	1,182,058	1,170,000		12,058	
	(3) 福利厚生費	65,190	110,000	△	44,810	
	3. 事務費	1,520,182	1,650,000	△	129,818	
	(1) 通信費	559,872	550,000		9,872	
	(2) 印刷費	78,000	240,000	△	162,000	
	(3) 消耗品費	109,300	50,000		59,300	
	(4) 旅費・交通費	160,860	180,000	△	19,140	
	(5) 会議費	419,150	430,000	△	10,850	
	(6) 広告宣伝費	143,000	150,000	△	7,000	
	(7) 慶弔費	50,000	50,000		0	
	(8) 予備費	0	0		0	

4. 会館整備費		23,980,000	25,000,000	△	1,020,000	
	1. 委託費	23,980,000	25,000,000	△	1,020,000	建替え基本構想策定及び会館保有検討業務
5. 退職給与引当金		0	0		0	
	1. 退職給与引当金	0	0		0	
6. 繰出金		0	0		0	
	1. 一般会計繰出金	0	0		0	
7. 雑費		187,609	350,000	△	162,391	
	1. 雑費	187,609	350,000	△	162,391	振込手数料等
8. 資産取得支出		8,089,590	2,150,000		5,939,590	
	1. 資産取得支出	8,089,590	2,150,000		5,939,590	会議出席システム構築・営業車購入・トイレ更新等
9. 減価償却費		0	20,620,000	△	20,620,000	
	1. 減価償却費	0	20,620,000	△	20,620,000	
10. 建物改修積立金支出		22,000,000	0		22,000,000	
	1. 建物改修積立金支出	22,000,000	0		22,000,000	建物改修積立金
支出合計		231,173,721	219,690,000		11,483,721	
収支剰余金		394,815,952	353,960,000		40,855,952	次年度へ繰越
合計		625,989,673	573,650,000		52,339,673	

## 令和4年度財政調整基金特別会計収支決算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

収入の部 (単位 円)

科 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減(△)	備 考
繰 入 金	5,000,000	0	5,000,000	一般会計剰余金の1/2を上限に繰入
預 金 利 息	772	0	772	
繰 越 金	24,820,129	14,820,000	10,000,129	前年度収支剰余金
収 入 合 計	29,820,901	14,820,000	15,000,901	

支出の部

科 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減(△)	備 考
繰 出 金	0	0	0	
支 出 合 計	0	0	0	
収 支 剰 余 金	29,820,901	14,820,000	15,000,901	次年度へ繰越
合 計	29,820,901	14,820,000	15,000,901	

## 令和4年度事業運営積立金特別会計収支決算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

収入の部 (単位 円)

科 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減(△)	備 考
繰 入 金	22,818,000	0	22,818,000	一般会計より特別会費分繰入
預 金 利 息	4,810	10,000	△ 5,190	
配 当 金	373,800	190,000	183,800	岡山ネットワーク(株)、(株)オービス、アクサ・ホールディングス(株)
雑 収 入	0	0	0	
繰 越 金	82,948,383	82,730,000	218,383	前年度収支剰余金
収 入 合 計	106,144,993	82,930,000	23,214,993	

支出の部

科 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減(△)	備 考
議 員 選 挙 事 務 費	0	0	0	一般会計にて支出
退 職 慰 労 金	3,021,000	0	3,021,000	理事退任1名分
雑 損 失	0	0	0	
雑 費	0	0	0	
外 部 出 資 支 出	0	0	0	
繰 出 金	0	0	0	
支 出 合 計	3,021,000	0	3,021,000	
収 支 剰 余 金	103,123,993	82,930,000	20,193,993	次年度へ繰越
合 計	106,144,993	82,930,000	23,214,993	

## 令和4年度退職給与積立金特別会計収支決算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

収入の部 (単位 円)

科 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減(△)	備 考
当 年 度 繰 入 金	6,510,000	6,600,000	△ 90,000	一 般 会 計 0 法定台帳関係費特別会計 0 小規模事業特別会計 6,510,000 共済事業特別会計 0 ビルディング特別会計 0
預 金 利 息	2,219	10,000	△ 7,781	
繰 越 金	175,694,026	175,690,000	4,026	前年度末資金残高
収 入 合 計	182,206,245	182,300,000	△ 93,755	

### 支出の部

科 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減(△)	備 考
退 職 給 与 金	6,119,000	6,120,000	△ 1,000	1名分
支 出 合 計	6,119,000	6,120,000	△ 1,000	
本年度末資金残高	176,087,245	176,180,000	△ 92,755	次年度へ繰越(注1)
合 計	182,206,245	182,300,000	△ 93,755	

(注1) 本会計の収支決算戻は、剰余金(収支剰余金)を示すものではなく、退職給与引当金(固定負債)を示すものである。

## 令和4年度災害時医療支援基金特別会計収支決算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

収入の部 (単位 円)

科 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減(△)	備 考
医療支援募金収入	0	0	0	
預 金 利 息	18	0	18	
繰 越 額	1,911,024	1,880,000	31,024	
収 入 合 計	1,911,042	1,880,000	31,042	

支出の部

科 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減(△)	備 考
災害時医療支援寄附金支出	0	0	0	
通 信 運 搬 費	0	0	0	
消 耗 品 ・ 備 品 費	0	0	0	
支 出 合 計	0	0	0	
本年度末資金残高	1,911,042	1,880,000	31,042	次年度へ繰越
合 計	1,911,042	1,880,000	31,042	

## 令和4年度会館整備基金特別会計収支決算書

自 令和4年12月3日  
至 令和5年3月31日

収入の部 (単位 円)

科 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減(△)	備 考
補 助 金	0	0	0	
建 設 協 力 金	0	0	0	
繰 入 金	21,400,000	0	21,400,000	一 般 会 計 21,400,000 共 済 会 計 0 財 政 調 整 基 金 0 事 業 運 営 積 立 金 0
雑 収 入	2,436	10,000	△ 7,564	
繰 越 金	388,000,982	338,000,000	50,000,982	
収 入 合 計	409,403,418	338,010,000	71,393,418	

### 支出の部

科 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減(△)	備 考
建 設 基 金 繰 出 金	23,980,000	25,000,000	△ 1,020,000	
雑 費	660	0	660	
支 出 合 計	23,980,660	25,000,000	△ 1,019,340	
本年度末資金残高	385,422,758	313,010,000	72,412,758	次年度へ繰越
合 計	409,403,418	338,010,000	71,393,418	

## 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位 円)

借方			貸方		
科 目	金 額	備 考	科 目	金 額	備 考
( 資 産 の 部 )	2,609,664,891		( 負 債 の 部 )	323,274,835	
流 動 資 産	672,923,094		流 動 負 債	105,416,581	
現 金	1,080,461		未 払 金	13,333,968	
預 金	637,603,861		前 受 金	10,172,298	
		当座預金 22,579,522	仮 受 金	82,329	
		普通預金 570,201,667	預 り 金	53,529,305	
		定期預金 44,822,672	継 続 事 業 引 当 金	5,407,495	
未 収 金	16,208,096		福 利 厚 生 引 当 金	3,648,486	
立 替 金	632,106		賞 与 引 当 金	19,242,700	
前 払 金	17,398,570		固 定 負 債	217,858,254	
固 定 資 産	1,936,741,797		退 職 給 与 引 当 金	176,087,245	
有 形 固 定 資 産	1,264,392,109		預 り 敷 金	29,667,049	
建 物	106,159,135		リ ー ス 債 務	12,103,960	
附 属 設 備	38,729,179				
構 築 備 品	1,574,546		( 正 味 財 産 の 部 )	2,286,390,056	
設 備	59,828,276		積 立 金	411,127,636	
什 器 備 品	9,529,256		災 害 時 医 療 支 援 基 金	1,911,042	
車 輛	1,547,779		会 館 整 備 基 金	385,422,758	
土 地	1,034,919,978		そ の 他 積 立 金	23,793,836	
リ ー ス 資 産	12,103,960		剰 余 金	1,875,262,420	
そ の 他 の 固 定 資 産	672,349,688		固 定 財 産	1,329,155,907	
電 話 加 入 権 等	810,946		収 支 剰 余 金	546,106,513	一般会計 7,510,142
ソ フ ト ウ ェ ア	6,724,177				特定退職金共済 10,835,525
投 資 有 価 証 券	9,330,000				ビル会計 394,815,952
出 資 金	89,669,684				財政調整基金 29,820,901
退 職 給 与 引 当 預 金	176,087,245				事業運営会計 103,123,993
積 立 預 金	389,727,636				
合 計	2,609,664,891		合 計	2,609,664,891	



# 固 定 財 産 明 細 表

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

(単位 円)

勘 定 科 目	期首残高 A	当 期 増加額 B	当 期 減少額 C	当 期 減価償却額 D	期 末 残 高 (A + B - C - D)	備 考
<b>(一般会計)</b>						
I 固定資産	676,642,980	0	0	0	676,642,980	
土 地	676,642,980	0	0	0	676,642,980	
II 固定負債	0	0	0	0	0	
固定財産計 (① = I - II)	676,642,980	0	0	0	676,642,980	
<b>(共済会計)</b>						
I 固定資産	9,330,000	0	0	0	9,330,000	
投資有価証券	9,330,000	0	0	0	9,330,000	T&Dホールディングス(株)
II 固定負債	0	0	0	0	0	
固定財産計 (② = I - II)	9,330,000	0	0	0	9,330,000	
<b>(ビルディング会計)</b>						
I 固定資産	624,529,000	9,739,590	0	38,984,338	595,284,252	
建物	121,261,136	0	0	15,102,001	106,159,135	
建物附属設備	46,010,183	684,200	0	7,965,204	38,729,179	
構築物	1,837,402	0	0	262,856	1,574,546	
設備	64,735,576	0	0	4,907,300	59,828,276	
車 輛	596,816	1,303,690	0	352,727	1,547,779	
什 器 備 品	10,620,780	2,805,000	0	3,896,524	9,529,256	
土 地	358,276,998	0	0	0	358,276,998	
リース資産	16,630,240	0	0	4,526,280	12,103,960	
電話加入権	810,946	0	0	0	810,946	
ソフトウェア	3,748,923	4,946,700	0	1,971,446	6,724,177	
II 固定負債	47,047,289	0	5,276,280	0	41,771,009	
リース債務	16,630,240	0	4,526,280	0	12,103,960	
長期預り金	30,417,049	0	750,000	0	29,667,049	敷金
固定財産 (③ = I - II)	577,481,711	9,739,590	△	5,276,280	553,513,243	

<b>(事業運営積立金)</b>						
I 固定資産	91,519,684	0	1,850,000	0	89,669,684	岡山都市整備(株)解散
出 資 金	91,519,684	0	1,850,000	0	89,669,684	
II 固定負債	0	0	0	0	0	
固定財産 (④ = I - II)	91,519,684	0	1,850,000	0	89,669,684	
<b>(退職給与積立金)</b>						
I 固定資産	175,694,026	6,512,219	6,119,000	0	176,087,245	
退職給与引当預金	175,694,026	6,512,219	6,119,000	0	176,087,245	
II 固定負債	175,694,026	6,512,219	6,119,000	0	176,087,245	
退職給与引当金	175,694,026	6,512,219	6,119,000	0	176,087,245	
固定財産 (⑤ = I - II)	0	0	0	0	0	
合計 (①~⑤)	1,354,974,375	9,739,590	△ 3,426,280	38,984,338	1,329,155,907	

## 積 立 金 明 細 表

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

(単位 円)

区 分	期首残高A	当期増加額B	当期減少額C (目的使用)	当期減少額D (その他)	期 末 残 高 (A + B - C - D)	備 考
一般会計	0	1,793,836	0	0	1,793,836	
特別事業準備金積立預金	0	1,793,836	0	0	1,793,836	
ビル会計	0	22,000,000	0	0	22,000,000	
設備更新積立預金	0	22,000,000	0	0	22,000,000	
災害時医療支援基金特別会計	1,911,024	18	0	0	1,911,042	
災害時医療支援基金積立預金	1,911,024	18	0	0	1,911,042	
会館整備基金特別会計	388,000,982	21,402,436	23,980,660	0	385,422,758	
会館整備基金積立預金	388,000,982	21,402,436	23,980,660	0	385,422,758	
合 計	389,912,006	45,196,290	23,980,660	0	411,127,636	

## 決算書類に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 資金の範囲

資金の範囲は流動資産及び流動負債としております。

#### (2) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券

移動平均法による原価法によっております。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

##### ①有形固定資産

定率法によっております。

但し、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。

##### ②無形固定資産

定額法によっております。

なお、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

##### ③リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

#### (4) リース取引

リース資産の内容

パソコン（什器備品）及び公用車（車輛）です。

#### (5) 引当金の計上基準

退職給与引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算しております。

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上しております。

#### (6) 消費税の会計基準

税込方式によっております。

### 2. 会計方針の変更

より適切な収支計算を行うため、今年度より賞与引当金を計上しております。これによる影響額は19,242,700円であります。

### 3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（単位 円）

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	802,862,387	696,703,252	106,159,135
建物附属設備	321,872,352	283,143,173	38,729,179
構築物	64,047,543	62,472,997	1,574,546
設備	98,119,872	38,291,596	59,828,276
車輛	8,136,415	6,588,636	1,547,779
什器備品	124,681,084	115,151,828	9,529,256
リース資産	24,558,600	12,454,640	12,103,960
ソフトウェア	10,857,132	4,132,955	6,724,177
合計	1,455,135,385	1,218,939,077	236,196,308

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位 円)

勘 定 科 目	摘	要	金 額
〔資産の部〕			
<b>流動資産</b>			
現金及び預金	現金手元有高	1,080,461	
	当座預金	22,579,522	
	普通預金	570,201,667	
	定期預金	44,822,672	638,684,322
未収金	貸室料・会議室使用料他	2,113,541	
	委託補助金他	14,094,555	16,208,096
前払金	郵送料、消費税中間納付、ビル損害賠償保険料他		17,398,570
立替金	外郭団体等立替金		117,462
仮払金	防災センター両替用釣銭他		514,644
<b>固定資産</b>			
(有形固定資産)			
建物	取得価額	121,261,136	
	償却累計額△	15,102,001	106,159,135
附属設備	取得価額	46,694,383	
	償却累計額△	7,965,204	38,729,179
構築物	取得価額	1,837,402	
	償却累計額△	262,856	1,574,546
設備	取得価額	64,735,576	
	償却累計額△	4,907,300	59,828,276
什器備品	取得価額	13,425,780	
	償却累計額△	3,896,524	9,529,256
車輛	取得価額	1,900,506	
	償却累計額△	352,727	1,547,779

土地	敷地 3,241.98㎡ (本所)	338,447,305	
	〃 567.12㎡ (支所)	18,680,675	
	駐車場 4,107.40㎡ (本所・支所)	677,791,998	1,034,919,978
(その他固定資産)			
リース資産	パソコン一式・公用車		12,103,960
電話加入権	23本		810,946
ソフトウェア	ビル貸会議室管理システム		6,724,177
投資有価証券	T&Dホールディングス(株)		9,330,000
出資	岡山空港ターミナル(株)他		89,669,684
退職給与引当金	普通預金	171,084,744	
	定期預金	5,002,501	176,087,245
積立預金	普通預金	90,357,676	
	定期預金	299,369,960	389,727,636
	<b>資産の部合計</b>		<b>2,609,664,891</b>

勘定科目	摘要	金額
<b>[負債の部]</b>		
<b>流動負債</b>		
未払金	会費他	13,333,968
前受金	貸室料・貸会議室料	3,553,900
預り金	共済掛金・給付金	6,618,398
	源泉所得税他	51,994,035
		1,535,270
仮受金		53,529,305
引当金	継続事業引当金、福利厚生引当金、賞与引当金	82,329
		28,298,681
<b>固定負債</b>		
長期預り金	敷金	29,667,049
リース債務	パソコン・公用車	12,103,960
退職給与引当金	退職給与引当金	176,087,245
	<b>負債の部合計</b>	<b>323,274,835</b>
	<b>差引正味財産</b>	<b>2,286,390,056</b>

# 監 査 意 見 書

岡山商工会議所令和4年度収支決算書について関係書類、諸帳簿を監査した結果、適正かつ正確に処理されていることを認めます。

令和5年6月1日

岡 山 商 工 会 議 所

会 頭 松 田 久 殿

監 事 岡 崎 正 裕 ⑩

監 事 野 口 裕 年 ⑩

監 事 米 田 光 雄 ⑩